

表組

1. 概要	5
1-1. 表オブジェクトで実現可能な帳票	5
1-2. 使用可能な入力データ形式	9
2. 表オブジェクトの新規作成	11
2-1. フォームに表を定義する	11
2-2. 表を追加する	14
3. 選択・プロパティ	15
3-1. 表オブジェクトを選択する	15
3-2. プロパティダイアログを表示する	15
4. 表オブジェクトの構成要素	17
4-1. ブロック	17
4-2. 行	18
4-3. セル	20
4-4. 列	23
4-5. ガイド線	24
5. 移動・サイズ変更	29
5-1. 表オブジェクトを移動する	29
5-2. 表オブジェクトのサイズを変更する	29
5-3. セルのサイズを変更する	30
6. データのマッピング	32
6-1. CSV データマップ	32
6-2. DB データマップ	35
6-3. ffc ファイルの共有制限	38
7. 罫線・背景色の設定	39
7-1. 線種	39
7-2. 線幅	40
7-3. 線の色	41
7-4. 背景色	41
7-5. 罫線の描画優先順位	42
8. テキスト	43
8-1. セルにテキストデータを出力する	43
8-2. マッピングデータを表示する	43
8-3. 流し込み	44
8-4. バイト数による自動改行	45
8-5. 自動改行	46
8-6. 改行設定	47
8-7. フォント	47
8-8. 配置	48
8-9. 固定のテキストを表示する	49

9. イメージ	50
9-1. セルにイメージデータを出力する	50
9-2. サイズ指定	51
9-3. 位置合わせ	52
9-4. 固定のイメージを表示する	53
10. バーコード	54
11. 補正值	55
12. セルの結合	56
12-1. 隣り合ったセルを結合する	56
12-2. セルの結合を解除する	57
12-3. 結合セルに対する罫線編集	57
12-4. 結合セルに対する行と列の削除	58
13. ラベルブロック	59
13-1. ラベルブロックの概要	59
13-2. ラベルブロックの追加・削除	59
14. 改ページ	60
14-1. ガイド線	60
14-2. 行間隔	61
14-3. 2 ページ目以降の開始位置を変える	62
14-4. 最終ページのフッター位置を制御する	63
15. キー項目	65
15-1. キー項目の概要	65
15-2. キー項目の優先順位を入れ替える	66
15-3. キー項目の指定を解除する	67
15-4. キーブレイク設定を起動する	67
16. 重複データ非表示	68
16-1. 重複データ非表示の設定	68
16-2. 重複データ非表示の解除	69
16-3. 複数項目の重複データ非表示	70
17. 表タイトルブロック	71
17-1. 表タイトルブロックの概要	71
17-2. ラベルブロックの上に出力する	71
18. キータイトルブロック	73
18-1. キータイトルブロックの概要	73
18-2. ブロック自体がキー項目のセルを持つブロック	74
18-3. キー項目に関連付けられたブロック	75
18-4. キー項目の関連付けを確認・変更する	76
18-5. ラベルブロックのようにキータイトルブロックを出力する	77
19. キーブレイク	78
19-1. キーブレイクの概要	78
19-2. 改ページ	79
19-3. 罫線	80
19-4. 改行	81
19-5. キーグループ単位でのまとめ送り	82

20. 集計	84
20-1. 集計機能の概要	84
20-2. 総集計ブロックを追加する	86
20-3. キー集計ブロックを追加する	88
20-4. セルに集計設定を割り当てる	90
20-5. 集計ブロックの集計タイミングを変更する	92
20-6. 集計対象項目を変更する	93
20-7. 集計行をページ内に収める	94
20-8. 集計行をページ内に収める（キーブレイク改ページ）	95
20-9. 表の外部に集計値を表示する	97
20-10. 集計値が表示されないときは	98
20-11. 空データの扱い	99
21. 計算	100
21-1. 計算機能の概要	100
21-2. 計算式を設定する	101
21-3. 不正な値での計算	104
21-4. 表の外部に計算値を表示する	104
21-5. 計算値が表示されないときは	105
21-6. ゼロ除算が発生した際の警告設定	106
22. 自動連番	107
22-1. 自動連番機能の概要	107
22-2. 自動連番を設定する	108
22-3. 通常連番	109
22-4. 改ページごとにリセット	109
22-5. キーブレイクでリセット	110
22-6. キー項目に関連付ける	111
23. データ編集	112
24. 網掛け	114
24-1. 網掛け機能の概要	114
24-2. 網掛けを有効にする	114
24-3. 網掛けの間隔を設定する	114
24-4. 網掛けの色を設定する	116
24-5. レコード単位で網掛けにする	116
24-6. 集計ブロックにも網掛けを適用する	117
25. 空行	118
25-1. 空行機能の概要	118
25-2. ブロックの前に出力する	119
25-3. ブロックの後に出力する	120
26. 繰り返し表	121
26-1. 繰り返し表の概要	121
26-2. 繰り返し表のキー項目を指定する	121
26-3. 表の間隔を指定する	123

27. 複合表	124
27-1. 複合表の概要	124
27-2. 表オブジェクトを追加する	126
27-3. 表と表の間の処理を指定する	127
27-4. 表オブジェクトごとにデータをマッピングする	129
27-5. 複合表の繰り返しパターン出力	132
28. 表連携オブジェクト	134
28-1. 表連携オブジェクトの概要	134
28-2. データをマッピングする	136
28-3. 集計値・計算値を出力する	137
28-4. 1 ページ目のみに出力する	138
28-5. 最終ページのみに出力する	139
28-6. 全ページに出力する	140
28-7. 繰り返し帳票のヘッダーに指定する	141
28-8. 表連携オブジェクトの重ね合わせ設定	144
28-9. 表連携オブジェクトの非表示	145
29. 表の終了位置を固定にする	146
29-1. 表の行数固定	146
29-2. 集計ブロックの出力位置	148
30. 表の上下枠線	150
30-1. 表の上下罫線の概要	150
30-2. 表に枠線を付ける	153
30-3. 重複データ非表示による罫線切れを防ぐ	154
31. データが 0 件の場合の設定	156
32. 空のデータをスキップする	158
33. レコードのまとめ出力	159
34. セルの非表示	161
34-1. セルの非表示とは	161
34-2. セルの非表示設定	161
34-3. 列を非表示にする	162
34-4. セルの非表示の確認	163
34-5. セルの非表示の解除	164
35. 丸コーナー	165
35-1. 丸コーナーとは	165
35-2. 丸コーナー設定	165
35-3. 丸コーナーの罫線属性	166
35-4. 制限事項	166

1. 概要

1-1. 表オブジェクトで実現可能な帳票

帳票に「表」を配置したい場合は「表オブジェクト」を使用すると便利です。ここでの「表」とは明細データが罫線で区切られて繰り返し出力されるようなものを意味しています。例えば次のような特徴を持った帳票を作成したい場合には表オブジェクトが適しています。

- ・罫線が引かれた明細データのリストを出力したい
- ・データの量に応じてサイズが変わる表を出力したい
- ・データを集計して合計や平均を帳票上に出力したい
- ・最初のページだけは上半分を違うデザインにしたい

表オブジェクトを使用することで実現可能な帳票のパターンは大きく次の5種類に分類されます。

1. リスト帳票

単純なリスト形式の明細を表示する帳票です。

明細部分のみが可変となり、レコード数に応じて罫線が描画される基本的な帳票です。

図：リスト帳票

社員番号	氏名	性別	所属	入社年月日	退社年月日	勤務地	担当	電話番号
0100001	佐藤 一郎	男性	総務部	1975/04/01	2025/11/30	101-0001	佐藤 一郎	03-1234-5678
0100002	田中 美穂	女性	総務部	1978/05/15	2025/12/31	101-0002	田中 美穂	03-1234-5679
0100003	鈴木 健二	男性	総務部	1980/03/10	2025/10/31	101-0003	鈴木 健二	03-1234-5680
0100004	高橋 真由	女性	総務部	1982/07/20	2025/11/01	101-0004	高橋 真由	03-1234-5681
0100005	山田 隆夫	男性	総務部	1985/01/05	2025/09/30	101-0005	山田 隆夫	03-1234-5682
0100006	佐々木 花子	女性	総務部	1987/06/25	2025/12/15	101-0006	佐々木 花子	03-1234-5683
0100007	渡辺 誠	男性	総務部	1989/02/18	2025/11/05	101-0007	渡辺 誠	03-1234-5684
0100008	小林 直樹	男性	総務部	1990/08/12	2025/10/20	101-0008	小林 直樹	03-1234-5685
0100009	中村 裕子	女性	総務部	1992/03/08	2025/11/25	101-0009	中村 裕子	03-1234-5686
0100010	石川 大輔	男性	総務部	1994/09/01	2025/12/01	101-0010	石川 大輔	03-1234-5687
0100011	森田 幸子	女性	総務部	1996/04/15	2025/11/10	101-0011	森田 幸子	03-1234-5688
0100012	松本 健一	男性	総務部	1998/10/01	2025/12/20	101-0012	松本 健一	03-1234-5689
0100013	山崎 美咲	女性	総務部	2000/05/10	2025/11/05	101-0013	山崎 美咲	03-1234-5690
0100014	佐藤 浩二	男性	総務部	2002/01/25	2025/12/10	101-0014	佐藤 浩二	03-1234-5691
0100015	田中 由香	女性	総務部	2004/07/05	2025/11/25	101-0015	田中 由香	03-1234-5692
0100016	鈴木 光太郎	男性	総務部	2006/03/18	2025/12/05	101-0016	鈴木 光太郎	03-1234-5693
0100017	高橋 奈々	女性	総務部	2008/09/01	2025/11/15	101-0017	高橋 奈々	03-1234-5694
0100018	山田 拓也	男性	総務部	2010/04/12	2025/12/25	101-0018	山田 拓也	03-1234-5695
0100019	佐々木 未来	女性	総務部	2012/10/20	2025/11/30	101-0019	佐々木 未来	03-1234-5696
0100020	渡辺 健太	男性	総務部	2014/06/05	2025/12/15	101-0020	渡辺 健太	03-1234-5697
0100021	小林 悠斗	男性	総務部	2016/02/10	2025/11/20	101-0021	小林 悠斗	03-1234-5698
0100022	中村 莉子	女性	総務部	2018/08/25	2025/12/01	101-0022	中村 莉子	03-1234-5699
0100023	石川 大輔	男性	総務部	2020/03/15	2025/11/10	101-0023	石川 大輔	03-1234-5700
0100024	森田 幸子	女性	総務部	2022/09/01	2025/12/20	101-0024	森田 幸子	03-1234-5701
0100025	松本 健一	男性	総務部	2024/04/10	2025/11/25	101-0025	松本 健一	03-1234-5702

2. 明細帳票

請求書の鑑に該当する「ヘッダー部分」と「明細（リスト）部分」からなる帳票です。ヘッダー部分は最初のページにだけ出力され、次ページ以降は表示されません。1 ページ目や明細の最後に全体の合計値を Create!Form で集計して表示することも可能です。

図：明細帳票

請求書					請求書				
No. 2023-0827					No. 2023-0827				
発行日: 2023年11月03日					発行日: 2023年11月03日				
Page: 1 / 2					Page: 2 / 2				
〒380-0822 長野県長野市西宮町一丁目4-10 〇〇株式会社					〒380-0822 長野県長野市西宮町一丁目4-10 〇〇株式会社				
得意先名称: 株式会社 〇〇〇					得意先名称: 株式会社 〇〇〇				
請求書番号: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇					請求書番号: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇				
請求書発行日: 2023年11月03日					請求書発行日: 2023年11月03日				
請求書期日: 2023年11月03日					請求書期日: 2023年11月03日				
請求書金額: 〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇 円					請求書金額: 〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇 円				
請求書発行元: 〇〇株式会社					請求書発行元: 〇〇株式会社				
請求書受取人: 〇〇株式会社					請求書受取人: 〇〇株式会社				
請求書発行日: 2023年11月03日					請求書発行日: 2023年11月03日				
請求書発行元: 〇〇株式会社					請求書発行元: 〇〇株式会社				
請求書受取人: 〇〇株式会社					請求書受取人: 〇〇株式会社				
請求書発行日: 2023年11月03日					請求書発行日: 2023年11月03日				
請求書発行元: 〇〇株式会社					請求書発行元: 〇〇株式会社				
請求書受取人: 〇〇株式会社					請求書受取人: 〇〇株式会社				
請求書発行日: 2023年11月03日					請求書発行日: 2023年11月03日				
請求書発行元: 〇〇株式会社					請求書発行元: 〇〇株式会社				
請求書受取人: 〇〇株式会社					請求書受取人: 〇〇株式会社				
請求書発行日: 2023年11月03日					請求書発行日: 2023年11月03日				
請求書発行元: 〇〇株式会社					請求書発行元: 〇〇株式会社				
請求書受取人: 〇〇株式会社					請求書受取人: 〇〇株式会社				
請求書発行日: 2023年11月03日					請求書発行日: 2023年11月03日				
請求書発行元: 〇〇株式会社					請求書発行元: 〇〇株式会社				
請求書受取人: 〇〇株式会社					請求書受取人: 〇〇株式会社				
請求書発行日: 2023年11月03日					請求書発行日: 2023年11月03日				
請求書発行元: 〇〇株式会社					請求書発行元: 〇〇株式会社				
請求書受取人: 〇〇株式会社					請求書受取人: 〇〇株式会社				
請求書発行日: 2023年11月03日					請求書発行日: 202				

図：タイトル部分

No. 123-4567		日付: 2006年
〒160-0023		横栗株式会社
東京都新宿区西新宿7-〇-〇〇		〒160-0023
〇〇株式会社		東京都新宿区
		西新宿〇〇ビル
		電話: 03-XXXX-XXXX
		担当者: 横栗
御請求額: ￥26,510,000-		

3. 集計帳票

単純なリスト帳票に集計行を加え、レコードを集計して小計や総計を出力する帳票です。指定したカラムの値が切り替ったタイミング、つまり、キーブレイクが発生したときに罫線の表示や集計行を表示します。例えば、「事業所別計」「営業日別計」といった複数段階に分かれたデータの集計も可能です。

図：集計帳票

日付別見積集計票									
日付	集計科目	集計単位	集計コード	集計名称	数量	単位	単価	集計	集計
2025/11/6	集計科目	集計単位	集計コード	集計名称	20	個	430	8600	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
2025/11/7	集計科目	集計単位	集計コード	集計名称	20	個	430	8600	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
					30	個	430	12900	
集計合計								397800	

図：集計値を出力

ブルーインペリアル	4	13000	13000
スクメロン (中球)	2	6000	12000
みかん	50	120	6000
日付別集計			397800
総集計			795600

4. 繰り返し表帳票

表明細の全体が繰り返される帳票です。例えば、事業所ごとの集計表を作成し、それぞれの集計表が区切られて全事業所の数だけ繰り返し出力される帳票です。

図：繰り返し表帳票

取引先別見積明細票						
日付	見積No	取引先コード	取引先名			
2006/11/6	012145	0002	カフェ・タローバー			
商品コード	商品名	数量	単価	金額	備考	
SET-C&S-0002	バナガトーアツルディ (10個)	10	600	6000		
SET-C&S-0005	フィナンシェオショコラ (15個)	35	900	31500		
SET-C&S-0008	マドレーヌセット (15個)	20	500	10000		
SET-C&S-0009	ガトービルネー (10)	10	1000	10000		
SET-C&S-0004	ガトービルネー (M)	10	1600	16000		
SET-C&S-0005	ジャージーブディング (5個)	20	1200	24000		
SET-C&S-0003	カスタードミロプディング (10個)	1	500	500		
SET-F&S-0001	豪華なフルーツ盛り合わせ	3	7500	22500		
SET-F&S-0005	特選マスカメロン (中継)	5	6000	30000		
SET-F&S-0002	フィロピン産マンゴー	50	250	12500		
				合計		163300

日付	見積No	取引先コード	取引先名			
2006/11/6	012146	0003	ストロベリールージュ			
商品コード	商品名	数量	単価	金額	備考	
SET-C&S-0001	タルトアンサンブル (110個)	20	1500	30000		
SET-C&S-0005	フィナンシェオショコラ (15個)	40	900	36000		
SET-C&S-0008	マドレーヌセット (15個)	35	500	17500		
SET-C&S-0009	ガトービルネー (10)	10	1000	10000		
SET-C&S-0005	ガトービルネー (M)	10	2200	22000		
SET-C&S-0004	フィナンシェオショコラ (M)	30	1800	54000		
SET-C&S-0007	クリスピープリン (15個)	15	600	9000		
SET-C&S-0005	ジャージーブディング (5個)	15	1200	18000		
SET-C&S-0003	カスタードミロプディング (10個)	10	500	5000		
SET-F&S-0001	豪華なフルーツ盛り合わせ	2	7500	15000		
SET-F&S-0005	特選マスカメロン (中継)	2	6000	12000		
SET-F&S-0113	豪華度みかん	50	120	6000		
SET-F&S-0005	特選マスカメロン (中継)	2	6000	12000		
SET-F&S-0113	豪華度みかん	50	120	6000		
				合計		252500

5. 複合表帳票

1つの帳票の中にレイアウトの異なる明細を複数組み合わせる出力する帳票です。例えば、預かり資産状況や借入れ資産状況などのレイアウトが異なる複数の表明細を1つの帳票として出力することができます。

図：複合表帳票

＜お預り資産＞

◆流動性預金

種別	口座番号	お預り資産	口座開設日
普通預金	1234567	¥100,000	2000/12/15
普通預金	2345678	¥1,234,000	1995/10/25
普通預金	3456789	¥235,000	1998/03/18
普通預金	4567890	¥432,000	2001/02/09
普通預金	5678901	¥600,000	2003/07/20
普通預金	6789012	¥230,000	2005/12/13
普通預金	7890123	¥100,000	2005/06/10
貯蓄預金	8901234	¥1,500,000	2003/01/30
貯蓄預金	9012345	¥3,000,000	2004/04/30
合計		¥6,100,000	

◆定期性預金

種別	口座・証書番号	お預り金額	年利率	預入日	満期日	繰上り方法
パワフル定期	1234567	¥800,000	0.0005	2004/08/10	元利繰上	一括区分
	1		3ヶ月	2004/11/10	分繰繰上	
パワフル定期	1234567	¥1,000,000	0.0008	2004/08/01	元利繰上	一括区分
	2		1年	2007/08/01	分繰繰上	
パワフル定期	1234567	¥1,500,000	0.0008	2004/12/20	元利繰上	一括区分
	3		1年	2007/12/20	分繰繰上	
合計		¥3,300,000				

◆外貨定期預金

種別	口座・証書番号	お預り金額 (円換)	通貨種類	年利率	預入日	繰上り方法
新設外貨定期預金	1234567	¥1,100,000	USD	0.0091	2005/09/23	2005/12/23
	0.0091	10,000	100.00	3ヶ月	2005/09/23	分繰繰上
新設外貨定期預金	1234567	¥3,300,000	EUR	0.0079	2004/03/10	2004/6/10
	0.0079	30,000	100.00	3ヶ月	2004/03/10	分繰繰上
合計		¥4,400,000				
		40,000				

表オブジェクトはこれらの分類に関わらず、設定により柔軟に表の出力パターンを定義することが可能です。

なお、表オブジェクトを使用することで実現可能な帳票は、縦方向にデータが増えていくタイプの可変表です。横方向にデータが増えていくタイプの可変表には対応していません。

また、表オブジェクトを使用した際に作成できるジョブファイルの帳票種別は以下のものとなります。

- ・標準帳票（シングルデータ、マルチデータ）
- ・マルチフォーム（マルチデータ）

表オブジェクトを使用したセット帳票は利用できませんのでご注意ください。

1-2. 使用可能な入力データ形式

1. CSV

1行1レコード形式でリスト状にデータが並んでいるCSVファイルを入力データとして使用することができます。

図：リスト状のCSVデータ

```
A1046001, 帳票  一郎, 役員, 代表取締役, 1971/04/01
A1046002, 大池  信幸, 役員, 常務取締役, 1974/04/01
A1046005, 小山  徹也, 役員, 専務取締役, 1971/04/01
A1046009, 洲巻  雅義, 役員, 取締役, 1971/08/01
A1046011, 鹿渡  篤, 役員, 取締役, 1971/12/10
A1047002, 山田  竜童, 総務, 部長, 1972/04/01
A1047004, 山口  正弘, 人事, 部長, 1972/04/01
A1047006, 山形  俊二, 経理, 部長, 1972/07/22
A1048001, 三輪  努, 第1システム, 部長, 1973/04/01
A1048005, 三木  勝, 第2システム, 部長, 1973/04/01
```

...

使用するデータの範囲を「n行目以降」という形式で指定できるので、ファイルの先頭に何行かのヘッダー部分が存在しているファイルでも問題なく扱うことができます。例えば下のようなCSV構成の場合は、「6行目以降を表のデータとして使用する」という指定が可能です。

図：ヘッダー付きの CSV データ

帳票商事株式会社
115-0027
東京都江東区上砂 2-3-48
03-3725-1140
ID, 氏名, 所属, 役職, 入社日
A1046001, 帳票 一郎, 役員, 代表取締役, 1971/04/01
A1046002, 大池 信幸, 役員, 常務取締役, 1974/04/01
A1046005, 小山 徹也, 役員, 専務取締役, 1971/04/01
A1046009, 洲巻 雅義, 役員, 取締役, 1971/08/01
A1046011, 鹿渡 篤, 役員, 取締役, 1971/12/10
A1047002, 山田 竜童, 総務, 部長, 1972/04/01
A1047004, 山口 正弘, 人事, 部長, 1972/04/01
...

CSV の 1 項目の中に改行を含む CSV ファイルは Create!Form では扱うことができませんのでご注意ください。

2. データベース

Create!Form で使用可能なデータベース（Windows 上で ODBC 接続可能な RDBMS、もしくは Oracle データベース）を入力データとしてマッピングすることができます。

データベースを使用する場合、以下の制限があります。

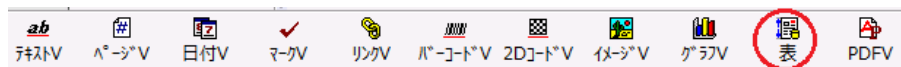
- ・バイナリデータを扱うことはできません
- ・改行を含むデータは改行をスペースに置換して扱います

2. 表オブジェクトの新規作成

2-1. フォームに表を定義する

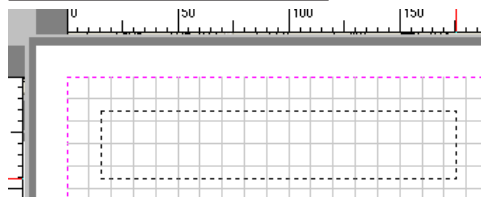
表オブジェクトを定義するには、他の変数オブジェクトと同様、ツールバーの表オブジェクトのアイコンをクリックします。

図：ツールバーの表オブジェクトアイコン



マウスカースルがオブジェクト生成モードの形状に変わった状態でフォーム上をドラッグ＆ドロップして表オブジェクトを配置します。

図：ドラッグ＆ドロップして配置



次のような表オブジェクト新規作成ダイアログが表示されます。

図：新規作成ダイアログ

表オブジェクト新規作成

変数名: TABLE000

記述: VTable

列数: 5 ☐ ラベルブロックを使用する

左から	項目名
1列目	ITEM001
2列目	ITEM002
3列目	ITEM003
4列目	ITEM004
5列目	ITEM005

項目名のイポート... OK キャンセル

ここで最低限必要な情報を設定します。

- ・ 変数名
- ・ 記述
- ・ 列数
- ・ 列名
- ・ ラベルブロックを使用するかどうか

ここで設定する情報は後から変更することが可能です。

例えば、「商品コード」「商品名」「金額」という3つの項目からなる表を作成する場合は、まず「列数」を「3」に変更します。画面下の項目リストがそれに合わせて3項目になります。

図：列数を変更する

列数: ☒ ラベル:

左から	項目名
1列目	ITEM001
2列目	ITEM002
3列目	ITEM003

リストの「項目名」は初期状態では「ITEM001」のような表示になっています。クリックすると編集可能な状態になるので、それぞれ「商品コード」「商品名」「金額」と入力して変更します。

図：項目名を入力

左から	項目名
1列目	商品コード
2列目	商品名
3列目	金額

「変数名」や「記述」は他の変数オブジェクトと同じものなので、必要があれば適切なものに変更してください。

[OK] ボタンをクリックすると、設定した情報に基づいて表オブジェクトがフォーム上に表示されます。

図：表オブジェクトが表示される

商品コード	商品名	金額
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

「項目名のインポート」ボタンから CSV ファイルをインポートすることで項目名を設定することもできます。

図：「項目名のインポート」ボタン

項目名のインポート...

「項目名のインポート」ボタンを押すとファイル選択ダイアログが表示されます。ここで選択した CSV ファイルの 1 行目に含まれているカンマで区切られた項目を読み込み、新規作成ダイアログの項目名に反映します。以下はインポートする CSV の 1 行目例です。

日付, 見積 No, 取引先コード, 取引先名, 商品コード, 商品名, 数量, 単価, 金額, 備考

図：項目名のインポート結果

左から	項目名
1列目	日付
2列目	見積No
3列目	取引先コード
4列目	取引先名
5列目	商品コード
6列目	商品名
7列目	数量
8列目	単価
9列目	金額
10列目	備考

Buttons: 項目名のインポート..., OK, キャンセル

CSV ファイルをエクスプローラーから項目名リストにドラッグアンドドロップすることでも項目名のインポートをすることができます。

項目名のインポートに利用できる CSV ファイルには以下の制限があります。

- ・取り込める最大項目数 : 50 項目
- ・1 項目あたりの最大文字列長 : 255 バイト
- ・1 行の最大文字列長 : 12800 バイト
- ・文字コード : SJIS のみ
- ・区切り文字 : 「,」（カンマ）のみ
- ・制御文字 : 「」（ダブルクォーテーション）のみ

不要な項目を選択して [Delete] キーを押すことで項目を削除することができます。項目を選択するには「～列目」と表示されている箇所をクリックします。項目を削除した場合、残りの項目の列番号が繰り上がります。

図：1項目「日付」を削除

表オブジェクト新規作成

表数名: TABLE001

記述: VTable

列数: 9 ☒ ラベルロックを使用する

左から	項目名
1列目	見積No
2列目	取引先コード
3列目	取引先名
4列目	商品コード
5列目	商品名
6列目	数量
7列目	単価
8列目	金額
9列目	備考

項目名のインポート... OK キャンセル

2-2. 表を追加する

2つ目以降の表オブジェクトを追加する場合、フォーム上のどの位置に配置しても必ず最後に追加した表の下に配置されます。

※表オブジェクトは15まで追加可能です。

※表オブジェクト機能では、複数の表を縦に並べて順番に出力していくことは可能ですが、複数の表を横に並べて出力することはできません。

図：表を追加

商品コード	商品名	金額
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

店舗コード	店舗名
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX

複数の表をフォーム上に配置すると「複合表」と呼ばれる帳票パターンになります。複合表については「27. 複合表」をご参照ください。

3. 選択・プロパティ

3-1. 表オブジェクトを選択する

表オブジェクトにマウスカーソルを合わせるとオブジェクトの左上にアイコンが表示されます。これは「プロパティボタン」といい、表オブジェクト全体を選択、設定するために使用します。

図：プロパティボタン



プロパティボタンをクリックすると表オブジェクト全体が選択状態になります。

図：選択状態



3-2. プロパティダイアログを表示する

表オブジェクトが選択状態のとき、プロパティボタンをダブルクリックするか、右クリックして表示されるコンテキストメニューから「プロパティ」を選択すると「プロパティダイアログ」が表示されます。

図：プロパティダイアログ

このダイアログは表オブジェクト全体の設定を管理するための画面です。[変数名]と[記述]は他の変数オブジェクトと同様の項目です。必要があれば自由に変更することができます。ただし、[変数名]はそのフォーム上で一意のものでなくてはなりません。

プロパティダイアログは、

- ・セル
- ・キー項目
- ・デザイン
- ・形態
- ・位置

の5つの画面で構成されています。

設定項目の内容については各機能の解説をご参照ください。

4. 表オブジェクトの構成要素

4-1. ブロック

表オブジェクトはそれ自体がさらにいくつかの部品に分かれています。その部品を「ブロック」といい、例えば入力データ 1 件分の出力にはレコードブロック、集計行の出力には集計ブロックが使用されます。つまり、ブロックは出力のタイミングでまとめられた「行のかたまり」のことです。

図：ブロック

ラベルブロック

社員検索リスト（一般用）

社員番号	名前	所属
A1046001	横濱 一郎	役員
A1046002	大池 信幸	役員
A1046005	小山 徹也	役員
A1046009	洲巻 雅義	役員
A1046011	鹿渡 篤	役員
A1047002	山田 竜貴	総務

レコードブロック

表オブジェクトは以下の 4 つのブロックにより構成されています。

- ・タイトルブロック : 表のタイトルを出力するためのブロック
- ・ラベルブロック : ラベルを出力するためのブロック
- ・レコードブロック : 入力データ 1 件分を出力するためのブロック
- ・集計ブロック : 集計値を出力するためのブロック

表オブジェクトでは、これらを組み合わせて 1 つの表を構成します。

図：ブロックを組み合わせる

社員検索リスト（一般用）

ラベルブロック	社員番号	名前	所属
レコードブロック	A1046001	横濱 一郎	役員
レコードブロック	A1046002	大池 信幸	役員
レコードブロック	A1046005	小山 徹也	役員
レコードブロック	A1046009	洲巻 雅義	役員
レコードブロック	A1046011	鹿渡 篤	役員
レコードブロック	A1047002	山田 竜貴	総務
レコードブロック	A1047009		

ブロックはこのようにそれぞれ意味を持っているので、ブロックの種類によって設定できる内容も変わってきます。また、全てのブロックを使用する必要はありません。表を出力するために最低限必要なものはレコードブロックだけです。

レコードブロックは表としての最も基本的な要素です。レコードブロックは入力データ 1 件に対して割り当てられるブロックで、帳票上には入力データの件数分だけレコードブロックが繰り返し出力されることになります。

図：レコードブロックが繰り返される

社員番号	名前	所属	
A1046001	橋本 一郎	役員	代表取
A1046002	大池 信幸	役員	常務取
A1046005	小山 敬也	役員	専務取
A1046009	渡部 雅也	役員	取締役
A1046011	渡辺 真	役員	取締役
A1047002	山田 竜蔵	総務	部長
A1047004	山口 正弘	人事	部長

そのためFormエディターの画面上でも繰り返し出力されるイメージがつかめるようにレコードブロックのみ3ブロック表示されています。

図：レコードブロックは3つ表示される

社員番号	名前	所属	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXX

これは表としてのイメージを画面上で把握しやすくするため、3つのブロックが表示されていても全て同じものを表しています。3つのうちの1つを選択すると他の2つのブロックも選択状態になり、変更があればそれも全て他の2つに反映されます。

4-2. 行

ブロックは、最低で1つ、最大で5つの「行」で構成されます。

図：行

10110	パート A7	0	02,000	104,000
10205	0A#z7	20	39,800	796,000
10205	0A#z7		49,800	249,000
10301	事務机	10	59,800	598,000
10302	事務机	10	36,800	368,000
10310	事務机	5	32,800	164,000
10	事務机	5	32,800	164,000
	合計			26,510,000
	税込み合計			27835500

1行の高さは1つのフォーム内では全てのブロックで共通のものが使用されます。そのため、例えば、レコードブロックの1行の高さとラベルブロックの1行の高さを別のものにすることはできません（レコードブロックとラベルブロックの「行数」を別に設定することは可能です）。

行の高さを設定するには、Formエディターのメニュー[ファイル]-[フォーム設定]で表示される[フォーム設定]ダイアログで、「表オブジェクト」タブにある[行間隔]を変更します。[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトに反映されます。

図：フォーム設定画面で行間隔を変更

フォーム設定

ステータス | 用紙サイズ | 編集モード | テンプレート

lpi/cpi | 表オブジェクト | Screen設定

行間隔: 12,000

ガイド

1ページ目の開始位置: 290,000

2ページ目以降の開始位置: 290,000

最終ページ分の位置: 818,000

終端位置: 818,000

☒ データが0件の場合はその表を表示しない

☐ データが0件の場合は警告する

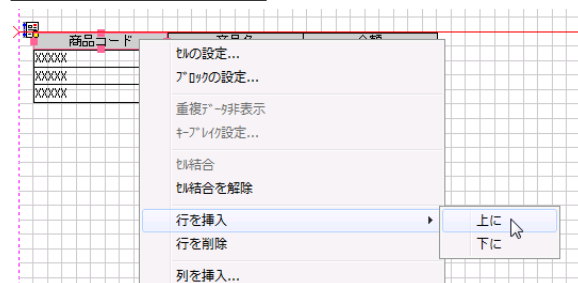
☒ 計算処理において0除算が発生した場合は警告する

OK キャンセル

1ページ内に最大何件のデータが出力されるかは、この「行間隔」と後述するガイド線との関係によって決まります。ページとデータの扱いについては「14. 改ページ」をご参照ください。

また、ブロックに対して行を追加するには、ブロックのいずれかのセルを選択状態にして右クリックします。表示されたコンテキストメニューから「行を挿入」-「上に」（もしくは「下に」）を選択します。

図：コンテキストメニュー



選択していたセルを含む行がコピーされてその行の上に（もしくは下に）追加されます。

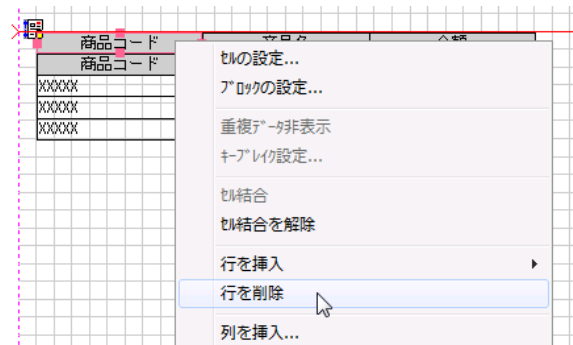
図：行が追加される

商品コード	商品名	金額
商品コード	商品名	金額
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

追加された行は最初に選択した行と同じブロックに追加されます。行は1つのブロックにつき5行まで増やすことができます。

逆に行を削除するには、削除したい行のいずれかのセルを選択状態にし、右クリックで表示されるコンテキストメニューから「行を削除」を選択します。

図：コンテキストメニュー



行を全て削除するとそのブロック自体が削除されます。ただし、レコードブロックだけは必ず最低1行は必要となるため、削除することはできません。

4-3. セル

図：セル

社員番号	名前	所属
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

セル

「ブロック」はさらに複数の「セル」で構成されます。セルは表オブジェクトの構成要素における最小単位で、各データはこのセルに対してマッピングされ出力されます。

セルをクリックすると選択状態になります。

図：選択状態

名前
XXXXXX
XXXXXX

[Ctrl] キーを押しながらクリックすると、複数のセルを選択状態にすることができます。

図：複数選択

号	名前	所属
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

セルを選択した状態で、

- ・そのセルをダブルクリック
- ・右クリックして表示されたコンテキストメニューから「セルの設定」を選択

のいずれかの操作を行うと「セルの設定」ダイアログが表示されます。

図：セルの設定ダイアログ

セルの設定ダイアログでは、そのセルに関する詳細な設定を行うことができます。ここでの設定内容は、[形式]に指定されたものによって異なります。詳細は各機能説明をご参照ください。

- ・テキスト：「8. テキスト」
- ・イメージ：「9. イメージ」
- ・バーコード：「10. バーコード」

[セル名]は、そのセルの名前です。セルはそれぞれ一意の名前を持っており、この名前は自由に変更することができます。ただし、セル名はその表オブジェクト内で一意のものでなくてはなりません。

セルは設定内容に応じて表示が変わります。

図：セルの表示

商品コード	商品名	金額	商品イメージ
XXXXX	XXXXX	XXXXX	IMAGE
BARCODE			IMAGE
XXXXX	XXXXX	XXXXX	IMAGE
BARCODE			IMAGE
XXXXX	XXXXX	XXXXX	IMAGE
BARCODE			IMAGE
SUM	AVG	CNT	CAL

マッピングデータ

“XXXX” と表示されます。

集計値

“SUM” “AVG” “CNT” のいずれかが表示されます。

計算値

“CAL” と表示されます。

連番

“AUTO” と表示されます。

固定テキスト

設定された文字列が表示されます。

イメージ

黄色い領域で表示されます。

バーコード

バーコードイメージが表示されます。

その表オブジェクトが保持しているセルの一覧はプロパティダイアログの「セル」タブで確認することができます。プロパティダイアログを表示するには、プロパティボタンを選択してダブルクリックします。

図：セル一覧

セル名	形式	フォント	値
商品コード	テキスト	MS ゴシック	データ
商品名	テキスト	MS ゴシック	データ
金額	テキスト	MS ゴシック	データ

[領域] からセル一覧を確認したいブロックを選択すると、リストにそのブロックのセル一覧が表示されます。リスト上でセルを選択して [編集] ボタンをクリックすると「セルの設定」ダイアログが表示されて内容を変更することができます。

定義可能なセルの数には上限があります。1つのFormファイルに対して定義可能な変数オブジェクト数は999個です。表オブジェクトは内部にいくつかの変数オブジェクトを保持しています。当然、999個の制限を超える場合は表オブジェクトを定義することはできません。1つの表オブジェクトが保持する変数オブジェクト数は表の定義（ブロック数、セル数等）によって増減します。その時点でフォームに定義されている変数オブジェクト数は、Formエディターのステータスバーの右端の表示で確認することができます。

図：変数オブジェクト数

倍率:幅	オブジェクト数:固定[0] 変数[17]
------	----------------------

4-4. 列

1つの表オブジェクトに含まれる全ての行はブロックの種類に関係なく同一数のセルを保持します。つまり、表オブジェクト全体で見ればセルが格子状に並んでいることになります。

図：セルは格子状に並ぶ

社員番号	名前	所属
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

セルを横方向にまとめた単位が「行」となりますが、同様に全てのブロックのセルを縦方向にまとめた単位を「列」として扱います。一つの表オブジェクトには50列まで定義することが可能です。

図：列

社員番号	名前	所属
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

列に対する追加や削除といった操作は特定のブロックだけでなく、その表オブジェクトの全てのブロックに影響を与えることになります。

列を追加するには、列を追加したい部分のセルを選択状態にして右クリックします。表示されたコンテキストメニューから「列を挿入」を選択すると「列挿入」ダイアログが表示されます。

図：列挿入ダイアログ

列挿入

追加先: ☐ 左に ☒ 右に

項目名:

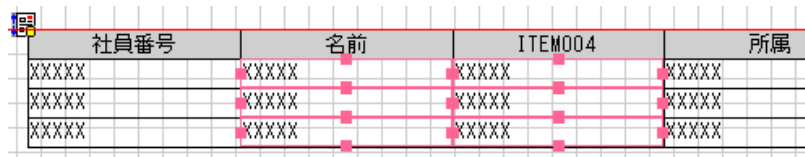
ITEM004

OK

キャンセル

[追加先] から列を追加したい場所を選択します。[左に] を選択すると、選択しているセルの列の左側に新しい列が追加され、[右に] を選択すると、選択しているセルの列の右側に新しい列が追加されます。[項目名] に入力されたテキストが新たに追加される列のラベルに表示されます。新しく追加された列の書式や罫線情報は、列の隣にある列の設定が使用されます。列が追加されるとその表の全てのブロックに 1 列分のセルが追加されます。

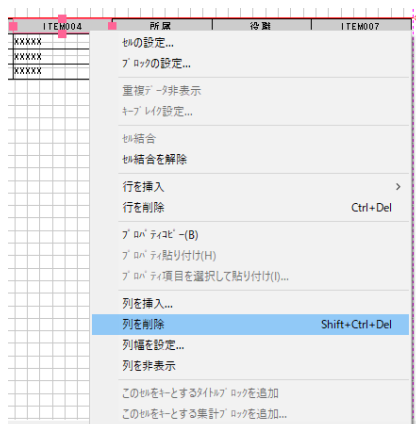
図：列を追加



社員番号	名前	ITEM004	所属
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

逆に列を削除するには、削除したい列のいずれかのセルを選択状態にして右クリックします。表示されたコンテキストメニューから [列を削除] を選択します。

図：コンテキストメニュー

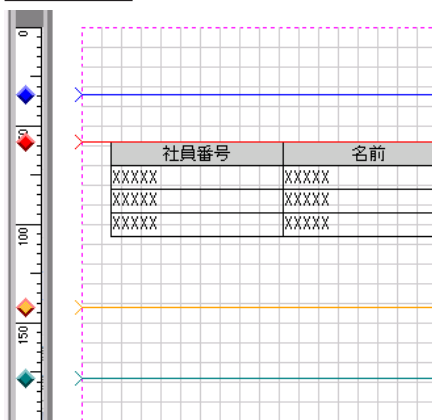


[列を非表示] については、「 34. 非表示 」をご覧ください。

4-5. ガイド線

表オブジェクトの出力範囲や改ページのタイミングを決めるためにはガイド線を使用します。ガイド線は Form エディター上に表示される以下の 4 色の横線で、表オブジェクトが存在するときだけ画面上に表示されます。

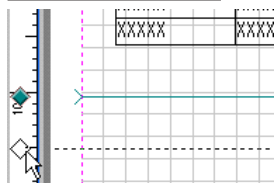
図：ガイド線



- ・ 1 ページ目の開始位置（赤）
- ・ 2 ページ目以降の開始位置（青）
- ・ 最終ページ フッター位置（黄）
- ・ 終端位置（緑）

これらの線は、表の出力位置を制御するための補助線なので、実際の帳票上にこれらのガイド線が出力されることはありません。それぞれのガイド線は画面左側のルーラー上にあるひし形のとつまみ（アンカー）を上下にドラッグすることで移動できます。

図：ガイド線アンカー



また、メニューの〔ファイル〕-〔フォーム設定〕から表示される〔フォーム設定〕ダイアログで「表オブジェクト」タブの〔ガイド線〕の各項目の設定値を変更することでガイド線の位置を指定することができます。

図：フォーム設定ダイアログ

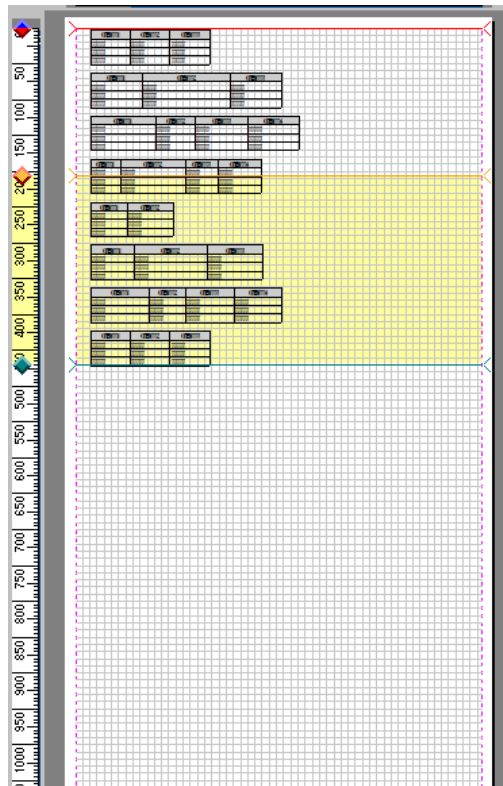
ガイド線を使用した表の出力位置の制御については「14. 改ページ」をご覧ください。

Formエディター上での表オブジェクトは、必ず1ページ目の開始位置ガイド線と終端位置ガイド線の間（表オブジェクト領域）に収まるように表示されます。通常、表オブジェクトを1つだけしか使用しない帳票では特に問題はないのですが、複数の表オブジェクトを扱う帳票の場合、この領域に入りきれないケースが出てきます。そのようなときに、擬似的に表オブジェクト領域を拡張して表示する機能を「表伸張モード」といいます。

図：表伸張モード

擬似的に拡張している部分は背景色が薄い黄色で示される領域です。

図：フォーム全体が伸張表示される



フォーム全体を表示してみると黄色い領域の分だけフォームが縦に伸びているのが分かります。しかし、これはあくまでも擬似的に伸ばして表示しているだけなので実際に出力される帳票の用紙サイズが伸びているわけではありません。また、この黄色い拡張部分には表以外のオブジェクトを配置することはできません。

表伸張モードは初期状態では有効になっていますが、この機能を無効にすることもできます。表伸張モードの有効・無効の切り替えはFormエディターのツールバーにある「表伸張モード」アイコンをクリックすることで行います。

図：ツールバー



表伸張モードを無効にすると、用紙上で表が出力される領域に収まりきらない表オブジェクトは画面上に表示されなくなります。ただしこれは画面の表示上で隠れているだけなので、実際の帳票上には全ての表オブジェクトが出力されます。

図：表伸張モードを解除

ITEM001	ITEM002	ITEM003
00001	00001	00001
00001	00001	00001
00001	00001	00001

ITEM001	ITEM002	ITEM003
00001	00001	00001
00001	00001	00001
00001	00001	00001

ITEM001	ITEM002	ITEM003	ITEM004
00001	00001	00001	00001
00001	00001	00001	00001
00001	00001	00001	00001

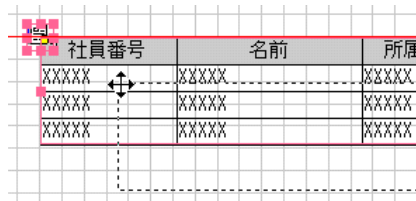
表示されていない部分を表示させたい場合は、表伸張モードを有効にしてください。

5. 移動・サイズ変更

5-1. 表オブジェクトを移動する

表オブジェクトが選択状態になっているときにプロパティボタンをドラッグ&ドロップすると、表オブジェクトを移動することができます。

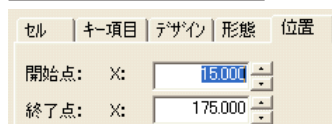
図：移動



ただし上下に移動できるのは1番上の表オブジェクトを選択している時のみです。2番目以降の表オブジェクトは上下に移動することはできません。そのかわり、表オブジェクト同士の間隔は行数単位で指定することができます。詳しくは「27. 複合表」をご参照ください。

また、プロパティダイアログの「位置」タブではオブジェクトの座標を直接入力して移動することができます。

図：プロパティダイアログ



5-2. 表オブジェクトのサイズを変更する

表オブジェクトを選択した状態で、マウスカースルを左右のアンカーに合わせるとサイズ変更用のつまみが表示されます。このつまみをドラッグすると表オブジェクトのサイズを変更することができます。全体のサイズが変更されると、それに合わせて表の各セルのサイズもそれぞれ均等に変更されます。

図：サイズ変更



また、プロパティダイアログの「位置」タブではオブジェクトの座標を直接入力して表全体のサイズを変更することができます。

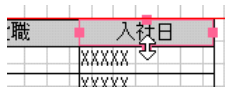
図：プロパティダイアログ

セル	キー項目	デザイン	形態	位置
開始点:	X:	15.000		
終了点:	X:	175.000		

5-3. セルのサイズを変更する

セルが選択状態のとき、選択矩形の上下左右の各辺にサイズ変更用のつまみが表示されます。このつまみをドラッグするとセルのサイズを変更することができます。

図：選択状態



セルを縦にサイズ変更するとその行全体のサイズを変更することができます。

図：セルを縦に伸ばす



セルを縦に伸ばす場合には、そのセルが属しているブロックの高さが 10 行分を超えるようなサイズ変更を行うことはできませんのでご注意ください。

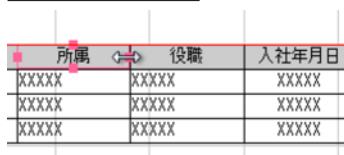
図：セルを縦に伸ばすときの制限



ドラッグにより行の高さを変更した場合、その行に属するセルは、設定した行数分だけのセルが縦に結合した状態になります。よって、セル結合を解除すると 1 行分の高さのセルに分割されます。

セルを横にサイズ変更するとその列全体のサイズを変更することができます。

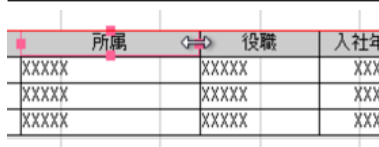
図：横にサイズ変更



所属	役職	入社年月日
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX

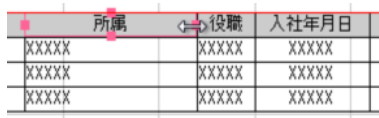
このとき、[Shift] キーを押さないでサイズ変更した場合は、選択セルの列のみがサイズ変更されます。[Shift] キーを押しながらサイズ変更した場合は、選択セルのサイズ変更に合わせて隣の列のセル幅が変更されます。

図：Shift を押さないでサイズ変更した場合



所属	役職	入社年月日
XXXXX	XXXXX	XXX
XXXXX	XXXXX	XXX
XXXXX	XXXXX	XXX

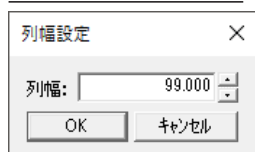
図：Shift を押しながらサイズ変更した場合



所属	役職	入社年月日
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX

また、セルを選択した状態で右クリックし、コンテキストメニューから「列幅を設定」を選択すると「列幅設定」ダイアログが表示されます。

図：列幅設定ダイアログ



列幅設定

列幅:

99.000

+

-

OK

キャンセル

この画面上で列幅を数値で入力して変更することもできます。

6. データのマッピング

6-1. CSV データマップ

CSV のデータを表オブジェクトにマッピングするには CSV 用の Datamap エディターを使用します。

図：CSV Datamap エディター

表オブジェクトを定義した Form ファイルを読み込むと変数名リストに表オブジェクト名が表示されるので、これをクリックして選択状態にします。

図：選択状態

マッピングウィンドウに表示されている CSV データの、表のデータとして使用したい部分の最初の 1 行をドラッグして選択します。

図：マッピング領域をドラッグ

ポインターが“OK”表示になるのでクリックすると、その行以降の領域が全てマッピングされます。

図：マッピング確定

変数名(V)	種類(T)	属性(Z)	行(L)	項目番号(D)	行数(P)	項目数(N)	ヘッダ出力範囲(H)	集計(S)	重複表示(R)
LIST	表		1	1	66	9			
変数名	A1040001	帳票	一部	役員	代表取締役	1871/04/01	1951/10/02	115-0027	東京都江東区上03-3725-1140
LIST	A1040002	大池	佐藤	役員	取締役	1874/04/01	1951/08/20	158-0021	東京都江戸川区03-3500-0889
	A1040005	小山	池也	役員	取締役	1871/04/01	1951/08/17	193-0049	東京都世田谷区03-3028-5684
	A1040009	刈巻	雅義	役員	取締役	1871/08/01	1952/11/01	154-0075	東京都豊島区03-3608-3189
	A1040011	鹿渡	雅	役員	取締役	1871/12/10	1952/02/23	145-0067	東京都練馬区03-3503-0883
	A1047002	山口	竜孝	総務	部長	1872/04/01	1952/08/03	157-0018	東京都北区03-3430-1508
	A1047004	山口	正弘	人事	部長	1872/04/01	1952/12/31	114-0092	東京都板橋区03-3444-8656
	A1047006	山形	佐二	経理	部長	1872/07/22	1953/06/20	154-0060	東京都渋谷区03-3444-4588
	A1048001	三橋	勇	第1分社	部長	1873/04/01	1953/12/24	146-0025	東京都港区03-3257-7232
	A1048005	三木	勝	第2分社	部長	1873/04/01	1953/08/10	158-0054	東京都新宿区03-3218-8482

「選択した行以降」という形式でマッピング範囲を指定するので、ファイルの先頭に何行かのヘッダー部分が存在しているようなファイルでも問題なく扱うことができます。

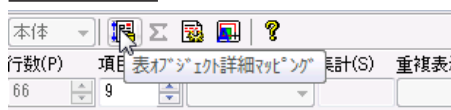
図：ヘッダー付きのCSVに対してマッピング

変数名(V)	種類(T)	属性(Z)	行(L)	項目番号(D)	行数(P)	項目数(N)	ヘッダ出力範囲(H)	集計(S)	重複表示(R)
LIST	表		6	1	66	9			
変数名	帳票商事株式会社								
LIST	115-0027								
	東京都江東区								
	03-3725-1140								
ID	氏名	所属	役職	入社年月日	生年月日	郵便番号	住所	電話番号	
A1040001	帳票	一部	役員	代表取締役	1871/04/01	1951/10/02	115-0027	東京都江東区上03-3725-1140	
A1040002	大池	佐藤	役員	取締役	1874/04/01	1951/08/20	158-0021	東京都江戸川区03-3500-0889	
A1040005	小山	池也	役員	取締役	1871/04/01	1951/08/17	193-0049	東京都世田谷区03-3028-5684	
A1040009	刈巻	雅義	役員	取締役	1871/08/01	1952/11/01	154-0075	東京都豊島区03-3608-3189	
A1040011	鹿渡	雅	役員	取締役	1871/12/10	1952/02/23	145-0067	東京都練馬区03-3503-0883	
A1047002	山口	竜孝	総務	部長	1872/04/01	1952/08/03	157-0018	東京都北区03-3430-1508	
A1047004	山口	正弘	人事	部長	1872/04/01	1952/12/31	114-0092	東京都板橋区03-3444-8656	
A1047006	山形	佐二	経理	部長	1872/07/22	1953/06/20	154-0060	東京都渋谷区03-3444-4588	
A1048001	三橋	勇	第1分社	部長	1873/04/01	1953/12/24	146-0025	東京都港区03-3257-7232	
A1048005	三木	勝	第2分社	部長	1873/04/01	1953/08/10	158-0054	東京都新宿区03-3218-8482	
A1048006	三木	勝	管理	部長	1873/08/01	1954/04/30	182-0093	東京都千代田区03-3401-1838	
A1049007	佐藤	ま	北郷	部長	1923/09/01	1954/02/22	115-0040	東京都台東区03-3474-8688	

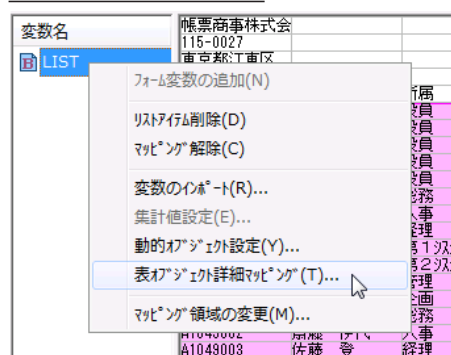
表オブジェクトのセルがCSVのどの位置にマッピングされているかを確認するためには「表オブジェクト詳細マッピング」ダイアログを表示させます。「表オブジェクト詳細マッピング」ダイアログを表示させるためには変数名リストの表オブジェクト名を選択した状態で、以下のいずれかの操作を行います。

- ・メニューの [編集] - [表オブジェクト詳細マッピング] を選択
- ・ツールバーの [表オブジェクト詳細マッピング] アイコンをクリック
- ・変数名リストの表オブジェクト名を右クリックして [表オブジェクト詳細マッピング]

図：ツールバー



図：コンテキストメニュー



図：表オブジェクト詳細マッピングダイアログ

表の項目名	データ属性	カラム名	カラムデータ
社員番号	テキスト	1行目 1項目	A1046001
名前	テキスト	1行目 2項目	帳票 一郎
所属	テキスト	1行目 3項目	役員
役職	テキスト	1行目 4項目	代表取締役
入社年月日	テキスト	1行目 5項目	1971/04/01
生年月日	テキスト	1行目 6項目	1951/10/02
郵便番号	テキスト	1行目 7項目	115-0027
住所	テキスト	1行目 8項目	東京都江東区 上砂 2-3-4
電話番号	テキスト	1行目 9項目	03-3726-1140

〔表の項目名〕には表オブジェクトの各セル名が表示されます。また、それぞれのセルに対するマッピング情報は〔カラム名〕に表示されます。

図：マッピング

表の項目名	データ属性	カラム名	カラムデータ
社員番号	テキスト	1行目 1項目	A1046001
名前	テキスト	1行目 2項目	帳票 一郎
所属	テキスト	1行目 3項目	役員

〔カラム名〕の初期状態は、マッピングウィンドウでマッピングした領域の先頭から順に割り当てられます。〔カラム名〕欄をクリックすると選択候補がリスト表示され、マッピングした範囲内で入れ替えたり変更することができます。

図：カラム名選択

表の項目名	データ属性	カラム名	カラムデータ
社員番号	テキスト	1行目 1項目	A1046001
名前	テキスト	1行目 2項目	帳票 一郎
所属	テキスト	1行目 3項目	役員
役職	テキスト	1行目 4項目	代表取締役
入社年月日	テキスト	1行目 5項目	1971/04/01
生年月日	テキスト	1行目 6項目	1951/10/02
郵便番号	テキスト	1行目 7項目	115-0027
住所	テキスト	1行目 8項目	東京都江東区 上砂 2-3-4
電話番号	テキスト	1行目 9項目	03-3726-1140

〔カラム名〕が指定されると〔カラムデータ〕にサンプルデータが表示されます。

図：カラムデータ表示

表の項目名	データ属性	カラム名	カラムデータ
社員番号	テキスト	1行目 2項目	帳票 一郎
名前	テキスト	1行目 2項目	帳票 一郎
所属	テキスト	1行目 3項目	役員

[OK] ボタンをクリックすると変更が確定されます。

<< 注意 >>

1つのセルにマッピング可能なテキストデータの長さは10240バイトまでです。

<< 注意 >>

〔データマップ設定〕で指定できる〔マッピング領域〕の〔行数〕は、表オブジェクトの出力行数とは関係がありません。表オブジェクトの出力制御は、Formエディターで設定できる表オブジェクトの行間隔とガイド線の位置によって決まります。「14. 改ページ」で詳しく解説しているのでそちらをご覧ください。

6-2. DB データマップ

DBのデータを表オブジェクトにマッピングするにはDB用のDatamapエディターを使用します。

図：DB Datamap エディター

クエリフィールド番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
クエリフィールド名	ID	NAME	DEPARTMENT	POST	FIRST DATE	DATE OF BIRTH	ZIP CODE	ADDRESS	PHONE NUMBER
1	A1040001	橋本 一郎	役員	代表取締役	1970/04/01	1957/07/02	115-0027	東京都上野区上野	03-3725-1140
2	A1040002	大池 信幸	役員	常務取締役	1974/04/01	1951/09/00	159-0021	東京都江戸川区	03-3900-0099
3	A1040003	小山 健也	役員	専務取締役	1971/04/01	1951/08/17	159-0049	東京都世田谷区	03-3020-5004
4	A1040004	洲崎 雅典	役員	取締役	1971/08/01	1952/11/01	154-0075	東京都豊島区	03-3600-3109
5	A1040011	森田 孝	役員	取締役	1971/12/10	1952/02/23	145-0067	東京都練馬区	03-3900-0063
6	A1047002	山田 竜孝	経理	部長	1972/04/01	1952/08/03	157-0010	東京都北区	03-3430-1506
7	A1047004	山口 正弘	人事	部長	1972/04/01	1952/12/31	114-0092	東京都目黒区	03-3444-6555
8	A1047005	山口 俊一	経理	部長	1972/07/22	1950/06/20	154-0060	東京都中央区	03-3444-4500
9	A1048001	三橋 智	システム	部長	1973/04/01	1950/12/24	145-0025	東京都港区	03-3257-7232
10	A1048005	三木 勝	システム	部長	1973/04/01	1950/08/10	150-0054	東京都新宿区	03-3210-8412

フォーム変数名 LIST

クエリフィールド番号	1-9
データ型	表
非表示	☐
重複非表示	☐
集計	-
総集計	-
キーフレーズ	-

DB: 切断中 変数: 1

表オブジェクトを定義したFormファイルを読み込むとフィールドビューの変数名リストに表オブジェクト名が表示されます。

図：表オブジェクトが表示される

フォーム変数名	LIST
クエリフィールド番号	設定なし
データ型	表
非表示	☐
重複非表示	☐
集計	-
総集計	-
キーフレーズ	-

表オブジェクトにマッピング操作を行うためには、以下のいずれかの操作を行います。

- ・ リクエストビューのカラムからフィールドビューの表オブジェクトにドラッグ & ドロップする
- ・ フィールドビューの表オブジェクトの「フォーム変数名」をクリックする

以下のような表オブジェクトマッピングダイアログが表示されるので、ここでマッピングを定義します。

図：表オブジェクトマッピングダイアログ

「クエリフィールド番号」を選択し、マッピング範囲を指定します。

図：マッピング範囲を指定

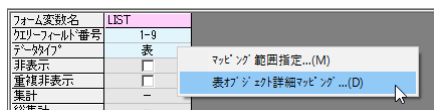
「OK」ボタンをクリックするとマッピングが完了します。

図：マッピング完了

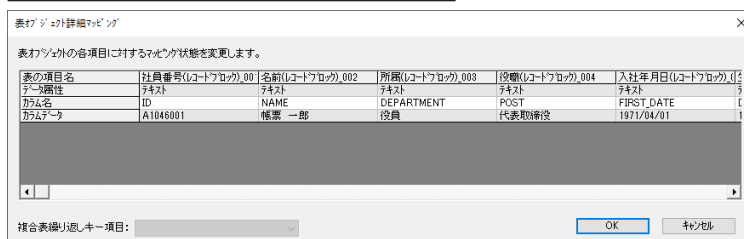
フォーム変数名	LIST
クエリフィールド番号	1-9
データタイプ	表
非表示	☐
重複非表示	☐
集計	—
総集計	—
キーアレイ	—

表オブジェクトのどのセルとデータベースのどのカラムがマッピングされているかを確認するためには「表オブジェクト詳細マッピング」ダイアログを表示させます。「表オブジェクト詳細マッピング」ダイアログを表示させるためには、フィールドビューの表オブジェクト名を右クリックして表示されるコンテキストメニューから「表オブジェクト詳細マッピング」を選択します。

図：コンテキストメニュー



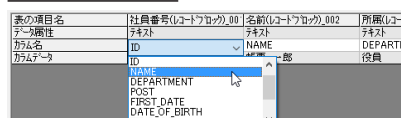
図：表オブジェクト詳細マッピングダイアログ



「表の項目名」には表オブジェクトの各セル名が表示されます。また、それぞれのセルに対するマッピング情報は「カラム名」に表示されます。

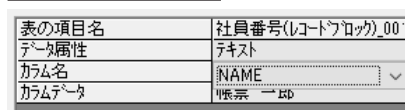
「カラム名」の初期状態は、表オブジェクトマッピングダイアログで設定したクエリフィールドの先頭から順に割り当てられます。「カラム名」欄をクリックすると選択候補がリスト表示され、表オブジェクトマッピングダイアログで設定した範囲内で入れ替えたり変更することができます。

図：カラム名選択



「カラム名」が指定されると「カラムデータ」にサンプルデータが表示されます。

図：カラムデータ表示



[OK] ボタンをクリックすると変更が確定されます。

<< 注意 >>

[ファイル設定]で指定できる[ページ行数]は、表オブジェクトの出力行数とは関係がありません。表オブジェクトの出力制御は、Formエディターで設定できる表オブジェクトの行間隔とガイド線の位置によって決まります。「14. 改ページ」で詳しく解説しているのでそちらをご覧ください。

6-3. ffc ファイルの共有制限

表オブジェクト固有の帳票資源ファイルとして、Form ファイル作成時、作業フォルダの「form」フォルダに拡張子が「.ffc」のファイルが生成されます。これは表オブジェクトに関する情報が格納される資源ファイルです。表オブジェクトがそのForm ファイル上に定義されていないければ、ffc ファイルは生成されません。

このファイルはランタイムによる帳票出力に必要な資源ファイルとなるので、他の資源ファイルと同様、サーバー上の実行環境に転送する必要があります。

ffc ファイルには、表オブジェクトの設定とマッピングの設定の情報が保存されています。Form ファイルと Datamap ファイルは ffc ファイルにより一意に関連付けられます。そのため、1つの表オブジェクトに対して複数の Datamap ファイルを利用することはできません。

例えば、表オブジェクトを定義した Form ファイルを使用して CSV の Datamap ファイルを作成後、同じ Form ファイルを使用して DB の Datamap ファイルを作成した場合、ffc ファイルには DB の Datamap ファイルのマッピング情報が保存されています。CSV の Datamap ファイルは利用することができませんのでご注意ください。

7. 罫線・背景色の設定

線種や背景色はセル単位で変更することができます。例えば、合計金額の欄だけ太枠にして強調させる、といったことが可能です。線種や背景色を変更するには、以下のいずれかの操作を行い「セルの設定」ダイアログを表示させます。

- ・セルをダブルクリック
- ・セルを選択して右クリックし、コンテキストメニューから「セルの設定」を選択

「罫線」タブをクリックし「罫線」の設定画面を表示させます。

図：セルの設定ダイアログ



この画面ではそのセルの上下左右の各罫線の「線種」、「線幅」、「色」と、セルの「背景色」を設定することができます。

7-1. 線種

線の種類を指定するには「線種」のリストから線種を選択します。指定できる線種は以下の7種類です。

- ・実線
- ・破線
- ・点線
- ・一点鎖線
- ・二点鎖線
- ・二重線
- ・なし

図：線種変更

[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも線種が反映されます。

図：線種が反映される

社員番号	
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX
YYYYYY	YYYYYY

「二重線」を指定する場合、1pt 程度の線幅だと細すぎて二重線と判別できない可能性があります。二重線の場合は若干 [線幅] の値を大きめにとることをお勧めします。ちなみに 3pt を指定するとちょうど 1pt の線が 2 本描画されます。具体的には、以下のように線幅で指定された値を 3 等分しています。

図：二重線



7-2. 線幅

線の幅を指定するには [線幅] の値を変更します。

図：線幅変更

[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも線幅が反映されます。

図：線幅が反映される

社員番号	
XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX
YYYYYY	YYYYYY

7-3. 線の色

線の色を指定するには [色] のボタンをクリックして色を選択します。

図：線の色変更



[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも線の色が反映されます。

図：線の色が反映される

社員番号	
XXXXX	XXXXX
YYYYY	YYYYY

7-4. 背景色

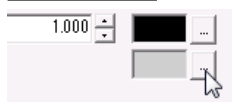
背景色を指定するには、まず [塗りつぶし] のチェックボックスにチェックを入れます。

図：塗りつぶしをチェック



右側の色選択ボタンが有効になるので、そこから背景色を選択します。

図：背景色選択



[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも背景色が反映されます。

図：背景色が反映される

社員番号	
XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX

7-5. 罫線の描画優先順位

ブロック間で重なり合った部分の罫線は、そのまま重なり合って描画されるわけではなくどちらか一方だけが描画されます。例えば、レコードブロックと集計ブロックが接している部分では、レコードブロックの罫線は描画されず集計ブロックの罫線が描画されます。

図：集計ブロックの罫線が描画される

ノグ (5個)	15	1200	18000
ノグ (10個)	10	500	5000
ノグ (合わせ)	2	7500	15000
ノグ (中継)	2	6000	12000
	50	120	6000
日付別集計			397800
ノグ (8個)	10	630	6300

このように各ブロックにはそれぞれ優先順位が存在しており、それに従って適切な罫線が選択されて描画されます。具体的には、以下のような優先順位で描画が行われます。

1. ラベルブロック
2. ラベルブロックの上のタイトルブロック (キータイトル)
3. ラベルブロックの上のタイトルブロック (表のタイトル)
4. 集計ブロック (総集計)
5. 集計ブロック (キー集計)
6. ラベルブロックの下のタイトルブロック (キータイトル)
7. レコードブロック

図：ブロックの種類

XXXXX	: ラベルブロックの上のタイトルブロック (表のタイトル)				
XXXXX	: ラベルブロックの上のタイトルブロック (キータイトル)				
ITEM001	ITEM002	ITEM003	ITEM004	ITEM005	: ラベルブロック
XXXXX	: ラベルブロックの下のタイトルブロック (キータイトル)				
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	: レコードブロック
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	: レコードブロック
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	: レコードブロック
キー集計				SUM	: 集計ブロック (キー集計)
総集計				SUM	: 集計ブロック (総集計)

また、レコードブロック同士の境界線では、より下にあるレコードブロックの上罫線が描画されます。

図：レコードブロックの罫線

線種	線幅
上:	1.000
下:	2.000

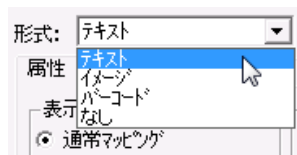
3-7-6	03-3360-4656
1-6-23	03-3833-8995
町平山733	03-3194-8599
西砂3-15-46	03-3678-8768
区杉本9-8-85	03-3865-3908

8. テキスト

8-1. セルにテキストデータを出力する

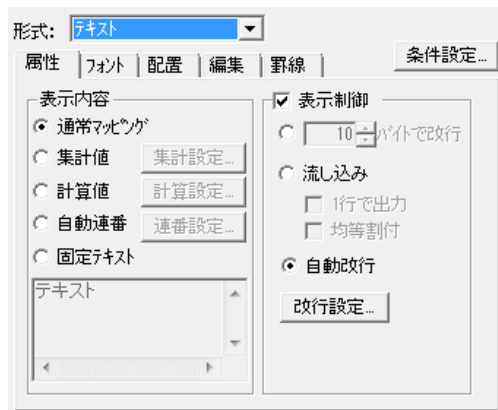
セルにテキストデータを出力するには「セルの設定」ダイアログで「形式」を「テキスト」にします。

図：形式をテキストにする



「属性」タブの内容が以下のようなテキスト設定用の内容に変わります。

図：属性



「表示内容」では、そのセルにどのようなデータを出力するかを指定します。「集計値」や「計算値」、「自動連番」についてはそれぞれ以下の項目をご参照ください。

- ・ 集計値 : 「20. 集計」
- ・ 計算値 : 「21. 計算」
- ・ 自動連番 : 「22. 自動連番」

「表示制御」ではセルの領域から溢れるテキストデータをどのように出力するのか定義します。

8-2. マッピングデータを表示する

セルに入力データをマッピングして出力する場合は、「表示内容」を「通常マッピング」にします。本設定では、ブロックによって出力する内容が変わります。
通常マッピングに設定したセルには、Form エディター上で「XXXXX」と表示されます。

8-3. 流し込み

「流し込み」はテキスト変数の「流し込み」と同等の機能です。テキストデータの長さにあわせて、データがセルの中に収まるようにフォントサイズや改行を調整します。

図：流し込み

高原	由美
高橋	まりや
橋本	美穂
高橋	健介
荒牧	久美子
江崎	辰則
五十嵐	克也

流し込み機能を有効にするためには、[表示制御]のチェックボックスにチェックを入れ、[流し込み]を選択します。

図：流し込みを指定

この設定を解除したい場合は[表示制御]のチェックを外します。

図：表示制御解除

流し込みが指定されていないセルでは、セルの幅を超えるような長さのテキストデータを入力する場合、そのままセルをはみ出して出力されます。

図：セルをはみ出る

高原	由美
高橋	まりや
橋本	美穂
高橋	健介
荒牧	久美子
江崎	辰則
五十嵐	克也

[行間隔固定]や[1行で出力]、[均等割付]といった機能はテキスト変数のものと同じです。詳しくはマネージャーのメニュー[ヘルプ]-[オンラインマニュアル]から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「固定テキスト/テキスト変数」をご覧ください。

<< 注意 >>

流し込み機能を有効にすると、テキストデータの末尾の半角スペース（連続入力したものも含みます）は削除されて出力されます。

8-4. バイト数による自動改行

「流し込み」の場合は、セルのサイズは固定で、その中にテキストデータを押し込むかたちで出力しますが、逆にフォントサイズは変更せずに、テキストデータの長さにあわせてセルのサイズの方を変更するという機能が「バイト数による自動改行」機能です。

図：バイト数による自動改行

164,000	
796,000	2004年4月1日から2006年
	12月31までの価格
249,000	
598,000	なし

データを途中で
折り返す

セルを自動的に
伸ばす

バイト数による自動改行機能を有効にするためには、[表示制御]のチェックボックスにチェックを入れ、[～バイトで改行]を選択します。「～バイト」の部分の入力エリアに改行させたいバイト数を入力します。

<< 注意 >>

文字数ではなくバイト数での指定なので注意してください。

図：バイト数による自動改行を設定

☒ 表示制御

☒ 10 バイトで改行

バイト数による自動改行を指定するとデータの長さによってセルのサイズも動的に大きくなります。

また、「1 バイトで改行」と指定した場合、ひらがなや漢字のような2バイトの文字は出力されません。「abc あいう xyz」というデータは「a」「b」「c」と3行出力されますが、残りの「あいう xyz」は出力されません。同様に「あいう abc」であれば空欄で出力されますので注意してください。

縦方向に結合されたセルを「バイト数による自動改行」に設定した場合、[配置]タブ内の「位置あわせ」[縦]は「上」に固定されます。縦方向の出力位置を変更したい場合は「補正值」で調整してください。

8-5. 自動改行

「自動改行」は、テキストデータがセルに収まらない場合、領域幅に合わせて自動的に改行を挿入し、折り返し出力する機能です。その際、「流し込み」機能とは異なり、フォントサイズは変更せずに、「行」が追加されます。

図：自動改行

368,000	
164,000	
796,000	2004年4月1日から2006年12月31までの価
	格
249,000	
598,000	

自動改行を設定するためには、[表示制御]のチェックボックスにチェックを入れ、[自動改行]を選択します。テキストのセルは初期状態で自動改行の指定がされています。

図：自動改行を設定

[自動改行]機能を使用する場合、以下の制限があります。

- ・[自動改行]が設定できるのは、[表示内容]が[通常マッピング]の場合のみです。
- ・ラベルブロックのセルには[自動改行]を設定できません。
- ・縦方向に結合されたセルを[自動改行]に設定した場合、[配置]タブ内の[位置あわせ] [縦]は「上」に固定されます。縦方向の出力位置を変更したい場合は[補正值]で調整してください。

8-6. 改行設定

「表示制御」が「流し込み」または「自動改行」に設定されている場合、テキスト変数と同様に改行位置に関する詳細な設定ができます。

改行設定するためには、「表示制御」内の「改行設定」ボタンをクリックし、「改行設定」ダイアログを起動してください。

設定の詳細は、マネージャーのメニュー「ヘルプ」-「オンラインマニュアル」から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「固定テキスト/テキスト変数」-「9. 改行設定」をご覧ください。

8-7. フォント

フォントの指定は、「フォント」タブで行います。

図：フォント

フォントの設定はテキスト変数オブジェクトなどと同じです。[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも設定したフォントが反映されます。

図：フォントが反映される

ID	氏名	所属
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX

8-8. 配置

「配置」タブでテキストの縦横の配置を指定することができます。配置の設定はテキスト変数その他のものと同じです。初期状態では「左寄せ・真中」の設定がされています。

図：配置

属性	フォント	配置	編集	罫線	条件設定...
----	------	----	----	----	---------

位置合わせ: 横 縦

補正値: 上 下

左 右

[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも設定が反映されます。

図：設定が反映される

[illegible]

〔補正值〕については「11. 補正值」をご参照ください。

8-9. 固定のテキストを表示する

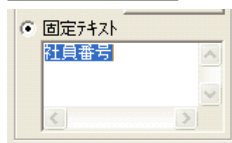
セルに固定のテキストを表示させるには、「属性」タブの「表示内容」を「固定テキスト」にします。

図：固定テキストを選択



テキストが入力できるようになるので、表示させたいテキストを入力します。

図：テキスト入力



[OK] ボタンをクリックすると画面上の表オブジェクトにも表示が反映され、入力したテキストが表示されます。

図：テキストが表示される

社員番号		
XXXXXX		X?
XXXXXXXX		??

固定テキストの場合も「流し込み」の設定が有効になりますが、Formエディター上での表示には反映されません。もちろん実際に出力される帳票上には設定が反映されます。また、自動改行機能は固定テキストには使用できません。

<< 注意 >>

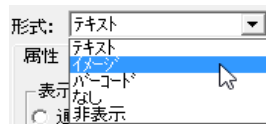
1つのセルに表示可能な固定テキストの長さは10240バイトまでです。

9. イメージ

9-1. セルにイメージデータを出力する

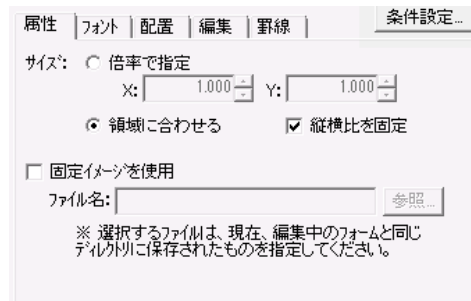
セルにイメージデータを出力するには、「セルの設定」ダイアログで「形式」を「イメージ」にします。

図：形式



「属性」タブの内容が以下のようなイメージ設定用の内容に変わります。

図：属性



[OK] ボタンをクリックすると画面上のセルがイメージ用の表示に変わります。

図：セルの表示が変わる



Datamap エディターでも、テキストデータのセルと同じようにマッピングを行います。イメージのセルに対してマッピングするデータは、イメージ変数と同様にファイル名を文字列で指定します。パスの指定は、実行時の相対パスか絶対パスでの指定となります。

図：イメージを出力した帳票

ライトプラン 59,000円～84,000円	
サービスプラン 98,000円～132,000円	
スペシャルプラン 143,000円～189,000円	
フリープラン 154,000円～189,000円	

9-2. サイズ指定

イメージのサイズ指定には2種類の方法があります。

〔倍率で指定〕を選択するとイメージの元のサイズに指定した倍率を適用してサイズ調整します。

図：サイズ指定画面

属性 | フォント | 配置 | 編集 | 罫線 | 条件設定...

サイズ: ☒ 倍率で指定

X: Y:

☐ 領域に合わせる ☐ 縦横比を固定

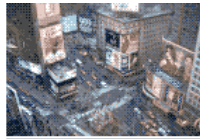
図：倍率で指定 (2.000 : 1.000) した場合



「領域に合わせる」を選択すると、セルのサイズに合わせてイメージを拡大・縮小します。「縦横比を固定」のチェックを入れておくと縦と横のサイズが小さい方に合わせて調整されます。

図：領域に合わせた場合

プラン
0円～224,000円



ヤルプラン
円～97,000円



9-3. 位置合わせ

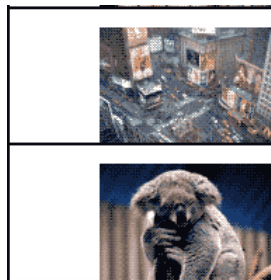
「配置」タブにある「位置合わせ」で画像のセル内での配置を指定できます。

図：配置

属性		フォント	配置	編集	罫線	条件設定...
位置合わせ:		右下				
補正値:	上	1.000	下	1.000		
	左	1.000	右	1.000		

イメージ変数や固定イメージで「表示位置」として指定する内容と同じです。

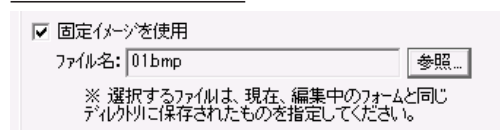
図：配置が出力に反映される



9-4. 固定のイメージを表示する

「属性」タブの「固定イメージを使用」をチェックすると画面上でファイル名が指定できるようになり、固定イメージとして使用するようになります。

図：固定イメージを使用



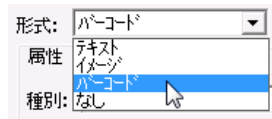
The screenshot shows a dialog box titled '図：固定イメージを使用'. It contains a checked checkbox labeled '固定イメージを使用'. Below it is a text field labeled 'ファイル名:' with the value '01.bmp'. To the right of the text field is a button labeled '参照...'. Below the text field is a note: '※ 選択するファイルは、現在、編集中のフォームと同じディレクトリに保存されたものを指定してください。'

ただし、通常の固定イメージオブジェクトとは異なり、Form エディターの画面上には画像イメージは表示されません。

10. バーコード

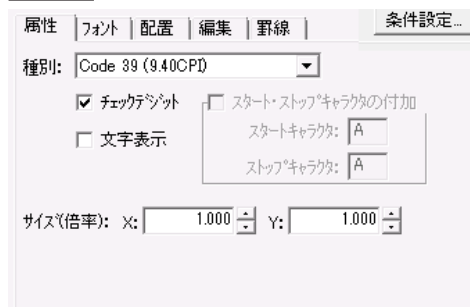
セルにバーコードを出力するには「セルの設定」ダイアログで [形式] を [バーコード] にします。

図：形式



「属性」タブの内容が以下のようなバーコード設定用の内容に変わります。

図：属性



[OK] ボタンをクリックすると画面上のセルがバーコード用の表示に変わります。

図：セルの表示



バーコードの設定はバーコード変数や固定バーコードと同じです。

図：バーコードが出力される



<< 注意 >>

固定のバーコードを表オブジェクト上に出力することはできません。

11. 補正值

補正值とは、セルの外枠に対して実際にデータを出力する位置をずらすための設定です。つまり、セルの外枠とデータとの間の余白です。

図：セルの補正值：左 (10pt)

XXXXXX	XXX
XXXXXX	XXX

セルの外枠に対してそのままデータを出力すると、枠線とデータが重なり不自然な表になる可能性が高いため、表オブジェクトの初期状態では上下左右に 1pt ずつの補正值があらかじめ設定されています。

図：補正值が設定されていない場合

XXXXXX	
XXXXXX	
XXXXXX	

テキストの縦横の配置や流し込みなどは、全てこの補正值が適用された枠の中で機能します。

補正值の指定は「セルの設定」ダイアログの「配置」タブにある「補正值」で行います。

図：配置

補正值:	上	1.000	下	1.000
	左	1.000	右	1.000

補正值の設定は Form エディターの画面上での表示にも反映されます。

図：補正值の設定が反映される

XXXXXX	
XXXXXX	
XXXXXX	

また、この補正值にはマイナスの値も指定することができるため、表オブジェクトの外枠から飛び出すようなデザインの帳票を作成したい場合にも利用することができます。

図：飛び出させることも可能

XXXXXX	
XXXXXX	
XXXXXX	

12. セルの結合

12-1. 隣り合ったセルを結合する

セルは同一のブロック内でかつ隣り合えば、結合して一つのセルにすることができます。セルを結合するには、結合したいセルを全て選択状態にします。

図：選択状態

ITEM001	ITEM002	ITEM003	ITEM004	ITEM005
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX

その状態で右クリックし、コンテキストメニューから「セル結合」を選択します。

図：セル結合を選択

ITEM001	ITEM002	ITEM003	ITEM004	ITEM005
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX

選択されたセルが結合されます。

図：結合

ITEM001	ITEM002	ITEM003	ITEM004	ITEM005
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX

選択したセル群が全体で矩形になっていればそれらのセルはそのまま結合できます。

図：矩形結合

ITEM001	ITEM002	ITEM003	ITEM004	ITEM005
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX

ITEM001	ITEM002	ITEM003	ITEM004	ITEM005
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX
XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX	XXXXXXXX

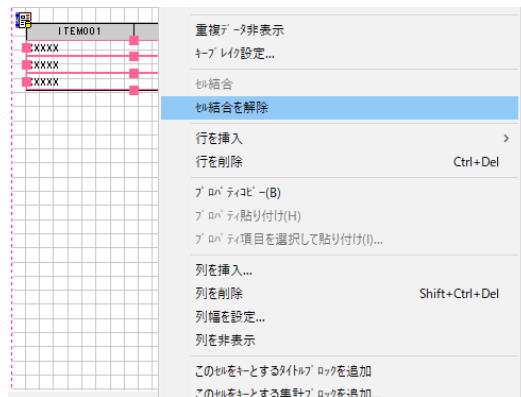
結合後のセルの罫線や書式等は、結合する前に一番左上にあったセルのものが使用されます。

選択したセルの中に既に結合されたセルが含まれる場合、さらに他のセルと結合することはできません。一度結合を解除してから再度対象となるセルを選択して結合してください。

12-2. セルの結合を解除する

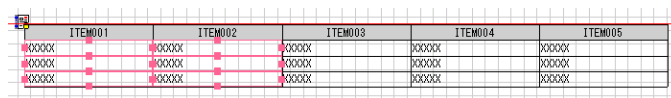
結合されたセルは再度分解することができます。結合セルを選択状態にして右クリックし、コンテキストメニューから「セル結合を解除」を選択します。

図：結合セルを選択し解除を選択



結合していたセルが分解されます。

図：分解

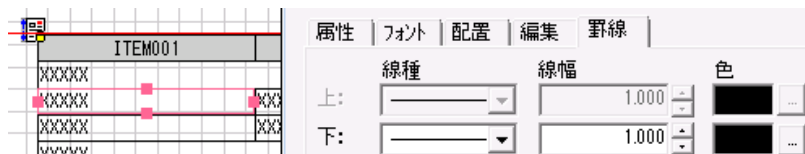


分解後の各セルの罫線や書式等は、結合されていたセルのものが全てのセルに適用されます。

12-3. 結合セルに対する罫線編集

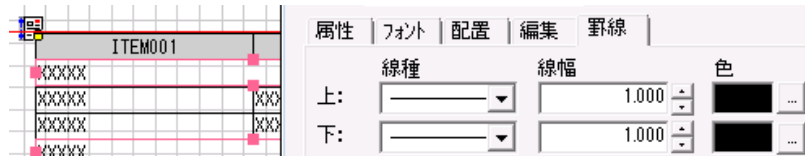
セルが結合されていると、隣接するセルの罫線編集が不可能になります。罫線の一部だけを変えることができないためです。

図：罫線編集できない状態



逆に結合セル側からの罫線編集は可能です。

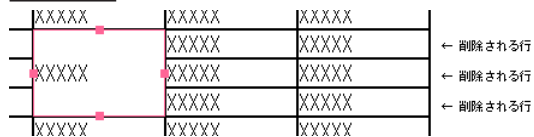
図：結合セルの罫線編集は可能



12-4. 結合セルに対する行と列の削除

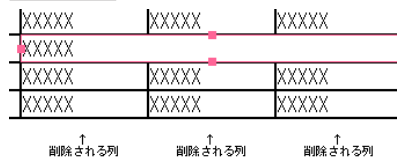
縦に結合されているセルに対して「行の削除」を実行した場合、そのセルが含まれるすべての行が削除対象となります。

図：行削除



同様に、横に結合されているセルに対して「列の削除」を実行した場合、そのセルが含まれるすべての列が削除対象となります。

図：列削除



13. ラベルブロック

13-1. ラベルブロックの概要

ラベルブロックは全てのページの先頭に必ず出力される特殊ブロックです。そのため、主に表の項目名（列名）を表示させるカラムヘッダーとして用います。

図：ラベルブロック

社員番号		名前	
XXXXXX		XXXXXX	
XXXXXX		XXXXXX	
XXXXXX		XXXXXX	

← ラベルブロック

13-2. ラベルブロックの追加・削除

ラベルブロックの有無は表オブジェクトの新規作成時に選択できます。

図：新規作成ダイアログ

表オブジェクト新規作成

変数名: TABLE000

記述: VTable

列数: 5

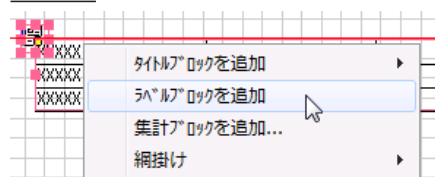
☒ ラベルブロックを使用する

初期状態では「ラベルブロックを使用する」ようになっているので、そのまま表を作成すればラベルブロックがある表が作成されます。

ラベルブロックを削除する場合はラベルブロックの行を選択して、右クリックで表示されるコンテキストメニューから「行を削除」を実行してラベルブロックの全ての行を削除していきます。

一度削除したラベルブロックを改めて表示させる場合は、プロパティボタンを右クリックして表示されるコンテキストメニューから「ラベルブロックを追加」を選択してください。

図：追加



14. 改ページ

14-1. ガイド線

表オブジェクトの改ページは、ガイド線によって制御されます。

表オブジェクトは「1 ページ目の開始位置」から出力され、「終端位置」に到達した時点で改ページされます。次のページからは「2 ページ目以降の開始位置」から出力され、「終端位置」もしくは「最終ページフッター位置」まで到達すると改ページします。

図：改ページ

The diagram illustrates the page break logic for a table. It shows a table with multiple rows. A dashed box highlights the first section of the table, labeled '1ページ目の開始位置' (Start of Page 1). The second section of the table is labeled '2ページ目以降の開始位置' (Start of Page 2 and subsequent pages). The table ends with a row labeled '終端位置' (End position).

「1 ページ目の開始位置」はForm エディターの画面上では、赤いガイド線として表現されます。同様に「2 ページ目以降の開始位置」は青いガイド線、「終端位置」は緑のガイド線、「最終ページフッター位置」は黄のガイド線で表現されます。

図：ガイド線

The diagram shows a form with a vertical ruler on the left. The form contains a table with a dashed box highlighting the first section, labeled '1ページ目の開始位置' (Start of Page 1). The second section is labeled '2ページ目以降の開始位置' (Start of Page 2 and subsequent pages). The table ends with a row labeled '終端位置' (End position).

14-2. 行間隔

ページ内での出力範囲はガイド線の組み合わせによって定義されますが、その領域内でデータをどれだけ出力できるかは、「行間隔」というパラメータで指定します。「行間隔」はそのフォーム内共通のパラメータで、表オブジェクトにおける「行」の高さを表します。

図：行間隔

The image shows a form layout with a table. A callout box points to the vertical space between the horizontal grid lines, labeled "行間隔 15.0pt". The table has columns for "コード" (Code), "品名" (Item Name), "数量" (Quantity), "単価" (Unit Price), and "金額" (Amount). The table data is as follows:

コード	品名	数量	単価	金額
10001	10001	10001	10001	1000110001
10002	10002	10002	10002	1000210002
10003	10003	10003	10003	1000310003
10004	10004	10004	10004	1000410004
10005	10005	10005	10005	1000510005
合計				SUM

つまり、行の高さを変更したいときは、この「行間隔」を変えることになります。

<< 注意 >>

「行間隔」はForm ファイル内の全ての表オブジェクトで共通の設定となります。

行間隔の指定は、Form エディターのメニューから [ファイル] - [フォーム設定] で表示される「フォーム設定」ダイアログの「表オブジェクト」タブで [行間隔] の値を変更することで行います。

図：フォーム設定ダイアログ

The image shows the "フォーム設定" (Form Settings) dialog box, specifically the "表オブジェクト" (Table Object) tab. The "行間隔" (Row Height) is set to 12.000. There is a checkbox for "小数点一桁" (One decimal place) which is checked.

値を変更し [OK] ボタンをクリックすると、Form エディター上の表オブジェクトの表示に反映されます。

また、ガイド線の間隔はこの「行間隔」の倍数となるように制御されます。

14-3.2 ページ目以降の開始位置を変える

初期状態では「1 ページ目の開始位置」と「2 ページ目以降の開始位置」は同じ位置になっています。「明細帳票」タイプの帳票のように1 ページ目のみのタイトル部分を作りたい場合は、この「1 ページ目の開始位置」と「2 ページ目以降の開始位置」を調整してください。

図：2 ページ目以降の開始位置を移動

この状態で出力すると以下のように出力されます。

図：出力結果

品名	数量	単価	金額	備考
品名1	10	100.000	1,000.000	
品名2	20	200.000	4,000.000	
品名3	30	300.000	9,000.000	
品名4	40	400.000	16,000.000	
品名5	50	500.000	25,000.000	
品名6	60	600.000	36,000.000	
品名7	70	700.000	49,000.000	
品名8	80	800.000	64,000.000	
品名9	90	900.000	81,000.000	
品名10	100	1,000.000	100,000.000	
品名11	110	1,100.000	121,000.000	
品名12	120	1,200.000	144,000.000	
品名13	130	1,300.000	169,000.000	
品名14	140	1,400.000	196,000.000	
品名15	150	1,500.000	225,000.000	
品名16	160	1,600.000	256,000.000	
品名17	170	1,700.000	289,000.000	
品名18	180	1,800.000	324,000.000	
品名19	190	1,900.000	361,000.000	
品名20	200	2,000.000	400,000.000	
品名21	210	2,100.000	441,000.000	
品名22	220	2,200.000	484,000.000	
品名23	230	2,300.000	529,000.000	
品名24	240	2,400.000	576,000.000	
品名25	250	2,500.000	625,000.000	
品名26	260	2,600.000	676,000.000	
品名27	270	2,700.000	729,000.000	
品名28	280	2,800.000	784,000.000	
品名29	290	2,900.000	841,000.000	
品名30	300	3,000.000	900,000.000	
品名31	310	3,100.000	961,000.000	
品名32	320	3,200.000	1,024,000.000	
品名33	330	3,300.000	1,089,000.000	
品名34	340	3,400.000	1,156,000.000	
品名35	350	3,500.000	1,225,000.000	
品名36	360	3,600.000	1,296,000.000	
品名37	370	3,700.000	1,369,000.000	
品名38	380	3,800.000	1,444,000.000	
品名39	390	3,900.000	1,521,000.000	
品名40	400	4,000.000	1,600,000.000	
品名41	410	4,100.000	1,681,000.000	
品名42	420	4,200.000	1,764,000.000	
品名43	430	4,300.000	1,849,000.000	
品名44	440	4,400.000	1,936,000.000	
品名45	450	4,500.000	2,025,000.000	
品名46	460	4,600.000	2,116,000.000	
品名47	470	4,700.000	2,209,000.000	
品名48	480	4,800.000	2,304,000.000	
品名49	490	4,900.000	2,401,000.000	
品名50	500	5,000.000	2,500,000.000	
品名51	510	5,100.000	2,601,000.000	
品名52	520	5,200.000	2,704,000.000	
品名53	530	5,300.000	2,809,000.000	
品名54	540	5,400.000	2,916,000.000	
品名55	550	5,500.000	3,025,000.000	
品名56	560	5,600.000	3,136,000.000	
品名57	570	5,700.000	3,249,000.000	
品名58	580	5,800.000	3,364,000.000	
品名59	590	5,900.000	3,481,000.000	
品名60	600	6,000.000	3,600,000.000	
品名61	610	6,100.000	3,721,000.000	
品名62	620	6,200.000	3,844,000.000	
品名63	630	6,300.000	3,969,000.000	
品名64	640	6,400.000	4,096,000.000	
品名65	650	6,500.000	4,225,000.000	
品名66	660	6,600.000	4,356,000.000	
品名67	670	6,700.000	4,489,000.000	
品名68	680	6,800.000	4,624,000.000	
品名69	690	6,900.000	4,761,000.000	
品名70	700	7,000.000	4,900,000.000	
品名71	710	7,100.000	5,041,000.000	
品名72	720	7,200.000	5,184,000.000	
品名73	730	7,300.000	5,329,000.000	
品名74	740	7,400.000	5,476,000.000	
品名75	750	7,500.000	5,625,000.000	
品名76	760	7,600.000	5,776,000.000	
品名77	770	7,700.000	5,929,000.000	
品名78	780	7,800.000	6,084,000.000	
品名79	790	7,900.000	6,241,000.000	
品名80	800	8,000.000	6,400,000.000	
品名81	810	8,100.000	6,561,000.000	
品名82	820	8,200.000	6,724,000.000	
品名83	830	8,300.000	6,889,000.000	
品名84	840	8,400.000	7,056,000.000	
品名85	850	8,500.000	7,225,000.000	
品名86	860	8,600.000	7,396,000.000	
品名87	870	8,700.000	7,569,000.000	
品名88	880	8,800.000	7,744,000.000	
品名89	890	8,900.000	7,921,000.000	
品名90	900	9,000.000	8,100,000.000	
品名91	910	9,100.000	8,281,000.000	
品名92	920	9,200.000	8,464,000.000	
品名93	930	9,300.000	8,649,000.000	
品名94	940	9,400.000	8,836,000.000	
品名95	950	9,500.000	9,025,000.000	
品名96	960	9,600.000	9,216,000.000	
品名97	970	9,700.000	9,409,000.000	
品名98	980	9,800.000	9,604,000.000	
品名99	990	9,900.000	9,801,000.000	
品名100	1,000	10,000.000	10,000,000.000	

ただし、「2 ページ目以降の開始位置」を「1 ページ目の開始位置」よりも下に設定することはできません。

14-4. 最終ページのフッター位置を制御する

下図のように最後のページにある程度の領域を持った固定文言などを表示させたい場合は、最終ページのみに出力する表連携オブジェクト設定と合わせて「最終ページフッター位置」を使用します。

図：最終ページに固定文言

10	59,800	598,000
10	36,800	368,000
5	32,800	164,000
	合計	30,432,000

<お問い合わせ先>
 〒160-0023
 東京都新宿区西新宿7-0-00
 西新宿00ビル10F
 電話：03-XXXX-XXXX FAX：03-XXXX-XXXX
 担当者：帳票太郎

このような固定文言が表の明細領域に入り込むような位置・サイズである場合、データ量によっては次の図のように明細部分と重なってしまうことがあります。

図：明細と重なる

5	32,800	164,000
10	59,800	598,000
10	36,800	368,000
5	32,800	164,000
合計		3,562,000

<お問い合わせ先>
 東京都新宿区西新宿7-〇-〇〇
 西新宿〇〇ビル 10F
 電話：03-XXXX-XXXX FAX：03-XXXX-XXXX
 担当者：帳票太郎

「最終ページフッター位置」を固定文言の上部に指定すると、最終ページで表の明細行と固定文言が重ならないようにページの切り替えが自動的に調整されるようになります。

図：最終ページフッター位置

お問い合わせ先
〒160-0002
東京都新宿区四新堀7-10-10
四新堀ビル10F
電話: 03-XXXX-XXXX FAX: 03-XXXX-XXXX
担当者: 榎本太郎

図：最終ページが調整される

請求書

No. 123456789 日付: 2024/06/17 12:34:56 Page: 2 / 3

No.	品名	数量	単価	金額	備考
0001	りんご	10	100	1000	
0002	りんご	20	100	2000	
0003	りんご	30	100	3000	
0004	りんご	40	100	4000	
0005	りんご	50	100	5000	
0006	りんご	60	100	6000	
0007	りんご	70	100	7000	
0008	りんご	80	100	8000	
0009	りんご	90	100	9000	
0010	りんご	100	100	10000	
0011	りんご	110	100	11000	
0012	りんご	120	100	12000	
0013	りんご	130	100	13000	
0014	りんご	140	100	14000	
0015	りんご	150	100	15000	
0016	りんご	160	100	16000	
0017	りんご	170	100	17000	
0018	りんご	180	100	18000	
0019	りんご	190	100	19000	
0020	りんご	200	100	20000	
0021	りんご	210	100	21000	
0022	りんご	220	100	22000	
0023	りんご	230	100	23000	
0024	りんご	240	100	24000	
0025	りんご	250	100	25000	
0026	りんご	260	100	26000	
0027	りんご	270	100	27000	
0028	りんご	280	100	28000	
0029	りんご	290	100	29000	
0030	りんご	300	100	30000	
0031	りんご	310	100	31000	
0032	りんご	320	100	32000	
0033	りんご	330	100	33000	
0034	りんご	340	100	34000	
0035	りんご	350	100	35000	
0036	りんご	360	100	36000	
0037	りんご	370	100	37000	
0038	りんご	380	100	38000	
0039	りんご	390	100	39000	
0040	りんご	400	100	40000	
0041	りんご	410	100	41000	
0042	りんご	420	100	42000	
0043	りんご	430	100	43000	
0044	りんご	440	100	44000	
0045	りんご	450	100	45000	
0046	りんご	460	100	46000	
0047	りんご	470	100	47000	
0048	りんご	480	100	48000	
0049	りんご	490	100	49000	
0050	りんご	500	100	50000	
0051	りんご	510	100	51000	
0052	りんご	520	100	52000	
0053	りんご	530	100	53000	
0054	りんご	540	100	54000	
0055	りんご	550	100	55000	
0056	りんご	560	100	56000	
0057	りんご	570	100	57000	
0058	りんご	580	100	58000	
0059	りんご	590	100	59000	
0060	りんご	600	100	60000	
0061	りんご	610	100	61000	
0062	りんご	620	100	62000	
0063	りんご	630	100	63000	
0064	りんご	640	100	64000	
0065	りんご	650	100	65000	
0066	りんご	660	100	66000	
0067	りんご	670	100	67000	
0068	りんご	680	100	68000	
0069	りんご	690	100	69000	
0070	りんご	700	100	70000	
0071	りんご	710	100	71000	
0072	りんご	720	100	72000	
0073	りんご	730	100	73000	
0074	りんご	740	100	74000	
0075	りんご	750	100	75000	
0076	りんご	760	100	76000	
0077	りんご	770	100	77000	
0078	りんご	780	100	78000	
0079	りんご	790	100	79000	
0080	りんご	800	100	80000	
0081	りんご	810	100	81000	
0082	りんご	820	100	82000	
0083	りんご	830	100	83000	
0084	りんご	840	100	84000	
0085	りんご	850	100	85000	
0086	りんご	860	100	86000	
0087	りんご	870	100	87000	
0088	りんご	880	100	88000	
0089	りんご	890	100	89000	
0090	りんご	900	100	90000	
0091	りんご	910	100	91000	
0092	りんご	920	100	92000	
0093	りんご	930	100	93000	
0094	りんご	940	100	94000	
0095					

15. キー項目

15-1. キー項目の概要

「キー項目」はデータを集計したり繰り返しの単位とする項目です。表オブジェクトは入力データの構造を解釈して表を整形したりデータを集計したりすることができます。そのために必要な情報の一つが「キー項目」です。例えば、「月ごとに集計して表を出力したい」という場合、「月」というデータがキー項目になります。

図：キー項目

取引先名	商品コード	商品名	数量	単価	金額
カフェ・クローバー	SET-CAM-0002	プチガトーアソルティ (8個)	10	630	6300
	SET-CAM-0005	フィナンシェオショコラ (5個)	35	900	31500
	SET-CAM-0006	マドレーヌセット (5個)	20	500	10000
	SIN-CAM-0003	ガトービレネー (S)	10	1000	10000
	SIN-CAM-0004	ガトービレネー (M)	10	1600	16000
	SET-DES-0015	ジャージブディング (5個)	20	1200	24000
	SET-DES-0023	カスタードミッドディンク (10個)	1	500	500
	SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ	3	7500	22500
	SIN-FRU-0005	特選マスカメロン (中粒)	5	6000	30000
	SIN-FRU-0102	フィロピン産マンゴー	50	250	12500
ストロベリーージュ	SET-CAM-0001	タルトアソルティ (10個)	20	1500	30000
	SET-CAM-0005	フィナンシェオショコラ (5個)	40	900	36000
	SET-CAM-0006	マドレーヌセット (5個)	35	500	17500
	SIN-CAM-0003	ガトービレネー (S)	10	1000	10000
	SIN-CAM-0005	ガトービレネー (L)	10	2200	22000
	SIN-CAM-0034	マンゴーレアチーズケーキ (M)	30	1800	54000
	SET-DES-0007	クリーミープリン (5個)	15	600	9000
	SET-DES-0015	ジャージブディング (5個)	15	1200	18000
	SET-DES-0023	カスタードミッドディンク (10個)	10	500	5000
	SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ	2	7500	15000
	SIN-FRU-0005	特選マスカメロン (中粒)	2	6000	12000
	SIN-FRU-0113	愛媛県みかん	50	120	6000
日付別集計					397800

キー項目は、表オブジェクトに対して集計設定や表示設定していく中である程度自動的に設定・追加されていきます。例えば「16. 重複データ非表示」で説明している重複データの非表示を設定すると、そのセルは自動的にキー項目になります。キー項目になるとそのセルには鍵のマーク（キーマーク）が表示されます。

図：キーマーク

取引先名	商品コード	箱
XXXX	XXXXX	X
	XXXXXX	X
	YYYYY	Y

表オブジェクトが保持しているキー項目を確認するには、表オブジェクトのプロパティダイアログで「キー項目」タブを表示します。ここに全てのキー項目が一覧表示されています。

図：キー項目一覧

セル | キー項目 | デザイン | 形態 | 位置 |

種別: レポートブロック内に存在するキー キーレイアウト設定...

順位	キー項目	重複非...	タイトル...	集計フ...	罫線
1	日付	○	-	○	
2	見積No	○	-	-	○
3	取引先コード	○	-	-	○
4	取引先名	○	-	-	○

↑
↓

一つの表オブジェクトの中に存在するキー項目には優先順位があります。例えば、「年」「月」という2つのキー項目ではおそらく「月」よりも「年」の方が優先順位の高いキー項目でしょう。

このとき、「月」だけで見れば同じ「4月」というデータであっても「年」が「2006年」と「2007年」で異なっていれば「月」もそこで異なるものとして扱うべきです。

ID	年	月
1	2006	3
2	2006	4
3	2006	4
4	2006	4
5	2007	4
6	2007	4
7	2007	5

例えばこのようなデータがあった場合、データは次のように区切られるはずです。

ID	年	月
1	2006	3
2	2006	4
3	2006	4
4	2006	4
5	2007	4
6	2007	4
7	2007	5

「ID」が「04」と「05」のデータの間には、「月」だけで見ると区切りは存在しませんが、「年」で区切られるため「年」よりも優先順位が低い「月」のデータもここで区切られるものと見なされます。

これがキー項目の最も基本的な概念になります。この考え方を基にしてデータの集計や整形が行われます。

また、一つの表オブジェクトには10個までキー項目を定義することができます。

15-2. キー項目の優先順位を入れ替える

キー項目の優先順位が逆になると、場合によっては集計結果が変わってしまいます。そこでキー項目の優先順位を管理する必要があります。その表オブジェクトが保持しているキー項目は、表オブジェクトのプロパティダイアログの「キー項目」タブの画面で一覧表示されています。

図：キー項目一覧

順位	キー項目	重複非...	タイプ...	集計...	罫線
1	日付	○	-	○	-
2	見積No	○	-	-	○
3	取引先コード	○	-	-	○
4	取引先名	○	-	-	○

このリストに表示されている順番がそのままキー項目の優先順位になります。優先順位を変更したいキー項目を選択し、[↑]もしくは[↓]ボタンによってキー項目の優先順位を入れ替えることができます。

図：キー項目を入れ替える

順位	キー項目	重複非...	タイトル...	集計...	罫線
1	見稿No	○	—	—	○
2	日付	○	—	○	—
3	取引先コード	○	—	—	○
4	取引先名	○	—	—	○

基本的には、キー項目は登録された順番に優先順位が割り当てられていきます。

15-3. キー項目の指定を解除する

一度キー項目となったセルをキー項目から解除するには、キー項目としての要件を全て解除する必要があります。キー項目としての要件とは主に以下に示すものです。

- ・キーブレイク設定がされている
- ・キータイトル行が設定されている
- ・キー集計行が設定されている

これらの設定を全て解除するとそのセルはキー項目ではなくなります。逆にこれらのうちの一つでも設定がされていれば、そのセルはキー項目となります。

15-4. キーブレイク設定を起動する

「キー項目」タブでキー項目を選択し、ダブルクリックもしくは[キーブレイク設定]ボタンを押すと、[キーブレイク設定]ダイアログを起動できます。キーブレイク設定については「19. キーブレイク」をご参照ください。

16. 重複データ非表示

16-1. 重複データ非表示の設定

キー項目のデータは、キー項目という性質上、基本的に同じデータが繰り返されるものです。

図：キー項目のデータ

取引先名	商品コード	商品名
カフェ・クローバー	SET-CAK-0002	プチガトーア
カフェ・クローバー	SET-CAK-0005	フィナンシェ
カフェ・クローバー	SET-CAK-0006	マドレーヌセ
カフェ・クローバー	SIN-CAK-0003	ガトービレネ
カフェ・クローバー	SIN-CAK-0004	ガトービレネ
カフェ・クローバー	SET-DES-0015	ジャージュブ
カフェ・クローバー	SET-DES-0023	カスタードミ
カフェ・クローバー	SET-FRU-0001	季節のフルー
カフェ・クローバー	SIN-FRU-0005	特選マスクメ
カフェ・クローバー	SIN-FRU-0102	フィリピン産
ストロベリールージュ	SET-CAK-0001	タルトアンサ
ストロベリールージュ	SET-CAK-0005	フィナンシェ
ストロベリールージュ	SET-CAK-0006	マドレーヌセ
ストロベリールージュ	SIN-CAK-0003	ガトービレネ
ストロベリールージュ	SIN-CAK-0005	ガトービレネ
ストロベリールージュ	SIN-CAK-0034	マンゴーレア

この繰り返されているデータをまとめて一つにして表示する機能を「重複データ非表示」機能といいます。

図：重複データ非表示の対象

取引先名	商品コード	商品名
カフェ・クローバー	SET-CAK-0002	プチガトーア
カフェ・クローバー	SET-CAK-0005	フィナンシェ
カフェ・クローバー	SET-CAK-0006	マドレーヌセ
カフェ・クローバー	SIN-CAK-0003	ガトービレネ
カフェ・クローバー	SIN-CAK-0004	ガトービレネ
カフェ・クローバー	SET-DES-0015	ジャージュブ
カフェ・クローバー	SET-DES-0023	カスタードミ
カフェ・クローバー	SET-FRU-0001	季節のフルー
カフェ・クローバー	SIN-FRU-0005	特選マスクメ
カフェ・クローバー	SIN-FRU-0102	フィリピン産
ストロベリールージュ	SET-CAK-0001	タルトアンサ
ストロベリールージュ	SET-CAK-0005	フィナンシェ
ストロベリールージュ	SET-CAK-0006	マドレーヌセ
ストロベリールージュ	SIN-CAK-0003	ガトービレネ
ストロベリールージュ	SIN-CAK-0005	ガトービレネ
ストロベリールージュ	SIN-CAK-0034	マンゴーレア

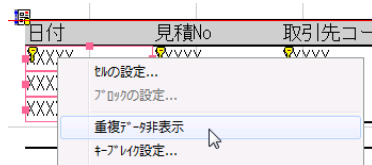
重複データ非表示を設定するためには、まずレコードブロックの中で設定したいセルを選択します。

図：セルを選択

取引先名	商品コード	商
XXXXX	XXXXXX	X)
XXXXXX	XXXXXX	X)
XXXXXX	XXXXXX	X)

右クリックして表示されたコンテキストメニューから「重複データ非表示」を選択してチェックを入れます。

図：重複データ非表示



Form エディター上では、そのセルが重複データ非表示状態になります。同時にキーブレイク罫線が設定され、セルの罫線（上）の線種が“なし”に設定されます。キーブレイク罫線については、「19. キーブレイク」をご参照ください。

下図は取引先名を重複データ非表示に設定した表の例です。

図：重複データ非表示を設定した状態

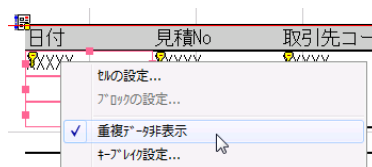
取引先名	商品コード	商品名
カフェ・クローバー	SET-CAK-0002	プチガトーア
	SET-CAK-0005	フィナンシェ
	SET-CAK-0006	マドレーヌ
	SIN-CAK-0003	ガトービレネ
	SIN-CAK-0004	ガトービレネ
	SET-DES-0015	ジャージー
	SET-DES-0023	カスタードミ
	SET-FRU-0001	季節のフルー
	SIN-FRU-0005	特選マスキ
	SIN-FRU-0102	フィリピン
ストロベリールージュ	SET-CAK-0001	タルトアン
	SET-CAK-0005	フィナンシェ
	SET-CAK-0006	マドレーヌ
	SIN-CAK-0003	ガトービレネ
	SIN-CAK-0005	ガトービレネ
	SIN-CAK-0034	マンゴーレア

重複するデータが複数ページにまたがる場合は、改ページ後の1行目にはデータが出力されず。

16-2. 重複データ非表示の解除

重複データ非表示に設定したセルを元に戻すには、まずそのセルを選択し、再び右クリックします。表示されたコンテキストメニューから「重複データ非表示」をもう一度選択しチェックを外します。

図：重複データ非表示のチェックを外す



重複データ非表示が解除されます。ただし、セルの罫線情報は消えているため、個別に設定する必要があります。

図：重複データ非表示が解除される

取引先名	商品コード
XXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX

16-3. 複数項目の重複データ非表示

レコード行に重複データ非表示が設定された項目が複数あった場合、より優先順位が高いキー項目の重複データが区切られると、他のキー項目のデータも影響を受けてデータが区切られます。

図：キーブレイクが連鎖する

店コード	店名	仕入先コード	仕入先名
10	フレンドストアー 本店	120	埼玉食品(株)
20	フレンドストアー 立川店	121	(株)岡田屋
		121	(株)岡田屋
		141	(株)デリセゾン

上位キーのブレイクにより
下位キーでもブレイク

そのため、キー項目の優先順位次第で出力結果が異なる内容になります。

なお、これは「キーブレイク」という機能の一種です。キーブレイク機能については、「19. キーブレイク」をご参照ください。

17. 表タイトルブロック

17-1. 表タイトルブロックの概要

表の一番最初に見出しのテキストを配置したい場合はタイトルブロックを使用します。

図：表の見出し

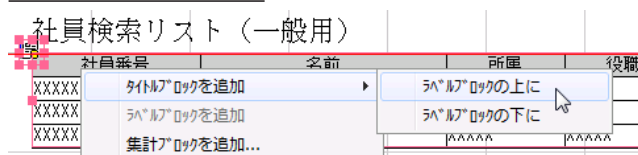
◆流動性預金		
種別	口座番号	お預り
普通預金	1234567	¥788
普通預金	2345678	¥1,234
普通預金	3456789	¥321
普通預金	4567890	¥432
普通預金	5678901	¥501
普通預金	6789012	¥230

表の一番最初だけに出力されるタイトルブロックを便宜上「表タイトルブロック」と呼ぶことにします。

17-2. ラベルブロックの上に出力する

表タイトルブロックを追加するには、表オブジェクト左上のプロパティボタンを選択し、右クリックして表示されたコンテキストメニューから、[タイトルブロックを追加]-[ラベルブロックの上に]を選択します。

図：コンテキストメニュー



ラベルブロックの上にタイトルブロックが1行分追加されます。

図：タイトルブロックが追加される

社員検索リスト（一般用）			
XXXXXX			
社員番号		表タイトルブロック	
XXXXXX		XXXXXX	
XXXXXX		XXXXXX	
.....			

ラベルブロックの上に追加されるタイトルブロックは、その表オブジェクトの出力で最初のページに一度だけ出力されます。

図：最初のページにだけ出力される

社員検索リスト（一般用）

最初のページの出力

表タイトル

社員番号	氏名	性別	生年	生月	生日	所属部署	所属課	所属班
00000001	鈴木 一郎	男性	1971	05	15	総務部	総務課	総務班
00000002	田中 美咲	女性	1973	03	22	総務部	総務課	総務班
00000003	佐藤 健太	男性	1975	08	10	総務部	総務課	総務班
00000004	山田 花子	女性	1977	12	05	総務部	総務課	総務班
00000005	中村 大輔	男性	1979	01	18	総務部	総務課	総務班
00000006	小林 真由	女性	1981	07	03	総務部	総務課	総務班
00000007	高橋 誠	男性	1983	09	25	総務部	総務課	総務班
00000008	渡辺 由香	女性	1985	04	12	総務部	総務課	総務班
00000009	木村 拓也	男性	1987	11	08	総務部	総務課	総務班
00000010	伊藤 美穂	女性	1989	06	20	総務部	総務課	総務班
00000011	村上 直樹	男性	1991	02	14	総務部	総務課	総務班
00000012	石川 千恵	女性	1993	10	01	総務部	総務課	総務班
00000013	山口 大志	男性	1995	03	28	総務部	総務課	総務班
00000014	清水 悠希	男性	1997	07	11	総務部	総務課	総務班
00000015	山崎 美空	女性	1999	12	05	総務部	総務課	総務班
00000016	佐々木 健	男性	2001	05	18	総務部	総務課	総務班
00000017	長谷川 莉奈	女性	2003	09	03	総務部	総務課	総務班
00000018	森田 大輔	男性	2005	11	20	総務部	総務課	総務班
00000019	松本 美咲	女性	2007	04	12	総務部	総務課	総務班
00000020	高田 誠	男性	2009	08	05	総務部	総務課	総務班
00000021	佐藤 健太	男性	2011	01	18	総務部	総務課	総務班
00000022	山田 花子	女性	2013	07	03	総務部	総務課	総務班
00000023	中村 大輔	男性	2015	12	05	総務部	総務課	総務班
00000024	小林 真由	女性	2017	06	20	総務部	総務課	総務班
00000025	高橋 誠	男性	2019	11	08	総務部	総務課	総務班
00000026	渡辺 由香	女性	2021	03	28	総務部	総務課	総務班
00000027	木村 拓也	男性	2023	09	14	総務部	総務課	総務班
00000028	伊藤 美穂	女性	2025	02	11	総務部	総務課	総務班
00000029	村上 直樹	男性	2027	10	01	総務部	総務課	総務班
00000030	石川 千恵	女性	2029	07	11	総務部	総務課	

このブロックは、初期状態では全てのセルが結合された罫線がない一つのセルとして追加されます。もちろん必要であれば、結合を解除したり罫線を設定したりして表示を変更することが可能です。

すでに表タイトルブロックが存在するときにさらにタイトルブロックを追加すると、最初からキー項目に設定されたセルを持つブロックが最初のタイトルブロックの下に追加されます。

図：2つ目のタイトルブロックを追加

XXXXXX		
XXXXXX		
社員番号		
XXXXXX		XXXXXX
XXXXXX		XXXXXX

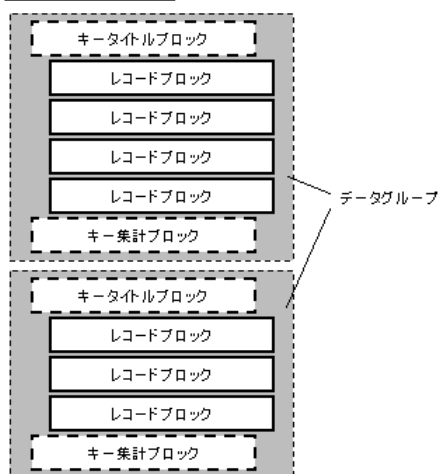
ラベルブロックの上のブロックにキー項目が存在すると、その帳票は「繰り返し表」という出力パターンになります。通常の表と繰り返し表とでは出力の結果が大きく変わってくるので注意してください。「繰り返し表」については「26. 繰り返し表」をご参照ください。

18. キータイトルブロック

18-1. キータイトルブロックの概要

キー項目によってまとめられる一連のデータグループに対するヘッダーとして機能するものが「ラベルブロックの下タイトルブロック」です。これを便宜上「キータイトルブロック」と呼ぶことにします。

図：キータイトル



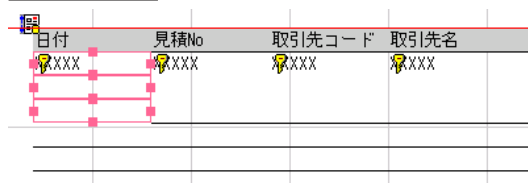
キータイトルブロックは、そのブロックに関連付けられたキー項目がどこに存在するかによって、以下の2種類に分けられます。

- ・ブロック自体がキー項目のセルを持つキータイトルブロック
- ・レコードブロックのキー項目に関連付けられたキータイトルブロック

18-3. キー項目に関連付けられたブロック

「レコードブロックのキー項目に関連付けられたキータイトルブロック」を追加するには、まずレコードブロックのキー項目となるセルを選択します。

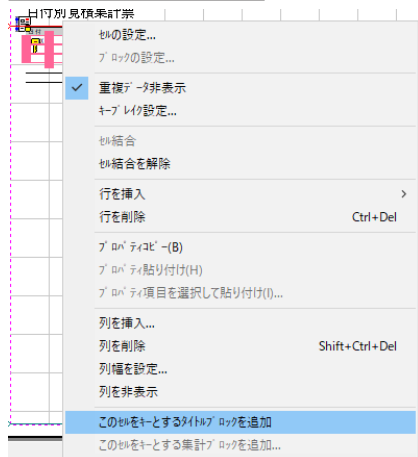
図：セルを選択



日付	見積No	取引先コード	取引先名
XXX	XXX	XXX	XXX

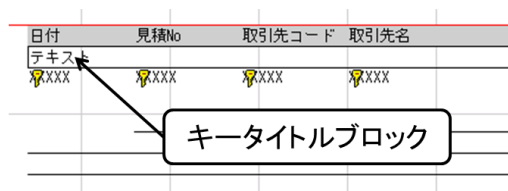
右クリックして表示されるセルのコンテキストメニューから「このセルをキーとするタイトルブロックを追加」を選択します。

図：コンテキストメニュー



ラベルブロックの下に固定テキストのセルを持つタイトルブロックが1行分追加されます。

図：キータイトルブロックが追加される



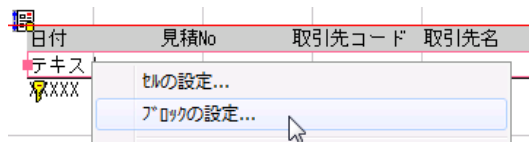
日付	見積No	取引先コード	取引先名
テキスト	XXX	XXX	XXX

このとき、選択していたレコードブロックのセルがキー項目でなければ、自動的にキー項目になります。また、すでにそのキー項目に対して関連付けられているキータイトルブロックが存在する場合は、新規にキータイトルブロックを追加することはできません。

18-4. キー項目の関連付けを確認・変更する

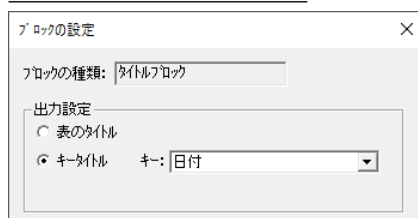
そのキータイトルブロックがどのキー項目に関連付けられているかを確認するには、「ブロックの設定」ダイアログを表示させます。まず、キータイトルブロックのセルを一つ選択し、右クリックして表示されるメニューから「ブロックの設定」を選択します。

図：コンテキストメニュー



ブロックの設定ダイアログが表示されます。

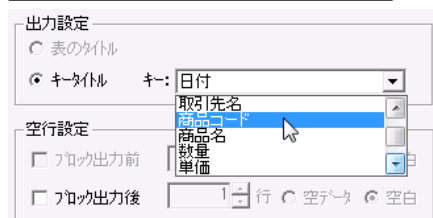
図：ブロックの設定ダイアログ



ここでまず「出力設定」の部分で「キータイトル」が選択されていることが確認できます。その右側に表示されているものがそのキータイトルブロックが関連付けられているキー項目になります。

この関連付けられたキー項目はプルダウンリストで選択可能で、プルダウンリストから別の項目を選択するとそのキータイトルブロックの関連付けがその項目に変更されます。

図：プルダウンリストで関連付けを変更



18-5. ラベルブロックのようにキータイトルブロックを出力する

ラベルブロックはページが切り替わる度に毎ページ先頭に出力されます。これと同じようにキータイトルブロックも毎ページ先頭に出力させることが可能です。

キータイトルブロックをラベルブロックのように出力するためには、表オブジェクトのプロパティダイアログの「形態」タブにある「キータイトルをページ先頭にも出力」をチェックします。

図：プロパティダイアログ

The screenshot shows the 'Properties' dialog box for a table object. The 'Format' tab is selected. The 'Format' tab contains the following options:

- ☐ 表の行数固定
- ☐ 集計行押し込み
- ☐ 空データのレコードをスキップ
- ☐ レコードのまとめ出力
- ☐ 繰り返し表
 - キー: ITEM001
 - 表の間隔: 1行
- ☒ キータイトルをページ先頭にも出力

この設定を行うことでキータイトルブロックがラベルブロックとともに毎ページ先頭に出力されるようになります。

19. キーブレイク

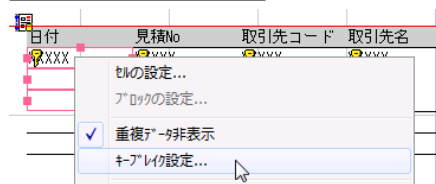
19-1. キーブレイクの概要

キー項目のデータが違うデータに切り替わったタイミングで任意の処理を行わせる機能を「キーブレイク」機能と呼びます。例えば「年」が「2006 年」から「2007 年」に切り替わったら赤い罫線を引いたり、改ページすることができます。キーブレイクはキー項目ごとに個別に設定することができます。

キーブレイクはレコードブロックとキータイトルブロックのキー項目のセルに対して設定することができます。キー項目ではないセルに対してキーブレイクの設定を行うとそのセルはキー項目になります。

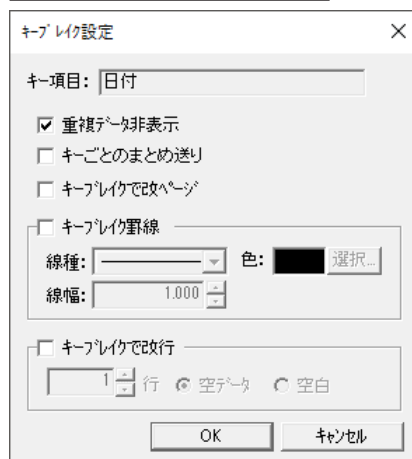
キーブレイクの設定は、キーブレイクを設定したいキー項目のセルを選択し、右クリックして表示されたコンテキストメニューから「キーブレイク設定」を選択します。

図：コンテキストメニュー



「キーブレイク設定」ダイアログが表示されます。

図：キーブレイク設定ダイアログ



この画面でキーブレイクに関する設定をまとめて行うことができます。

19-2. 改ページ

キーブレイクごとにページを切り替えるには、「キーブレイク設定」ダイアログで「キーブレイクで改ページ」をチェックします。

図：キーブレイクで改ページをチェック

- ☐ キーごとのまとめ送り
☒ キーブレイクで改ページ

この設定により、キーブレイクごとにページが切り替わるようになります。

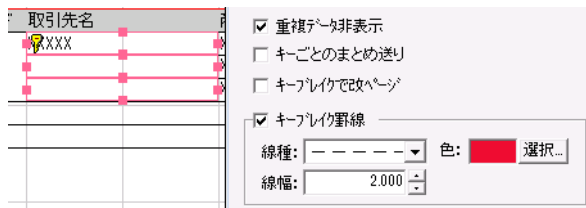
図：出カイメージ

日付別見積集計表					
品名	数量	単価	金額	単位	備考
2016/11/9					
2016/11/9 001 2016					

19-3. 罫線

キーブレイクごとに任意の罫線を描画するには、「キーブレイク設定」ダイアログで「キーブレイク罫線」をチェックします。

図：キーブレイク罫線をチェック



「線種」や「線幅」、線の「色」が編集可能になります。

この設定により、キーブレイクごとに任意の罫線が描画されます。このとき、キーブレイク罫線と描画が重なる罫線は表示されず、キーブレイク罫線のみが表示されます。

図：出力イメージ

日付	取引先名	商品コード	商品名
2006/11/6	カフェ・クローバー	SET-GAK-0002	プチガトーアソルティ (8個)
		SET-GAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)
		SET-GAK-0006	マドレーヌセット (5個)
		SIN-GAK-0003	ガトービレネー (S)
		SIN-GAK-0004	ガトービレネー (M)
		SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)
		SET-DES-0023	カスタードミソブディング (10個)
		SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ
		SIN-FRU-0005	特選マスクメロン (中球)
		SIN-FRU-0102	フィリピン産マンゴー
		SET-GAK-0001	タルトアッシュンブル (10個)
		SET-GAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)
		SET-GAK-0006	マドレーヌセット (5個)
		SIN-GAK-0003	ガトービレネー (S)
		SIN-GAK-0005	ガトービレネー (L)
		SIN-GAK-0034	マンゴーレアチーズケーキ (M)
		SET-DES-0007	クリーミープリン (5個)
		SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)
2006/11/7	カフェ・クローバー	SET-DES-0023	カスタードミソブディング (10個)
		SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ
		SIN-FRU-0005	特選マスクメロン (中球)
		SIN-FRU-0113	特選産みかん

また、複数のキー項目にキーブレイク罫線が設定されていて、キーブレイク罫線同士が重なる場合は、最も優先順位の高いキー項目のキーブレイク罫線だけが表示されます。キーの優先順位は、表オブジェクトのプロパティダイアログ-「キー項目」タブで確認、変更することができます。

19-4. 改行

キーブレイクごとに何も空の行を何行か出力したい場合は、「キーブレイク設定」ダイアログで「キーブレイクで改行」をチェックします。

図：キーブレイクで改行をチェック

行数と改行のタイプが編集可能になります。
この設定により、キーブレイクごとに空の行が出力されるようになります。

図：出力イメージ

日付	取引先名	商品コード	商品名
2006/11/6	カフェ・クローバー	SET-CAK-0002	ブナガトアソ
		SET-CAK-0005	フィナンシェオ
		SET-CAK-0006	マドレーヌセツ
		SIN-CAK-0003	ガトービレネー
		SIN-CAK-0004	ガトービレネー
		SET-DES-0015	ジャージーブデ
		SET-DES-0023	カスタードミツ
		SET-FRU-0001	季節のフルーツ
		SIN-FRU-0005	特選マスクメロ
		SIN-FRU-0102	フィリピン産マ
ストロベリールージュ		SET-CAK-0001	タルトアンサン
		SET-CAK-0005	フィナンシェオ
		SET-CAK-0006	マドレーヌセツ

この改行は「25. 空行」で解説している「空行」と同等の機能です。この空行に関する詳細は「25. 空行」をご参照ください。

このキー項目に対して集計ブロックが関連付けられている場合は、キーブレイク改行を設定することはできません。集計ブロックに関しては「20. 集計」をご参照ください。

19-5. キーグループ単位でのまとめ送り

キー項目によるデータのまとまりが複数ページに分散しないよう、データのまとまりごとに出力を次のページに送る機能が「キーごとのまとめ送り」です。

例えば、次のようなケースでは「ストロベリールージュ」のデータが2ページに分断されています。

図：データが分断される

ストロベリールージュ	特選マスキメロン (中球)	30.00
	フィリピン産マンゴー	12.50
	特選マスキメロン (中球)	30.00
	フィリピン産マンゴー	12.50
	タルトアンサンブル (10個)	30.00
	フィナンシェオショコラ (5個)	36.00
	マドレーヌセット (5個)	17.50
	ガトービレネー (S)	10.00
	ガトービレネー (L)	22.00
	マンゴーレアチーズケーキ (菓)	54.00

取引先	商品名	金額
ストロベリールージュ	クレーミープリン (5個)	9.00
	ジャージーブディン (5個)	18.00
	カスタードミゾプディング (10個)	5.00
	季節のフルーツ盛り合わせ	15.00
	特選マスキメロン (中球)	12.00
	愛媛産みかん	6.00
	ブナガトーアソルティ (8個)	6.30
カフェ・クローバー	フィナンシェオショコラ (5個)	31.50
	マドレーヌセット (5個)	10.00

これを以下のようにして「ストロベリールージュ」のデータの前に改ページを入れることで「2006 年」のデータがまとめられて見やすい出力結果となります。

図：まとめ送りを適用

	特選マスキメロン (中球)	30.00
	フィリピン産マンゴー	12.50
	特選マスキメロン (中球)	30.00
	フィリピン産マンゴー	12.50

取引先	商品名	金額
ストロベリールージュ	タルトアンサンブル (10個)	30.00
	フィナンシェオショコラ (5個)	36.00
	マドレーヌセット (5個)	17.50
	ガトービレネー (S)	10.00
	ガトービレネー (L)	22.00
	マンゴーレアチーズケーキ (菓)	54.00
	クレーミープリン (5個)	9.00
	ジャージーブディン (5個)	18.00
	カスタードミゾプディング (10個)	5.00

この機能を有効にするためには、「キーブレイク設定」ダイアログで「キーごとのまとめ送り」をチェックします。

図：キーごとのまとめ送りをチェック

- ☐ 重複データ非表示
- ☒ キーごとのまとめ送り
- ☐ キープレイで改ページ

この設定により、上記のような処理が行われて帳票が出力することができます。

20. 集計

20-1. 集計機能の概要

表オブジェクトではデータを集計して結果を帳票上に出力することができます。表オブジェクトで設定可能な集計方法は以下の3種類です。

- ・ 合計
- ・ 平均
- ・ レコード数

データを集計するタイミングは以下の3種類です。

- ・ 入力データが最後まで達したとき（総集計）
- ・ キーブレイクが発生したとき（キー集計）
- ・ 改ページが発生したとき（ページ集計）

「総集計」はデータ全体を集計する最も基本的な集計パターンです。

図：総集計

ガトービレネー (S)	10000
ガトービレネー (L)	22000
マンゴーレアチーズケーキ (M)	54000
クリーミープリン (5個)	9000
ジャージーブディング (5個)	18000
カスタードミソブディング (10個)	5000
季節のフルーツ盛り合わせ	15000
特選マスクメロン (中球)	12000
愛媛産みかん	6000
総集計	795600

「キー集計」はキーブレイクごとに集計します。例えば、取引先ごとや日付別の集計を行うことができます。

図：キー集計

	フィリピン産マンゴー	129000
ストロベリールージュ	タルトアンサンブル (10個)	30000
	フィナンシェオショコラ (5個)	36000
	マドレーヌセット (5個)	17500
	ガトービレネー (S)	10000
	ガトービレネー (L)	22000
	マンゴーレアチーズケーキ (M)	54000
	クリーミープリン (5個)	9000
	ジャージーブディング (5個)	18000
	カスタードミソブディング (10個)	5000
	季節のフルーツ盛り合わせ	15000
	特選マスクメロン (中球)	12000
	愛媛産みかん	6000
	日付別集計	397800

「ページ集計」はそのページ単位の集計を行います。

図：ページ集計

	季節のフルーツ盛り合わせ	22500
	特選マスクメロン（中球）	30000
	フィリピン産マンゴー	12500
ジュ	タルトアンサンブル（10個）	30000
	フィナンシェオショコラ（5個）	36000
ページ集計		627100

総集計やキー集計を定義する最も基本的な方法は集計ブロックを定義することです。または、セルの出力設定でセルに対して直接集計値を定義することもできます。

集計機能では 15 桁を超える数値を扱うことはできません。集計処理中に 15 桁を超える値が発生した場合は集計処理を停止し、帳票上の集計項目は空欄で表示されます。

<< 注意 >>

表オブジェクトの集計機能で扱える数値の範囲は、整数部分と小数部分合わせて 15 桁までとなります。集計の処理過程において、扱う値がこの範囲を超える場合、整数部分が 16 桁以上になるとその集計処理は中止されます。また、整数部分と小数部分を合わせて 16 桁を超える場合は、全体が 15 桁に収まるように小数部分が四捨五入されます。このため小数点以下の値を扱う場合、切り上げ切り捨てによる誤差が発生し、意図しない集計結果になる可能性があります。

20-2. 総集計ブロックを追加する

データの最後に全データの合計や平均値等の集計値を表示したい場合は、総集計ブロックを使用します。

図：総集計ブロック

10110	パソコンデスク	5	32,800	164,000
10205	OA机7	20	39,800	796,000
102085	OA机7		49,800	249,000
10301	事務机	10	59,800	598,000
10302	事務机	10	36,800	368,000
10310	事務机	5	32,800	164,000
10312	事務机	5	32,800	164,000
			合計	26,510,000

表オブジェクトに総集計ブロックを追加するには、まず表オブジェクトの左上のプロパティボタンをクリックして表オブジェクト全体を選択します。

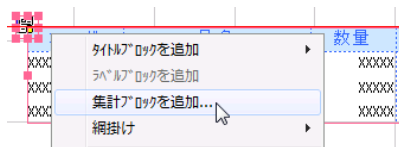
図：プロパティボタン



コード	
XXXXXX	XXXXXX
VVVVVV	VVVVVV

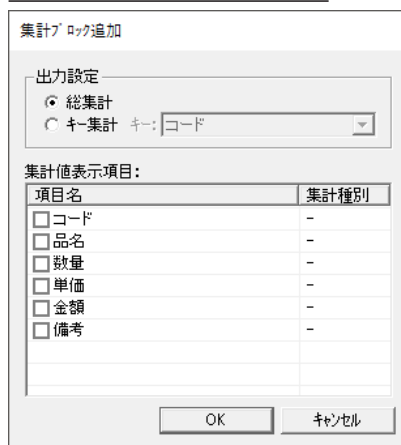
右クリックして表示されたコンテキストメニューから「集計ブロックを追加」を選択します。

図：コンテキストメニュー



「集計ブロック追加」ダイアログが表示されます。

図：集計ブロック追加ダイアログ



集計ブロック追加

出力設定

☒ 総集計
☐ キー集計 キー: コード

集計値表示項目:

項目名	集計種別
☐ コード	-
☐ 品名	-
☐ 数量	-
☐ 単価	-
☐ 金額	-
☐ 備考	-

OK キャンセル

総集計ブロックを追加するには、[出力設定]で[総集計]を選択します。

次に[集計値表示項目]で集計対象となるデータを選択します。例えば、「金額」を集計して「合計金額」を出力する場合には、「金額」の項目にチェックを入れます。

図：項目選択

集計値表示項目:

項目名	集計種別
☐ コード	-
☐ 品名	-
☐ 数量	-
☐ 単価	-
☒ 金額	合計
☐ 備考	合計 平均 レコード数

「金額」の[集計種別]の項目がアクティブになり、集計種別（合計・平均・レコード数）が選択できるようになります。[OK] ボタンをクリックすると総集計ブロックが追加されます。

図：集計ブロックが追加される

コード	品名	数量	単価	金額	備考
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	
合計				SUM	

集計値が割り当てられたセルには、以下のテキストが表示されます。

- ・ 合計：“SUM”
- ・ 平均：“AVG”
- ・ レコード数：“CNT”

集計値の表示になっているセルがどのデータ項目の集計値として設定されているかを確認するには、そのセルをダブルクリックして「セルの設定」ダイアログを表示させ、[表示内容]の[集計設定]ボタンをクリックすると「集計設定」ダイアログが表示されるので、そこで確認することができます。

図：集計設定ダイアログ

集計設定

表オブジェクト名: DETAILS

集計対象項目: 金額

出力設定

☒ 総集計 ☐ ページ集計 ☐ キー集計

集計種別

☒ 合計 ☐ 平均 ☐ レコード数

☐ 空データを集計する

OK キャンセル

20-3. キー集計ブロックを追加する

「顧客別合計」「仕入先計」「月別平均」といったような、キーブレイクごとの集計を出力したい場合は、キー集計ブロックを使用します。

図：キー集計ブロック

仕入先名	商品名	今月仕入金額
埼玉食品(株)	生鮮食品	53,804
	果実	77,950
	パン	29,843
	デザート	49,399
	乳製品	92,267
仕入先計		303,263
(株)岡田屋	生鮮食品	44,048
	果実	77,337
	パン	29,174
	デザート	49,639
	乳製品	36,539
仕入先計		236,737
(株)アリスエブ	生鮮食品	97,263
	果実	95,988

キー集計ブロックを追加するには、総集計ブロックと同様に、プロパティボタンのコンテキストメニューから「集計ブロックを追加」を選択して「集計ブロック追加」ダイアログを表示させます。

次に、[出力設定]で[キー集計]を選択します。[キー]のリストから、その集計ブロックが関連付けられる（そのキー項目のデータがキーブレイクしたときにその集計ブロックが出力される）キー項目を選択します。例えば「顧客別の合計金額」を集計する表を作りたい場合は、[キー]に[顧客]の項目を指定します。

図：キー項目を選択

[キー]を指定したら、あとは総集計ブロックの追加と同様に、[集計値表示項目]から集計対象となるデータを選択し集計種別を指定します。

図：集計を定義する

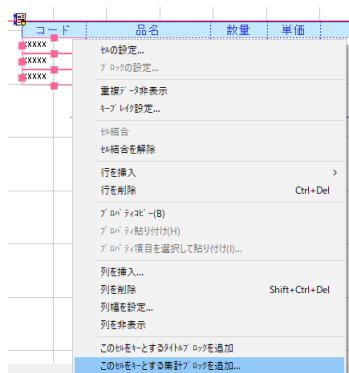
[OK] ボタンをクリックするとキー集計ブロックが追加されます。

図：キー集計ブロックが追加される

コード	品名	数量	単価	金額	備考
XXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXXXXXXXX	
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXXXXXXXX	
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXXXXXXXX	
		合計		SUM	

キー項目とするセルがレコードブロックにある場合、そのセルを選択して右クリックし、表示されたコンテキストメニューから「このセルをキーとする集計ブロックを追加」を選択しても同様の操作を行うことができます。

図：コンテキストメニュー



図：集計ブロック追加ダイアログ

集計プログラム追加

出力設定

☐ 総集計
☒ キー集計

キー:

集計値表示項目:

項目名	集計種別
☐ コード	-
☐ 品名	-
☐ 数量	-
☐ 単価	-
☐ 金額	-
☐ 備考	-

OK キャンセル

この場合は「キー」が固定となり選択することはできません。

20-4. セルに集計設定を割り当てる

集計値は集計ブロックに限らずほぼ全てのテキスト形式のセルに表示させることができます。任意のセルに集計値を表示させるには、集計値を表示させたいセルをダブルクリックして「セルの設定」ダイアログを表示させます。

図：セルの設定ダイアログ

「表示内容」を「集計値」に変更します。

図：集計値を選択

「集計設定」ボタンが有効になるのでクリックすると「集計設定」ダイアログが表示されます。

図：集計設定ダイアログ

〔集計対象項目〕から集計したいデータを選択し、〔出力設定〕と〔集計種別〕をそれぞれ選択します。〔出力設定〕の「総集計」と「ページ集計」は常に選択可能ですが、「キー集計」に関しては“キー集計に設定された集計ブロック”と“キータイトルに設定されたタイトルブロック”内のセルでのみ選択可能となります。

〔OK〕ボタンをクリックするとそのセルが集計値に変更されます。

図：セルが集計値に変更される

		SUM
品名	金額	
	XXXXXX	
	XXXXXX	

集計値が割り当てられたセルには、集計の種別によって以下のテキストが表示されます。

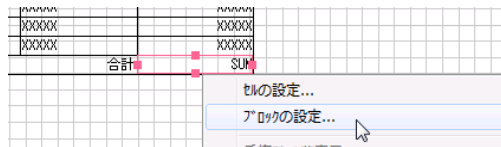
- ・合計：“SUM”
- ・平均：“AVG”
- ・レコード数：“CNT”

表のセルではなく表の外部のテキスト変数に集計値を表示させたい場合は「28 表連携オブジェクト」をご覧ください。

20-5. 集計ブロックの集計タイミングを変更する

集計ブロックは、総集計ブロックとして出力するかキー集計ブロックとして出力するかを選択することができます。集計タイミングを変更するには、その集計ブロックのセルをどれか1つ選択して右クリックし、表示されたコンテキストメニューから「ブロックの設定」を選択します。

図：コンテキストメニュー



「ブロックの設定」ダイアログが表示されます。「ブロックの種類」には「集計ブロック」と表示されています。

図：ブロックの設定ダイアログ



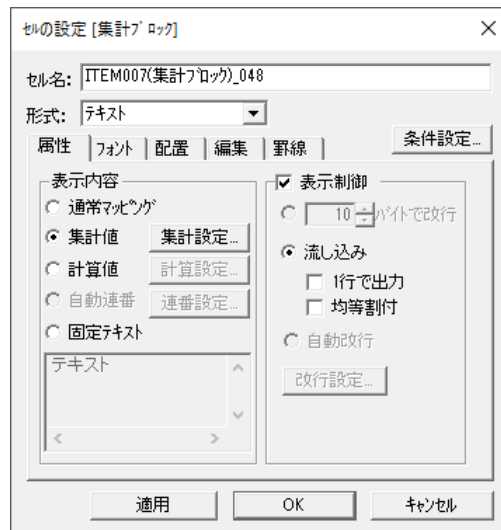
「出力設定」の部分が集計ブロックの設定となっています。「総集計」か「キー集計」を選択し、「キー集計」の場合はさらに「キー」を選択します。ただし、すでに存在している集計タイミングの集計ブロックには変更することはできません。つまり、総集計行がすでに定義されている状態で何かのキー集計行を総集計行に変更するといったことはできません。

[OK] ボタンをクリックすると集計ブロックの設定が変更されます。

20-6. 集計対象項目を変更する

集計値として設定されたセルを別のデータの集計値に変更したい場合は、まず、そのセルをダブルクリックして「セルの設定」ダイアログを表示させます。

図：セルの設定ダイアログ



「表示内容」の「集計設定」ボタンをクリックすると「集計設定」ダイアログが表示されます。

図：集計設定ダイアログ



「集計対象項目」がそのセルに出力される集計項目なので、これを変更することでそのセルに出力される集計値を別の項目に変更することができます。同様に「出力設定」を変更すればキー集計行に総集計値を出力させることもできます。「集計種別」を変更すれば、合計値として定義されたセルを平均値に変更することもできます。

図：セルが平均値に変更される

AAAA	AAAA	AAAA
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX
合計		AVG

20-7. 集計行をページ内に収める

集計ブロックがページの領域（終端位置ガイド線）から1行だけ溢れる場合、その集計ブロック全体が次のページに送られてしまいます。

図：集計ブロックが次のページに送られる

10102	パソコン	10	36,800	368,000
10110	パソコン	5	32,800	164,000
10101	パソコン	10	59,800	598,000
10102	パソコン	10	36,800	368,000

No.

日付: 20

コード	品名	数量	単価	金額
			合計	15,052,000

このとき、1行程度のオーバーであれば次のページには送らずにそのページ内に強引に押し込んで出力させることができます。

図：集計ブロックをページ内に押し込む

10102	パソコン	10	36,800	368,000
10110	パソコン	5	32,800	164,000
10101	パソコン	10	59,800	598,000
10102	パソコン	10	36,800	368,000
合計				15,052,000

この機能を有効にするためには、まず、表オブジェクトの左上にあるプロパティボタンをダブルクリックして表オブジェクトのプロパティダイアログを表示させます。そして「形態」タブにある「集計行押し込み」のチェックボックスにチェックを入れます。

図：集計行押し込みにチェックを入れる

セル	キー項目	デザイン	形態	位置
☐ 表の行数固定 ☒ 集計行押し込み ☐ 空データのレポートをスキップ				
☐ 繰り返し表 キー: コード(レポートブロック)_001 表の間隔: 1 行				

必要な設定は以上です。この設定により前述したように集計ブロックが1行だけ溢れる場合はそのページ内に出力されるようになります。

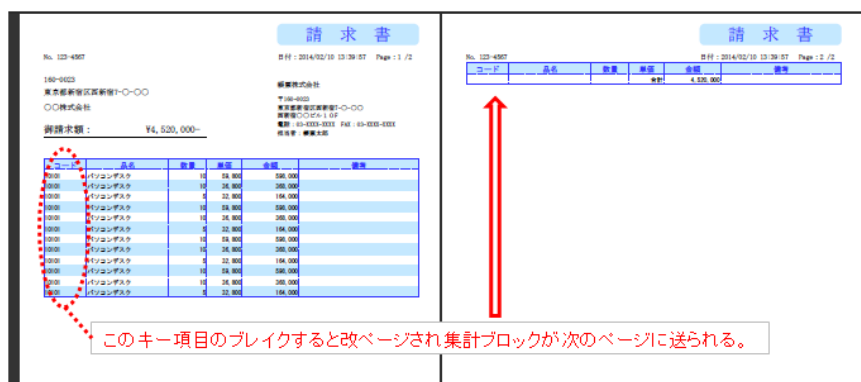
この設定は集計ブロックのみに有効な設定です。また、この設定は全ての集計ブロックに共通のもので、集計ブロックごとに設定の有効・無効を指定することはできません。

20-8. 集計行をページ内に収める（キーブレイク改ページ）

「キーブレイクで改ページ」が設定されたキー項目が存在すると、以下の集計ブロックは次のページに送られてしまいます。

- ・ 総集計ブロック
- ・ 優先順位の低いキーがキーブレイクした際の優先順位の高いキーの集計ブロック
（優先順位については、「15. キー項目」をご覧ください。）

図：集計ブロックが次のページに送られる



このとき、集計ブロックを次のページに送らず、そのページ内のレコードブロックに続けて出力する事ができます。

この設定を行うには、集計ブロックの右クリックメニューからブロック設定を選択し、ブロック設定ダイアログを表示させます。出力設定の「キーブレイク改ページの前に出力」のチェックボックスにチェックを入れます。

図：ブロック設定 - 「キーブレイク改ページの前に出力」

「キーブレイク改ページの前に出力」設定を行った結果は次のようになります。

No. 122-4587 160-0103 東京都港区新橋一丁目〇-〇〇 〇株式会社 御請求者様 様 〒164, 020-000	請求書受付部 〒164-0103 東京都港区新橋一丁目〇-〇〇 株式会社〇〇ビル 16F 電話 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 代表者 御代表者様
---	--

20-9. 表の外部に集計値を表示する

表連携機能を使用すると、表オブジェクトの外部にあるテキスト変数に表の集計値を表示させることができます。

図：表の外部に集計値を表示

No. 123-4567

日付：2006年12月11

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-〇-〇〇

〇〇株式会社

順興株式会社

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-

西新宿〇〇ビル10F

電話：03-XXXX-XXXX

担当者：横山太郎

御請求額：

¥15,052,000-

コード	品名	数量	単価	金額
10101	〇〇〇〇〇	10	58,800	588,000
10102	〇〇〇〇〇	10	36,800	368,000
10110	〇〇〇〇〇	5	32,800	164,000
10101	〇〇〇〇〇	10	58,800	588,000

表連携機能については、「28. 表連携オブジェクト」をご参照ください。

テキスト変数の「表連携」タブで「表示内容」を「集計値」にすると、その表連携オブジェクトに集計値を出力することができます。

図：表連携タブ

テキスト変数

オブジェクト番号: 011 記述: VText

変数名: AMOUNTCLAIMED

属性 | 配置 | 編集 | 重ね合わせ | 位置 | 表連携 | 非表示 | 条件設定...

☒ 表連携出力設定

出力設定

☒ 1ページ目のみ ☐ 繰り返し帳票のヘッダ ☐ キーにする

☐ 最終ページのみ ☒ 重複非表示 ☒ キーごと

☐ 全ページ

表オブジェクト名: DETAILS

表示内容

☒ 通常データ ☒ 集計値 ☐ 計算値

なお、集計値に設定しても表連携オブジェクトの場合は画面表記が「SUM」「AVG」「CNT」とはならないので注意してください。

20-10. 集計値が表示されないときは

集計値を設定したのに正しく出力されない場合は、以下の原因が考えられます。

集計対象データが数値ではない

数値以外のデータ（例えば「ABC」という文字列）は基本的に「0」として扱います。集計値が「0」になるような場合は、集計対象となっている項目が別の項目になってしまっていないか確認してください。

値が 15 桁を超えた

Create!Formでは15桁を超える数値を扱うことができません。そのため、集計処理中に15桁を超えるような場合はその項目の集計処理を停止し警告を返します。その場合、帳票上の集計項目は空欄で表示されます。

20-11. 空データの扱い

集計対象項目に設定したセルの入力データに空データ（NULL）が含まれる場合、集計設定により扱いが異なります。

合計

空データ（NULL）を 0 として集計します。

平均

「空データを集計する」にチェックを入れた場合、空データ（NULL）を 0 として集計します。
「空データを集計する」にチェックを入れない場合、空データ（NULL）は集計から除外されます。

図：「空データを集計する」設定

レコード数

「集計対象項目」にセルを選択した場合、空データ（NULL）はカウントされません。
「集計対象項目」が空の場合、空データ（NULL）もカウントされます。

図：「集計対象項目」が空の場合

21. 計算

21-1. 計算機能の概要

表オブジェクトでは、マッピングされたデータや集計値を用いて簡単な四則演算を行い、その計算結果を帳票上に表示することができます。例えば、合計金額の横に税込みの合計金額を表示させる、といったことが表オブジェクト上に計算式を設定するだけで実現できます。

図：計算

10	36,800	368,000
5	32,800	164,000
5	32,800	164,000
合計		26,510,000
税込み合計		27,835,500

計算式では四則演算が使用できます。複数の項目を組み合わせた多項式や括弧を用いた計算式が定義できます。

計算式の中で利用可能なデータは以下の3つです。

- ・レコードブロックにマッピングされたデータ
- ・集計値
- ・固定の実数値

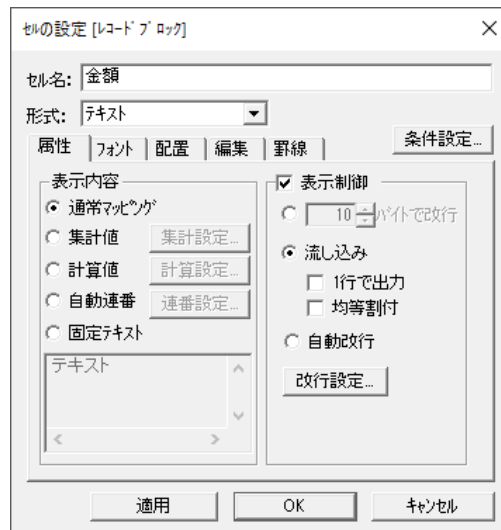
<< 注意 >>

表オブジェクトの計算機能で扱える数値の範囲は、整数部分と小数部分合わせて15桁までとなります。計算の処理過程において、扱う値がこの範囲を超える場合、整数部分が16桁以上になるとその計算処理は中止されます。また、整数部分と小数部分を合わせて16桁を超える場合は、全体が15桁に収まるように小数部分が四捨五入されます。このため小数点以下の値を扱う場合、切り上げ切り捨てによる誤差が発生し、意図しない計算結果になる可能性があります。

21-2. 計算式を設定する

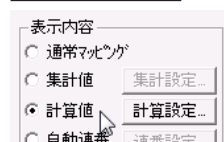
計算式はセルの表示設定で指定します。まず、計算式を指定したいセルをダブルクリックし「セルの設定」ダイアログを表示させます。

図：セルの設定ダイアログ



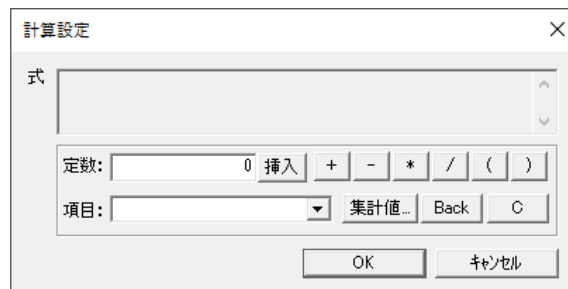
[表示内容] を [計算値] に変更します。

図：計算値を選択



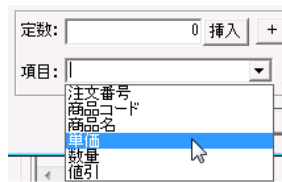
[計算設定] ボタンをクリックすると「計算設定」ダイアログが表示されます。

図：計算設定ダイアログ



この画面で計算式を編集することができます。[式] の欄に編集している計算式が表示されます。レコードブロックの項目を計算式に使う場合は、[項目] のリストから選択します。
※表連携オブジェクトでは、項目を計算式に使うことはできません。

図：項目選択



集計値を計算式に使う場合は、[集計値] ボタンをクリックします。「集計設定」ダイアログが表示されるので、計算に使用したい集計値の設定を行います。

図：集計設定ダイアログ



計算式中に表の集計値を追加すると、次の表のとおり表示されます。

図：計算式中の集計値表示

	総集計	ページ集計	キー集計
合計	SUM_G[表名][セル名]	SUM_P[表名][セル名]	SUM_K[表名][セル名]
平均	AVG_G[表名][セル名]	AVG_P[表名][セル名]	AVG_K[表名][セル名]
平均 (空データを集計する)がON	AVG_NVLO_G[表名][セル名]	AVG_NVLO_P[表名][セル名]	AVG_NVLO_K[表名][セル名]
レコード数	CNT_G[表名][セル名]	CNT_P[表名][セル名]	CNT_K[表名][セル名]

※表中の“表名”は表オブジェクト名、“セル名”は集計対象項目を指します。

図：式を編集 - 集計値



「+」「-」「*」「/」をクリックするとそれぞれの演算子が計算式に追加されます。

図：式を編集 - 演算子

式 SUM_G[DETAILES][金額] + |

固定の数値を入力する場合は、[定数] の欄に値を入力して [挿入] ボタンをクリックします。

図：式を編集 - 定数

式 SUM_G[DETAILES][金額] + (1.05) |

式を修正する場合は、[式] 欄の修正したい場所にカーソルを移動して [Back] ボタンをクリックします。

図：式を編集 - 削除

式 SUM_G[DETAILES][金額] * 1.05)

値や演算子の追加は [式] 欄のカーソルがある位置に対して行われます。

図：式を編集 - カーソル位置の編集

式 SUM_G[DETAILES][金額] * 1.05)

[()] ボタンをクリックすると括弧を用いた計算式を定義することも可能です。

図：式を編集 - 括弧

式 (数量 * 単価) - 値引 |

定義した式を消去して最初からやり直したい場合は、[C] ボタンをクリックすると計算式が消去されます。

図：消去

式

定数: 0 挿入 + - * / ()

項目: 値引 集計値... Back C

21-3. 不正な値での計算

計算式に不正な値が指定されると以下のように処理を行います。

- ・ 計算式で指定された項目の入力データに文字データのような数値ではないデータが存在する場合、エラーになり帳票出力処理自体を停止します。
- ・ 計算機能では、15 桁を超えるデータを扱うことはできません。計算処理中に 15 桁を超える値が発生した場合は計算処理を停止し、帳票上には空欄を表示します。
- ・ 計算処理中に「0」で除算が行われた場合は計算処理を停止し、帳票上には「NaN」と表示します。

21-4. 表の外部に計算値を表示する

表連携機能を使用すると、表の計算値を表オブジェクト外部のテキスト変数に出力することができます。表連携機能の詳細は「28. 表連携オブジェクト」をご参照ください。

テキスト変数のプロパティダイアログ - 「表連携」タブで [表示内容] を [計算値] に設定すると、そのテキスト変数には表の計算値が出力されます。[計算設定] ボタンをクリックすると「計算設定」ダイアログが起動しますので、「21-2. 計算式を設定する」と同様に計算式を設定してください。

図：テキスト変数のプロパティダイアログ - 「表連携」タブ

テキスト変数

オブジェクト番号: 012 記述: VText

変数名: AMOUNTCLAIMED

属性 | 配置 | 編集 | 重ね合わせ | 位置 | 表連携 | 非表示 | 条件設定...

☒ 表連携出力設定

出力設定

- ☒ 1ページ目のみ
- ☐ 繰り返し帳票のヘッダ
- ☐ 最終ページのみ
- ☐ 全ページ

☐ キーにする ☒ 重複非表示 ☒ キーごと

表オブジェクト名: 請求明細

表示内容

- ☐ 通常マッピング
- ☐ 集計値 集計設定...
- ☒ 計算値 計算設定...

適用 OK キャンセル

1 つの帳票内に複数の表オブジェクトを使用する場合には、それぞれの表の集計値を計算式に含めることも可能です。

21-5. 計算値が表示されないときは

計算値を設定したのに正しく出力されない場合は、以下の原因が考えられます。

計算対象データが数値ではない

数値以外のデータ（例えば「ABC」という文字列）が指定された場合、エラーとなり帳票出力処理を停止します。計算対象となっている項目が別の項目になってしまっていないか確認してください。

値が 15 桁を超えた

Create! Formでは15桁を超える数値を扱うことができません。そのため、計算処理中に15桁を超えるような場合はその項目の計算処理を停止し警告コードを返します。帳票上の計算項目は空欄で表示されます。

ゼロ除算が発生した

計算処理中に「0」による除算が行われた場合、次項の設定によっては、計算処理を停止し警告コードを返します。帳票上の計算項目は「NaN」と表示されます。

21-6. ゼロ除算が発生した際の警告設定

計算処理中に「0」による除算が行われた場合、計算処理を停止し警告コードを返すかどうかの設定を行う事ができます。

設定は、Form エディターのメニューで [ファイル] から [フォーム設定] を実行し、表示された「フォーム設定」ダイアログの「表オブジェクト」タブにある [計算処理において 0 除算が発生した場合は警告する] チェックボックスにて行います。

図：フォーム設定

フォーム設定

ステータス | 用紙サイズ | 編集モード | テンプレート

lpi/cpi | 表オブジェクト | Screen設定

行間隔: 12,000

ガイド

1ページ目の開始位置 50,140

2ページ目以降の開始位置 50,140

最終ページ分の位置 566,140

終端位置 566,140

☒ データが0件の場合はその表を表示しない

☐ データが0件の場合は警告する

☒ 計算処理において0除算が発生した場合は警告する

OK キャンセル

[計算処理において 0 除算が発生した場合は警告する] にチェックを入れると、計算処理を停止し警告コードを返します。(フォームを新規作成した際はこちらが初期設定されています。) チェックを外すと、警告は発生せず処理が継続されます。

ただし、[計算処理において 0 除算が発生した場合は警告する] の設定に関わらず、帳票上の計算項目は「NaN」と表示されます。

また、これらの設定はフォーム全体に対して行うものであり、表オブジェクト個別に設定することはできません。

22. 自動連番

22-1. 自動連番機能の概要

表オブジェクトでは各明細行に行番号を表示することができます。

図：行番号

No	メーカー／型番	
1	A B C 事務機	SSデスクシ
	SS-KD1270G	
2	A B C 事務機	SSデスクシ
	SS-RD1470G	
3	A B C 事務機	SSデスクシ
	SS-OT1670G	
4	A B C 事務機	SSデスクシ
	SS-SW4570G	

このように自動的に番号を表示する機能が自動連番機能です。

自動連番には以下の4つの出力パターンがあります。

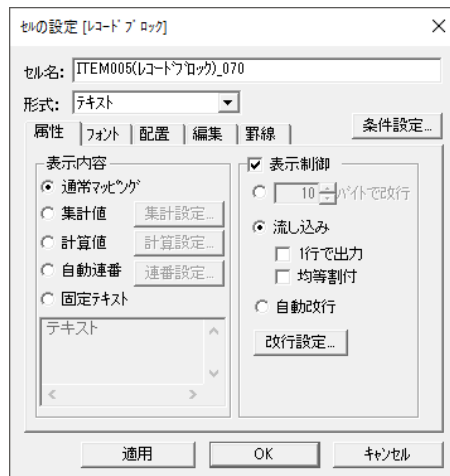
- ・ 通常の連番
- ・ 改ページごとに1にリセットされる連番
- ・ 特定のキー項目のキーブレイクで1にリセットされる連番
- ・ 特定のキー項目のキーブレイクごとに値が増加する連番

表連携の繰り返し帳票のヘッダーキーを設定したときは、キーの切り替わり時に自動連番はリセットされます。

22-2. 自動連番を設定する

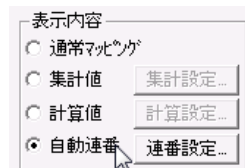
自動連番はセルの表示設定で定義します。まず、番号を表示させたいセルをダブルクリックし「セルの設定」ダイアログを表示させます。

図：セルの設定ダイアログ



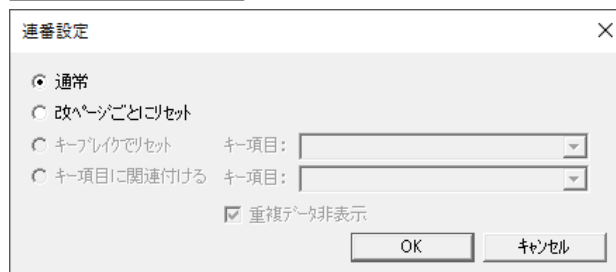
「表示内容」を「自動連番」に変更します。

図：自動連番を選択



「連番設定」ボタンをクリックすると「連番設定」ダイアログが表示されます。

図：連番設定ダイアログ



この画面では自動連番の出力パターンを指定することができます。

22-3. 通常連番

連番設定で「通常」を指定すると、そのセルには連番が出力されます。
この場合の連番は最後までリセットされることなく1ずつ増加していきます。

図：通常連番

ITEM001
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13

22-4. 改ページごとにリセット

連番設定で「改ページごとにリセット」を指定すると、
そのセルにはページごとに1にリセットされる連番が出力されます。

図：改ページごとにリセット

32
33
34
35
36
37
38
39

ITEM005
1
2
3
4
5
6

22-5. キーブレイクでリセット

連番設定で「キーブレイクでリセット」を指定して
「キー項目」の選択リストから関連付けるキー項目を選択すると、
そのセルにはキーブレイクごとに1にリセットされる連番が出力されます。

図：キーブレイクでリセット

	ITEM002
1	東京
2	
3	
4	
5	
6	
7	
1	大阪
2	
3	
4	
5	

22-6. キー項目に関連付ける

連番設定で「キー項目に関連付ける」を指定して
「キー項目」の選択リストから関連付けるキー項目を選択すると、
そのセルにはキーブレイクごとに1ずつ増加する連番が出力されます。

図：キー項目に関連付ける

	ITEM002
1	東京
1	
1	
1	
1	
1	
1	
2	大阪
2	
2	
2	
2	

「重複データを非表示」を設定すると、キーブレイクごとの先頭行のみに連番が出力されます。
この際、セルの罫線「上」は自動的に「なし」に設定されます。
罫線を出力したい場合は、セルのプロパティ「罫線」から「上」線を改めて設定して下さい。

図：キー項目に関連付ける

	ITEM002
1	東京
2	大阪

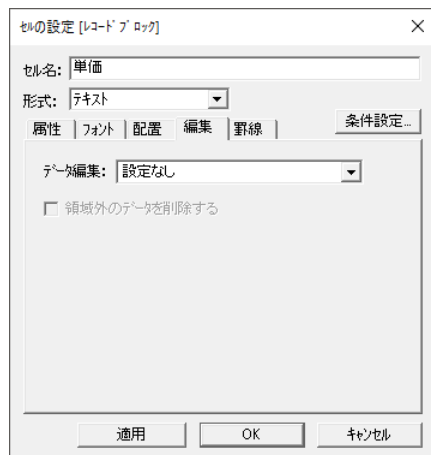
23. データ編集

数値を3桁ごとにカンマで区切って表示したいような場合は「データ編集」機能を使用します。表オブジェクトで使用可能なデータ編集機能はテキスト変数オブジェクトに対して使用できるデータ編集機能と同じものです。データ編集の設定は、以下のいずれかの操作を行い「セルの設定」ダイアログを表示させます。

- ・セルをダブルクリック
- ・セルを選択して右クリックし、コンテキストメニューから「セルの設定」を選択

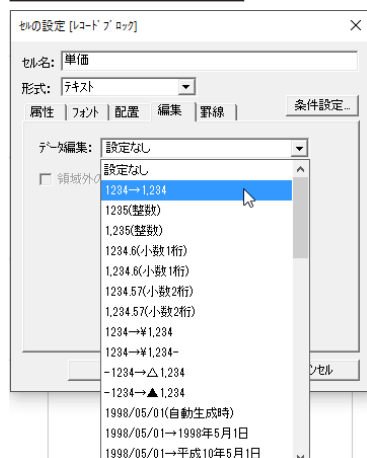
セルの設定ダイアログで「編集」タブをクリックします。

図：セルの設定ダイアログ - 「編集」タブ



データ編集はマッピングするセルが集計値、計算値が指定された項目に設定することができません。各セルにある「編集」タブの「データ編集」項目をクリックすると、選択可能な編集コマンドがプルダウンメニューで表示されます。ここから適用したい編集コマンドを選択します。3桁ごとのカンマ区切りであれば、「1234 → 1,234」等を選択します。

図：編集コマンドの選択



この設定により、その項目にデータ編集処理が適用されて帳票上に出力されるようになります。

図：出力結果

合計	26,510,000
税込み合計	27,835,500

その他、データ編集機能に関する詳細はマネージャーのメニュー[ヘルプ]-[オンラインマニュアル]から「3. 機能リファレンス」-「3.4 集計値の表示とデータ編集」-「データ編集」をご覧ください。

24. 網掛け

24-1. 網掛け機能の概要

行の背景色を一定の間隔で塗りつぶす機能が「網掛け」機能です。

図：網掛け

コード	品名	数量	単価
10101	ハ'ソコンデ'スク	10	59,800
10102	ハ'ソコンデ'スク	10	36,800
10110	ハ'ソコンデ'スク	5	32,800
10101	ハ'ソコンデ'スク	10	59,800
10102	ハ'ソコンデ'スク	10	36,800
10110	ハ'ソコンデ'スク	5	32,800
10101	ハ'ソコンデ'スク	10	59,800
10102	ハ'ソコンデ'スク	10	36,800
10110	ハ'ソコンデ'スク	5	32,800
10101	ハ'ソコンデ'スク	10	59,800
10102	ハ'ソコンデ'スク	10	36,800
10110	ハ'ソコンデ'スク	5	32,800
10205	OAチェア	20	39,800
10205	OAチェア	20	39,800

24-2. 網掛けを有効にする

網掛けを設定するためには、表オブジェクトのプロパティダイアログにある「デザイン」タブで「網掛け」のチェックボックスにチェックを入れます。

図：網掛けをチェック

セル | キー項目 | デザイン | 形態 |

☒ 網掛け

網掛け行数: 行

この設定により網掛けされた表が出力されるようになります。

24-3. 網掛けの間隔を設定する

初期状態では網掛けは1行おきに適用されます。

図：初期状態の網掛け

コード	品名	数量	単価
10101	ハ'ソコンデ'スク	10	59,800
10102	ハ'ソコンデ'スク	10	36,800
10110	ハ'ソコンデ'スク	5	32,800
10101	ハ'ソコンデ'スク	10	59,800
10102	ハ'ソコンデ'スク	10	36,800
10110	ハ'ソコンデ'スク	5	32,800
10101	ハ'ソコンデ'スク	10	59,800
10102	ハ'ソコンデ'スク	10	36,800
10110	ハ'ソコンデ'スク	5	32,800
10101	ハ'ソコンデ'スク	10	59,800

この間隔は任意に変更することができます。

図：網掛け設定画面

網掛けの間隔は、網掛け設定の以下の項目で変更できます。

網掛け行数

背景を塗りつぶす行数

間隔

塗りつぶされる行と次の塗りつぶされる行の間の行数

先頭行を網掛けにする

塗りつぶす行から開始するかどうか

図：網掛けの間隔（2行の場合）

コード	品名	数量	単価
10101	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	10	54
10102	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	10	34
10110	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	5	32
10101	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	10	54
10102	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	10	34
10110	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	5	32
10101	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	10	54
10102	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	10	34

〔先頭行を網掛けにする〕のチェックを外すと、〔間隔〕で指定された行数の次の行から網掛けが適用されるようになります。

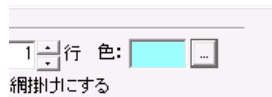
図：先頭行を網掛けにしない場合

コード	品名	数量	単価
10101	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	10	59
10102	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	10	36
10110	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	5	32
10101	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	10	59
10102	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	10	36
10110	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	5	32
10101	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	10	59
10102	ﾊﾞﾂｺﾝﾃﾞﾝｽ	10	36

24-4. 網掛けの色を設定する

網掛けで使用される背景色を変更するには、網掛け設定の「色」のボタンをクリックして使用する色を選択します。

図：網掛けの色ボタン

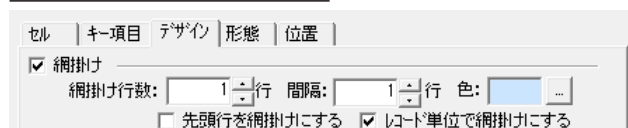


24-5. レコード単位で網掛けにする

自動改行を設定した場合、入力データの内容によって改行が発生し、1レコードとして出力される行数が異なります。

同一レコード内で網掛けの背景色をそろえたい場合は、「レコード単位で網掛けにする」にチェックを入れてください。

図：レコード単位網掛け設定画面



図：レコード単位網掛けを設定した場合

コード	品名	数量	単価	金額	備考
10401	パソコンデスク	10	59,800	598,000	
10402	パソコンデスク	10	36,800	368,000	
10410	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
11301	事務机	10	59,800	598,000	
11302	事務机	10	36,800	368,000	
11310	事務机	5	32,800	164,000	2004年4月1日から2006年12月31までの価格。付属品：鉛筆立て、スタンドライト
13205	OAチェア	20	39,800	796,000	
10501	事務机両キャビネット	10	59,800	598,000	
10502	事務机両キャビネット	10	36,800	368,000	
20101	キャビネット	10	59,800	598,000	

「レコード単位で網掛けにする」にチェックを入れた場合、「網掛け行数」と「間隔」に設定する数値は、見かけ上の行数ではなく、入力データのレコード行数となります。

24-6. 集計ブロックにも網掛けを適用する

網掛けの設定は基本的にはレコードブロックの行にのみ適用され、集計ブロックやキータイトルブロックの行には適用されません。

図：集計行は網掛けが適用されない

10	36,800	368,000
5	32,800	164,000
5	32,800	164,000
合計		26,510,000
税込み合計		27,835,500

集計ブロックやキータイトルブロックの「ブロックの設定」ダイアログにある「網掛け対象」のチェックボックスにチェックを入れるとそのブロックの行も網掛けの適用対象となります。

図：集計ブロックの網掛け対象をチェック

ブロックの設定

ブロックの種類: 集計ブロック

出力設定

☒ 総集計

☐ キー集計 キー: 注文番号

☐ キーレイアウトページの前に出力

空行設定

☒ ブロック出力前 1 行 ☒ 空データ ☐ 空白

☐ ブロック出力後 1 行 ☒ 空データ ☐ 空白

表の行数固定

☒ 最終レコードに続けて出力

☐ 表の終端位置に出力

☐ 網掛け対象

OK キャンセル

図：設定後の出力イメージ

10	36,800	368,000
10	36,800	368,000
5	32,800	164,000
5	32,800	164,000
合計		26,510,000
税込み合計		27,835,500

この設定はブロックごとに行うことができます。

25. 空行

25-1. 空行機能の概要

集計行の前後に 1 行分の空白を入れたい、といった場合は「空行」を設定をします。

図：集計行の前後を 1 行あける

シーブディング (5個)	15	1200	18000
ドミソブディング (10個)	10	500	5000
フルーツ盛り合わせ	2	7500	15000
スクメロン (中球)	2	6000	12000
みかん	50	120	6000
日付別集計			397800
トアソルティ (8個)	10	630	6300
ンシェオシヨコラ (5個)	35	900	31500
ーヌセット (5個)	20	500	10000
レイ・ネー (6)	10	1000	10000

空行として出力されるものには以下の 2 種類があります。

空データ

データのない罫線だけのレコードブロックを 1 レコード分出力する

空白

何もない完全な空欄を 1 行分出力する

図：空データと空白

シーブディング (5個)	15	1200	18000
ドミソブディング (10個)	10	500	5000
フルーツ盛り合わせ	2	7500	15000
スクメロン (中球)	2	6000	12000
みかん	50	120	6000
日付別集計			397800
トアソルティ (8個)	10	630	6300
ンシェオシヨコラ (5個)	35	900	31500
ーヌセット (5個)	20	500	10000

← 空レコード

← 空白

この「空行」はレコードブロック以外の全てのブロックに対して設定することができます。また、出力する行数も指定することができます。

図：空レコードを 3 行出力

シーブディング (5個)	15	1200	18000
ドミソブディング (10個)	10	500	5000
フルーツ盛り合わせ	2	7500	15000
スクメロン (中球)	2	6000	12000
みかん	50	120	6000
日付別集計			397800
トアソルティ (8個)	10	630	6300
ンシェオシヨコラ (5個)	35	900	31500
ーヌセット (5個)	20	500	10000

ただし、空行は次のページに繰り越されません。例えば、集計ブロックに対して 5 行指定された空行が 2 行出力されたところでページの終端に達した場合、残りの 3 行分の空行は出力されず消滅します。次のページの先頭には空行ではなく次のブロックが出力されます。

図：空行は次のページに繰り越さない

ジーンズ（10個）	10	1500	15000
ドミソプディング（10個）	10	500	5000
フルーツ盛り合わせ	2	7500	15000
スクメロン（中球）	2	6000	12000
みかん	50	120	6000

数量	単価	金額
日付別集計		397800
ジーンズ（10個）	10	1500

25-2. ブロックの前に出力する

集計ブロックのみ、ブロックの前に空行を出力することができます。

図：前の空行

空行設定

☒ ブロック出力前
 行
 ☒ 空データ
 ☐ 空白

☐ ブロック出力後
 行
 ☒ 空データ
 ☐ 空白

ブロックの前に空行を出力するには、[空行設定]で[ブロック出力前]のチェックボックスにチェックを入れます。[行数]と空行の種別が編集可能になるので任意の設定を行います。

図：空行設定した状態

XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
日付別集計		SUM	
総集計		SUM	

この設定によりブロックの前に空行が出力されるようになります。

25-3. ブロックの後に出力する

以下のブロックでは、ブロックの後に空行を出力できます。

- ・タイトルブロック
- ・ラベルブロック
- ・キー集計に設定された集計ブロック（ただし、繰返し表のキーの場合は除きます）

図：後の空行

空行設定

☐ ブロック出力前 1 行 ☐ 空データ ☒ 空白

☒ ブロック出力後 3 行 ☐ 空データ ☒ 空白

ブロックの後に空行を出力するには、[空行設定] で [ブロック出力後] のチェックボックスにチェックを入れます。[行数] と空行の種別が編集可能になるので任意の設定を行います。

図：空行設定した状態

XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
日付別集計		SUM	

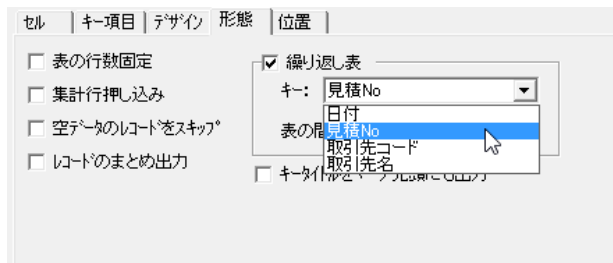
この設定によりブロックの後に空行が出力されるようになります。

「形態」タブの「繰り返し表」のチェックボックスにチェックを入れます。[キー]から繰り返し表のキー項目にするセルを選択します。

<< 注意 >>

繰り返し表のキーとして選択可能なセルは、レコードブロックとタイトルブロックにあるマッピング可能なセルのみです。

図：キーを選択



この設定を行うことで、ここで指定されたキー項目でキーブレイクが発生するごとに表が切り替わって出力されます。

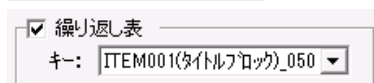
また、すでにラベルブロックの上にタイトルブロックがある状態で、もう一つラベルブロックの上のタイトルブロックを追加すると、2つ目に追加したタイトルブロックが自動的に繰り返し表のキー項目になり、その表は繰り返し表になります。

図：2つ目のタイトルブロックを追加

XXXXXX			
XXXXX			
XXXXX	取引先名	商品	
XXXXX	XXXXX		XXXXX
			XXXXX
			XXXXX

表オブジェクトのプロパティダイアログの「形態」タブで確認すると、新規に追加したタイトルブロックのセルが繰り返し表の「キー」に設定されていることが確認できます。

図：キーに設定されている



26-3. 表の間隔を指定する

繰り返し表のそれぞれの表の間隔は行単位で指定することができます。

図：表の間隔

	SET-DES-0007	クリーミープリン (5個)
	SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)
	SET-DES-0023	カスタードミソブディング (10個)
	SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ
	SIN-FRU-0005	特選マスクメロン (中球)
	SIN-FRU-0113	愛媛産みかん

日付	商品コード	商品名
2006/11/7	SET-CAK-0002	プチガトーアソルティ (8個)
	SET-CAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)
	SET-CAK-0006	マドレーヌセット (5個)
	SIN-CAK-0003	ガトービレネー (5)

表の間隔

初期状態では「1 行」が指定されていますが、これを変更するには、表オブジェクトのプロパティダイアログの「形態」タブで「繰り返し表」の「表の間隔」を変更します。

図：表の間隔を変更

☒ 繰り返し表

キー: ITEM001(タイトルブロック)_050 ▼

表の間隔: 3 行

この設定により表の間隔が変更されます。

図：出力イメージ

	SET-DES-0007	クリーミープリン (5個)
	SET-DES-0015	ジャージーブディング (5個)
	SET-DES-0023	カスタードミソブディング (10個)
	SET-FRU-0001	季節のフルーツ盛り合わせ
	SIN-FRU-0005	特選マスクメロン (中球)
	SIN-FRU-0113	愛媛産みかん

日付	商品コード	商品名
2006/11/7	SET-CAK-0002	プチガトーアソルティ (8個)
	SET-CAK-0005	フィナンシェオショコラ (5個)
	SET-CAK-0006	マドレーヌセット (5個)
	SIN-CAK-0003	ガトービレネー (5)

27. 複合表

27-1. 複合表の概要

表オブジェクトは一つのFormファイルの中で複数定義することができます。複数の表オブジェクトを用いて出力する帳票パターンを「複合表」といいます。

図：複合表

お取引総合レポート

〒190-0023
東京都新宿区西新宿1-0-0
株式会社〇〇

お預り資産/お借入れ残高明細 2006/11/8 現在 印刷日: 2006/11/8 印刷時間: 13:05:00 印刷場所: 〇〇〇〇〇〇

＜お預り資産＞

◆流動性資産

種別	口座番号	お預り金額	口座開設日
現金	1234567	¥100,000	2006/1/1
普通預金	3456789	¥2,128,000	1999/10/20
当座預金	9876543	¥50,000	1999/10/20
定期預金	4567890	¥800,000	2004/10/10
外貨預金	5678901	¥500,000	2002/12/20
有価証券	6789012	¥100,000	2003/12/15
普通預金	7890123	¥100,000	2005/06/10
当座預金	8901234	¥1,000,000	2002/01/08
外貨預金	9012345	¥1,000,000	2005/04/20
合計		¥6,108,000	

◆定期性資産

種別	口座・証券番号	お預り金額	平均利率	預入日	満期日	継続方法
パワフル定期	1234567	¥100,000	0.00%	2006/02/10	2006/12/10	自動継続
パワフル定期	2	¥1,000,000	0.00%	2006/03/01	2006/12/10	自動継続
パワフル定期	3	¥1,500,000	0.00%	2006/12/10	2006/12/10	自動継続
合計	3	¥2,500,000				

◆外貨定期預金

種別	口座・証券番号	お預り金額 (円換)	通貨種類	平均利率	預入日	継続方法
新設外貨定期預金	1234567	¥1,100,000	USD	0.00%	2006/04/20	2006/12/20
新設外貨定期預金	2	¥2,000,000	USD	0.00%	2006/05/10	2006/12/10
合計	2	¥3,100,000				

◆投資信託

ファンド名	評価金額	評価損益	数量	評価単位
フューチャード	¥10,000,000	1,000,000	100,000	¥1,000
フューチャード	¥11,000,000			
フューチャード	¥12,000,000			
フューチャード	¥13,000,000			
フューチャード	¥14,000,000			
フューチャード	¥15,000,000			
フューチャード	¥16,000,000			
フューチャード	¥17,000,000			
フューチャード	¥18,000,000			
フューチャード	¥19,000,000			
フューチャード	¥20,000,000			
フューチャード	¥21,000,000			
フューチャード	¥22,000,000			
フューチャード	¥23,000,000			
フューチャード	¥24,000,000			
フューチャード	¥25,000,000			
フューチャード	¥26,000,000			
フューチャード	¥27,000,000			
フューチャード	¥28,000,000			
フューチャード	¥29,000,000			
フューチャード	¥30,000,000			
フューチャード	¥31,000,000			
フューチャード	¥32,000,000			
フューチャード	¥33,000,000			
フューチャード	¥34,000,000			
フューチャード	¥35,000,000			
フューチャード	¥36,000,000			
フューチャード	¥37,000,000			
フューチャード	¥38,000,000			
フューチャード	¥39,000,000			
フューチャード	¥40,000,000			
フューチャード	¥41,000,000			
フューチャード	¥42,000,000			
フューチャード	¥43,000,000			
フューチャード	¥44,000,000			
フューチャード	¥45,000,000			
フューチャード	¥46,000,000			
フューチャード	¥47,000,000			
フューチャード	¥48,000,000			
フューチャード	¥49,000,000			
フューチャード	¥50,000,000			

表オブジェクトが複数ある場合は、まずは最初の表オブジェクトだけを出力し、最初の表オブジェクトの出力が終了したら以降に定義した表オブジェクトを順番に出力します。

図：複合表は順番に出力される

お取引総合レポート

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7-〇-〇〇

飯田太郎様

お預り資産/お借入れ残高明細

2006/11/8

現在

お取引
開始日

<お預り資産>

◆定期預金

種別	口座・口座番号	お預り残高
普通預金	1234567	¥700,000
普通預金	2345678	¥1,200,000
普通預金	3456789	¥350,000
普通預金	4567890	¥430,000
普通預金	5678901	¥500,000
普通預金	6789012	¥230,000
普通預金	7890123	¥100,000
貯蓄預金	8901234	¥1,500,000
貯蓄預金	9012345	¥3,000,000
合計		¥6,100,000

◆定期預金

種別	口座・口座番号	お預り金額
パワフル定期	1234567	¥800,000
	1	
パワフル定期	1234567	¥1,000,000
	2	
パワフル定期	1234567	¥1,500,000
	3	
合計		¥3,300,000

◆外貨定期預金

種別	口座・口座番号	お預り金額 (円換)	通貨種類
	種別・口座番号	お預り金額 (円換)	換算レート
新設外貨定期預金	1234567	¥1,100,000	USD
	0,0091	10,000	110.01
新設外貨定期預金	1234567	¥2,300,000	EUR
	0,0079	20,000	150.02
合計		¥4,400,000	
		40,000	

表1

表2

表3

表1

表2

表3

27-2. 表オブジェクトを追加する

複合表の帳票を定義するには表オブジェクトを必要なだけ追加します。

2 つ目以降の表オブジェクトを追加する場合、フォーム上のどの位置に配置しても必ず最後に追加した表の下に配置されます。

※表オブジェクトは 15 まで追加可能です。

図：表オブジェクト追加

社員検索リスト（一般用）

社員番号	名前	所属	役職	入社年月日
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX

商品コード	商品名	金額
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX

どこに配置しても前の表オブジェクトの下に配置される

追加された表オブジェクトは、一番上にある最初の表オブジェクトのすぐ下に配置されます。最初の表オブジェクトを上下に移動するとそれに合わせて下の表オブジェクトも上下に移動します。

図：複合表は一緒に移動する

社員検索リ

社員番号
XXXXX
XXXXX
XXXXX

商品コード
XXXXX
XXXXX
XXXXX

社員検索リ

社員番号
XXXXX
XXXXX
XXXXX

商品コード
XXXXX
XXXXX
XXXXX

表オブジェクトを追加していくと、表オブジェクトの有効領域（1 ページ目の開始位置と終端位置の間の領域）を超える場合があります。

このとき、終端位置のガイド線を超えている部分が薄い黄色の背景色で表示されます。これは「表伸張モード」という機能です。表伸張モードについては「4-5. ガイド線」をご覧ください。

27-3. 表と表の間の処理を指定する

表と表の間には任意の行数の間隔、あるいは改ページ処理を設定することができます。
表オブジェクトの間隔は初期値として1行が設定されます。

図：表間隔

社員番号		名前		
XXXXXX		XXXXXX		XX
XXXXXX		XXXXXX		XX
XXXXXX		XXXXXX		XX

商品コード	商品名	金額	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	

表間隔

この間隔を変更するには、上の表オブジェクトの左上にあるプロパティボタンをダブルクリックし、表オブジェクトのプロパティダイアログを表示させます。

図：位置タブ

表

×

オブジェクト番号: 003

記述: 流動性預金

変数名: RYUUDOU

セル

キー項目

デザイン

形態

位置

開始点: X: 20.000

終了点: X: 550.000

表の間隔: 1 行

☐ 表間での改ページ

適用

OK

キャンセル

「位置」タブにある「表の間隔」を任意の行数に変更します。

図：表の間隔を変更

表の間隔: 3 行

☐ 表間での改ページ

[OK] ボタンをクリックすると表の間隔が変更され、画面上にも反映されます。

図：画面上に反映される

社員番号		名前		
XXXXXX		XXXXXX		XX
XXXXXX		XXXXXX		XX
XXXXXX		XXXXXX		XX

商品コード	商品名	金額	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	
XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	

また、表が切り替わるタイミングでページも切り替えたい場合は、表オブジェクトのプロパティダイアログの「位置」タブにある「表間での改ページ」のチェックを有効にします。

図：表間での改ページ

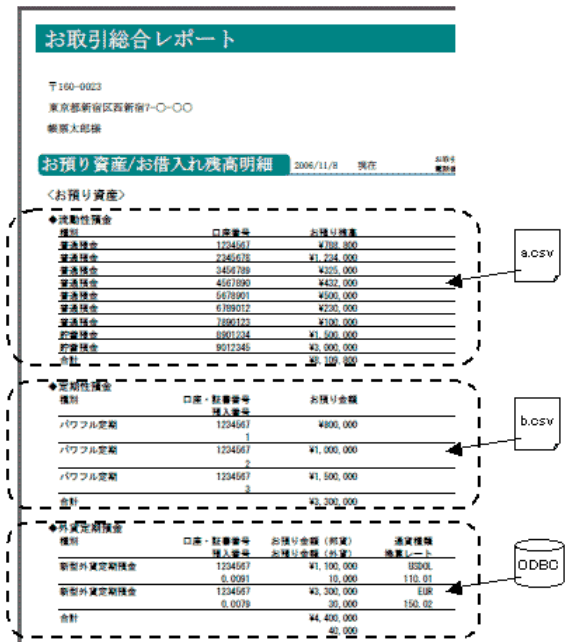
表の間隔: 行

☒ 表間での改ページ

27-4. 表オブジェクトごとにデータをマッピングする

複合表の各表オブジェクトにはマルチデータソース機能を利用してそれぞれ別の入力データをマッピングすることができます。

図：マッピングイメージ



通常のマルチデータソースを用いた帳票と同じようにデータソースごとにデータマップファイルを作成します。手順は通常のマルチデータソースと同じです。マルチデータソース機能については、マネージャーのメニュー [ヘルプ] - [オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」-「3.5 改ページとフォームの切り替え」-「マルチデータソース」をご覧ください。

ここでは例として2つの表オブジェクトを配置し、データソースとしてCSVとDBを使用する場合について説明します。

図：表が2つ登録されているフォーム

＜お預り資産＞						
◆流動性預金						
種別	□口座番号		お預り残高		□口座開設日	
XXXXX	XXXXXX		XXXXXX		XXXXXX	
XXXXXX	XXXXXX		XXXXXX		XXXXXX	
XXXXXX	XXXXXX		XXXXXX		XXXXXX	
合計			SUM			
◆定期性預金						
種別	□座・証書番号 預入番号		お預り金額		年利率 預入期間	預入日 満期日 継続方法 税区分
XXXXX	XXXXXX		XXXXXX		XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX		XXXXXX		XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX		XXXXXX		XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX		XXXXXX		XXXXXX	XXXXXX
XXXXXX	XXXXXX		XXXXXX		XXXXXX	XXXXXX
合計			SUM		XXXXXX	XXXXXX

まず、最初の表オブジェクトに対して CSV ファイルをマッピングします。マネージャー上から Form ファイルと CSV ファイルを選択して CSV データマップの設定を行います。

図：CSV Datamap エディター

変数名リストには表オブジェクト2つと表オブジェクト以外の変数が表示されています。最初の表オブジェクトをマッピングします。

図：最初の表をマッピング

2つ目の表オブジェクトをマッピングせずに Datamap ファイルを保存すると、「未定義変数の保存」ダイアログが起動しますので、[未定義変数を破棄する]を選択してください。

続いて2つ目の表オブジェクトをDBにマッピングします。

マネージャーで以下の操作を行いジョブユニットに Datamap ファイルを追加します。

◆◆ 操作 ◆◆

1. マネージャーのツールボタン [ジョブ詳細] をクリックし、表示モードを「ジョブ詳細」に切り替えます。
2. [ジョブユニット作成] ボタンをクリックします。
3. ダイアログ内の [複合表・マルチデータソース] のラジオボタンをクリックし、[データマップファイル名] に "MultiTable_Teiki" と入力します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

図：ジョブユニットの作成ダイアログ

ジョブユニットに Datamap ファイルが追加されます。
追加された Datamap ファイルに対して、DB 形式として先ほどと同様に 2 つ目の表のデータマッピング作業を行ってください。

図：2 つ目の表をマッピング

カプリーコード番号	1	2	3
カプリーコード名	種別	口座・証書番号	お預り金額
1	バワフル定期	1234567.0	800000.0
2	バワフル定期	1234567.0	1000000.0
3	バワフル定期	1234567.0	1500000.0

フォーム実装名	TEIKI
カプリーコード番号	1-10
データタイプ	表
非表示	☐
重複非表示	☐
集計	-
総集計	-
キーレイク	-

Datamap ファイルを保存し、Datamap エディターを終了します。

帳票出力の際は、通常のマルチデータソースと同じようにそれぞれのデータマップに CSV ファイルと DB を割り当てて実行します。

図：データソースを割り当てて実行

Create!Form Design V12

ジョブファイル: MultiTable.sty

作業ディレクトリ: C:\ProgramData\Infotec\CreateForm\12\work\West

データ

出力先

オプション

データベース

Screen設定

ID	データマップ名	データタイプ	データベース名
1	MultiTable_Ryoudou	CSV	MultiTable_Ryoudou.csv
	MultiTable_Teiki	DB	odbc:MultiTable_Teiki

追加(A)

マージ追加(M)

削除(D)

↑

↓

実行ファイル

PDF

HTML

Excel

印刷

☒ Cast

☐ Screen

☐ Expage

☐ Print

☐ PrintStage

実行コマンドライン: -DC:\ProgramData\Infotec\CreateForm\12\work\West -sMultiTable.sty -v

実行

プレビュー

☒ 実行後にダイアログを開じる

閉じる

図：出力結果

お預り資産/お借入れ残高明細

＜お預り資産＞

◆流動性預金

種別	口座番号	お預り残高	口座開設日
普通預金	1234567	788,800	2000/12/15
普通預金	2345678	1,234,000	1995/10/25
普通預金	3456789	325,000	1998/3/19
普通預金	4567890	432,000	2001/2/9
普通預金	5678901	500,000	2003/7/20
普通預金	6789012	230,000	2003/12/13
普通預金	7890123	100,000	2005/6/10
貯蓄預金	8901234	1,500,000	2003/1/30
貯蓄預金	9012345	3,000,000	2006/4/30
合計		8,109,800	

◆定期性預金

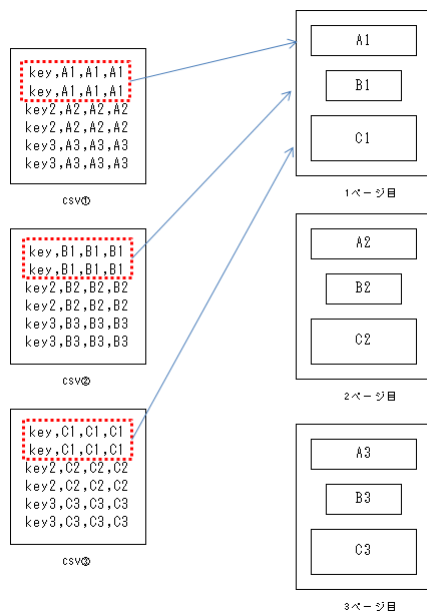
種別	口座・証書番号	お預り金額	年利率	預入日	継続方法
	預入番号		預入期間	満期日	税区分
バワフル定期	1234567	800,000	0.0005	2006/8/10	元利継続
	1		3ヶ月	2006/11/10	分離課税
バワフル定期	1234567	1,000,000	0.0008	2006/9/1	元利継続
	2		1年	2007/9/1	分離課税
バワフル定期	1234567	1,500,000	0.0008	2006/12/20	元利継続
	3		1年	2007/12/20	分離課税
合計		3,300,000			

27-5. 複合表の繰り返しパターン出力

複合表として定義された表のセット全体を特定のキー項目によって繰り返して出力することができます。

例えば、A、B、C という 3 つの表オブジェクトから構成される複合表は、通常「A → B → C」と順番に出力されて終了しますが、これをデータのキー項目によって「A → B → C → A → B → C → …」と順序に繰り返して出力することができます。

図：出力イメージ（1 項目目をキー項目とする）



CSV ①～ CSV ③の二つ目のキー（key2）のデータを利用して 1 ページ目が出力されます。

同様に、二つ目のキー（key2）のデータを利用して 2 ページ目、三つ目のキー（key3）のデータを利用して 3 ページ目が出力されます。

この出力パターンを実現するためには、各表オブジェクトに「複合表の繰り返しキー項目」を定義する必要があります。

<< 注意 >>

複合表繰り返しキー項目を設定した場合、複合表の繰り返しのタイミングで改ページが発生します。

複合表の繰り返しキー項目は、Datamap ファイルの詳細マッピング画面で設定します。

図：詳細マッピング

表オブジェクト詳細マッピング

表オブジェクト外の各項目に対するマッピング状態を変更します。

表の項目名	データ属性	カラム名
POSTCODE	テキスト(表連携)	31行目 1項目
ADDRESS	テキスト(表連携)	31行目 2項目
NAME	テキスト(表連携)	31行目 3項目
種別(コードブック).001	テキスト	31行目 4項目
口座番号(コードブック).002	テキスト	31行目 5項目
お預り残高(コードブック).003	テキスト	31行目 6項目
口座開設日(コードブック).004	テキスト	31行目 7項目
お預り残高(集計ブック).012	テキスト(集計)	設定なし

一括設定

項目移動: + -

複合表繰り返しキー項目:

31行目 1項目
31行目 2項目
31行目 3項目
31行目 4項目
31行目 5項目
31行目 6項目
31行目 7項目
31行目 8項目

フォームが複合表の場合は画面左下の「複合表繰り返しキー項目」の選択リストが有効になります。ここで繰り返しのキーとなるデータ項目を選択します。なお、マッピング範囲外のデータも指定することが可能です。

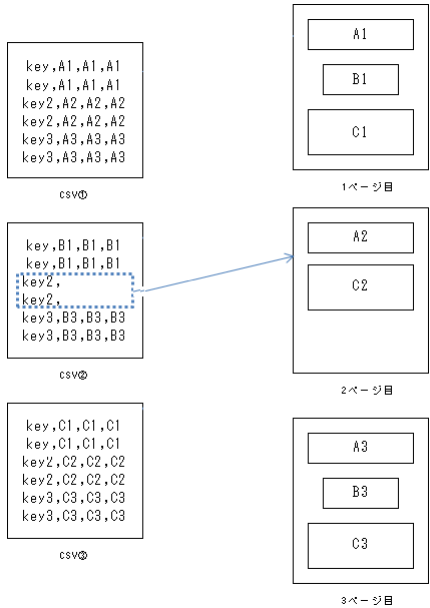
ここで指定した項目のデータの繰り返しパターンに従って表オブジェクトも繰り返し出力されます。

繰り返しキー項目は全ての表オブジェクトに対して個別に設定を行う必要があります。

キー項目のスキップ

「複合表の繰り返しキー項目」に設定したキーのデータが空データ（キーのみのデータ）とすることで、その表オブジェクトを表示しない事が可能です。

図：出カイメージ（キー項目のスキップ）



28. 表連携オブジェクト

28-1. 表連携オブジェクトの概要

以下のオブジェクトは「表連携」を設定することで、表オブジェクトと連動してデータを出力させることができます。

〔変数オブジェクト〕

- ・テキスト変数
- ・バーコード変数
- ・イメージ変数
- ・ページ変数
- ・二次元コード変数

〔固定オブジェクト〕

- ・テキスト
- ・直線
- ・四角形
- ・楕円
- ・罫線
- ・イメージ

例えば、表の中で集計したデータを別のテキスト変数に出力させたい場合、テキスト変数を表連携出力設定することで実現できます。

オブジェクトを表連携オブジェクトとして設定するには、オブジェクトをダブルクリックして表示されるプロパティダイアログで、「表連携」タブを表示し「表連携出力設定」のチェックボックスにチェックを入れます。

図：テキスト変数 / バーコード変数 / 二次元コード変数のプロパティダイアログ - 「表連携」タブ

「表連携」タブの設定内容はオブジェクトの種類によって異なります。

図：イメージ変数のプロパティダイアログ - 「表連携」タブ

図：テキスト / 直線 / 四角形 / 楕円 / 罫線のプロパティダイアログ - 「表連携」タブ

テキスト

オブジェクト番号: 002 記述: Text

オブジェクト名:

入力 | 属性 | 位置 | 表連携 | 透かし | 条件設定...

☒ 表連携出力設定

出力設定

- ☒ 1ページ目のみ
- ☐ 繰り返し帳票のヘッダー
- ☐ 最終ページのみ ☒ キーごと

表連携外名: TABLE000

重ね合わせ設定

- ☒ 最前面に描画
- ☐ 最背面に描画

適用 OK キャンセル

図：イメージのプロパティダイアログ - 「表連携」タブ

イメージ

オブジェクト番号: 003 記述: Image

オブジェクト名:

属性 | 表示 | 重ね合わせ | 位置 | 表連携 | 透かし | 条件設定...

☒ 表連携出力設定

出力設定

- ☒ 1ページ目のみ
- ☐ 繰り返し帳票のヘッダー
- ☐ 最終ページのみ ☒ キーごと

表連携外名: TABLE000

適用 OK キャンセル

図：ページ変数のプロパティダイアログ - 「表連携」タブ

ページ変数

オブジェクト番号: 004 記述: VPage

変数名: AUTO_PAGE001

属性 | 編集 | 位置 | 表連携 | 条件設定...

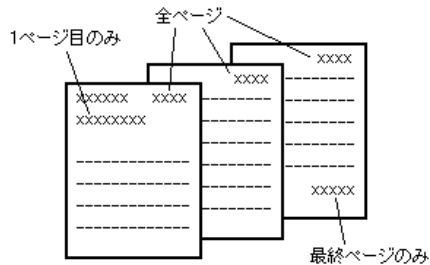
☐ ページ番号を表連携のキーブレイク単位で表示
※フォーム上の全てのページ変数で共通の設定となります。

適用 OK キャンセル

ページ変数以外の表連携オブジェクトは、出力のタイミングを [1 ページ目のみ] [繰り返し帳票のヘッダー] [最終ページのみ] [全ページ (テキスト変数 / バーコード変数 / イメージ変数 / 二次元コード変数のみ)] からそれぞれ個別に指定することができます。

また、オブジェクトの右クリックメニュー - 「表連携」 から表連携出力設定することも可能です。

図：出力タイミング



複合票で帳票を出力している場合、先頭の表オブジェクトが同一ページ内に存在しない際には表連携したオブジェクトは出力されません。

28-2. データをマッピングする

表連携オブジェクトとなった変数オブジェクトは、表オブジェクトの一部になります。そのためDatamap エディターの変数名リストには表示されません。

図：変数名リストに表示されない

データのマッピングは表オブジェクトの中で行います。表オブジェクトの詳細マッピングダイアログを表示させると、表連携オブジェクトの変数オブジェクトも一緒に表示されます。

図：詳細マッピング

表オブジェクト詳細マッピング			
表オブジェクト外の各項目に対するマッピング状態を変更します。			
表の項目名	データ属性	カラム名	カラムデータ
郵便番号	テキスト(表連携)	1行目 1項目	123-4567
住所	テキスト(表連携)	1行目 2項目	160-0023
宛先	テキスト(表連携)	1行目 3項目	東京都新宿区西新宿7-2
請求金額	テキスト(表連携)(集計)	設定なし	
NO	テキスト(表連携)	1行目 4項目	〇〇株式会社
コード	テキスト	1行目 5項目	10101
品名	テキスト	1行目 6項目	パソコンデスク
数量	テキスト	1行目 7項目	10
単価	テキスト	1行目 8項目	59800
金額	テキスト	1行目 9項目	598000
備考	テキスト	1行目 10項目	
金額(集計ブロック) 017	テキスト(集計)	設定なし	

28-3. 集計値・計算値を出力する

表オブジェクトの集計・計算機能によって算出した値を表の中のセルではなく表オブジェクトとは別のテキスト変数に出力したい場合は、テキスト変数を表連携オブジェクトにして集計値・計算値の出力設定を行います。

図：表の外部に集計値・計算値

集計値を出力させる場合は、表連携オブジェクトの設定で「表示内容」を「集計値」にします。

図：表示内容を集計値に設定

「集計設定」ボタンをクリックすると「集計設定」ダイアログが表示されます。

図：集計設定ダイアログ

ここで「表オブジェクト名」のリストから集計値を取得する対象の表オブジェクト名を選択し、「集計対象項目」のリストから集計を行う項目を選択します。集計や計算に関する設定については「20. 集計」「21. 計算」をご参照ください。

図：集計対象項目を設定

この設定を行うことでテキスト変数に表の集計値を出力させることができますようになります。

28-4.1 ページ目のみに出力する

表連携オブジェクトの設定で「出力設定」を「1 ページ目のみ」にするとそのオブジェクトは 1 ページ目のみに出力されるオブジェクトになります。

図：設定画面

テキスト変数等の変数オブジェクトだけでなく四角形や直線等の固定オブジェクトも 1 ページ目のみの出力に指定できるので、この機能を使うことで明細帳票パターンのような最初のページだけタイトル部分がある帳票が作成できます。

図：タイトルがある帳票

コード	品名	数量	単価	金額	備考
10101	1/220g 33	10	59.000	590.000	なし
10102	1/220g 33	10	38.000	380.000	なし
10110	1/220g 33	5	32.000	160.000	なし
10111	1/220g 33	10	59.000	590.000	なし
10112	1/220g 33	10	38.000	380.000	なし
10113	1/220g 33	5	32.000	160.000	なし
10101	1/220g 33	10	59.000	590.000	なし

集計値や計算値を指定した表連携オブジェクトに対しても設定可能なので、税込み合計金額のようなデータを 1 ページ目の最初に出力させることもできます。

図：合計を最初のページに出力する

No. 123-4567	日付:
〒160-0023	横濱市
東京都新宿区西新宿7-〇-〇〇	〒160-0023
〇〇株式会社	東京都
	西新宿
	電話:
	担当者
御請求額(税込): ¥27,835,500-	

28-5. 最終ページのみに出力する

1 ページ目のみに出力するのとは逆に、最後のページに表連携オブジェクトを出力させるように設定するには、表連携オブジェクトの設定で「出力設定」を「最終ページのみ」に設定します。

図：設定画面

性別 | 配置 | 編集 | 重ね合わせ | 位置 | 表示連携 | 条件設定

☒ 表示連携出力設定

出力設定

- ☐ ページ目のみ
- ☐ 繰り返し帳票のページ
- ☒ 最終ページのみに出力
- ☐ 全ページ

☐ キーにする

☒ 重複非表示

☒ キーごと

表示内容

- ☒ 通常のフォーマット
- ☐ 集計値
- ☐ 計算値

集計設定

計算設定

表の枠外に総集計値を出力するような場合に利用することができます。

図：出力イメージ

[illegible]

28-6. 全ページに出力する

テキスト変数の場合、表連携オブジェクトの設定で「出力設定」を「全ページ」に設定すると、全てのページに表連携オブジェクトを出力させることができます。その他のオブジェクトに関しては、表連携出力設定しなければ全ページに出力されます。

図：設定画面

図：設定画面

属性 | 配置 | 編集 | 重ね合わせ | 位置 | 表連携 | 条件設定...

☒ 表連携出力設定

出力設定

☐ 1ページ目のみ

☐ 繰り出し帳票のヘッダ

☐ 最終ページのみ

☒ 全ページ

☐ キーにする

☒ 重複非表示

☒ キーごと

表連携外名: TABLE000

表示内容

☒ 通常マシナリ

☐ 集計値

☐ 計算値

集計設定...

計算設定...

ページごとに集計を行うような帳票の場合、ページ集計の機能と表連携オブジェクトの全ページ出力設定を組み合わせることで実現できます。

図：ページ集計する帳票

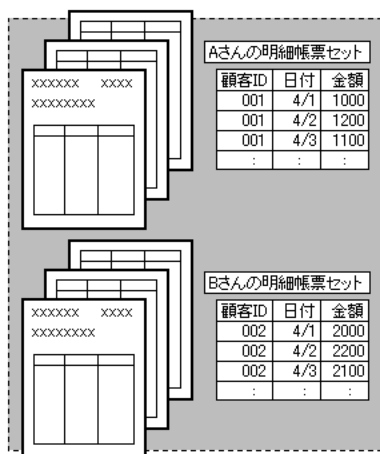
	10	1000	10000
欄)	10	1600	16000
欄)	20	1200	24000
10欄)	1	500	500
欄)	3	7500	22500
欄)	5	6000	30000
欄)	50	250	12500
欄)	20	1500	30000
5欄)	40	900	36000
欄)	35	500	17500
欄)	10	1000	10000
欄)	10	2200	22000
欄)	30	1800	54000
ページ内集計		730600	

28-7. 繰り返し帳票のヘッダーに指定する

明細帳票のようなタイトル部分のある帳票を繰り返し出力する場合は、表連携オブジェクトの設定を「1 ページ目のみ」の出力ではなく、「繰り返し帳票のヘッダー」として設定し、表連携オブジェクトに対してキー項目を割り当てます。

例えば、タイトル部分の「顧客ID」のような項目がキー項目として指定されていれば、「顧客ID」ごとに明細帳票を繰り返すことができます。

図：繰り返し明細帳票パターン



このような設定を行うには、表連携オブジェクトの設定で「出力設定」を「繰り返し帳票のヘッダー」にします。キー項目として設定したい表連携オブジェクトには、さらに「キーにする」のチェックボックスにチェックを入れます。

図：繰り返し帳票のヘッダーに設定

属性 | 配置 | 編集 | 重ね合わせ | 位置 | 表連携 | 条件設定...

☒ 表連携出力設定

出力設定

☐ 1 ページ目のみ

☒ 繰り返し帳票のヘッダー

☐ 最終ページのみ

☐ 全ページ

キー項目

☒ キーにする

☒ 重複非表示

☒ キーごと

表示内容

☒ 通常2ページ

☐ 集計値

☐ 計算値

集計設定...

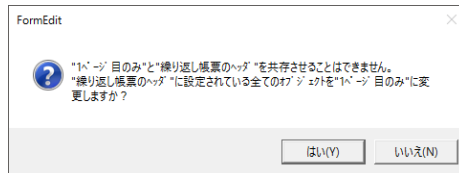
計算設定...

表連携名: TABLE000

繰り返し帳票のヘッダーに設定されたキー項目はキーごとの最初のページのみに出力されます。「重複非表示」のチェックを外すと全ページに出力されるようになります。

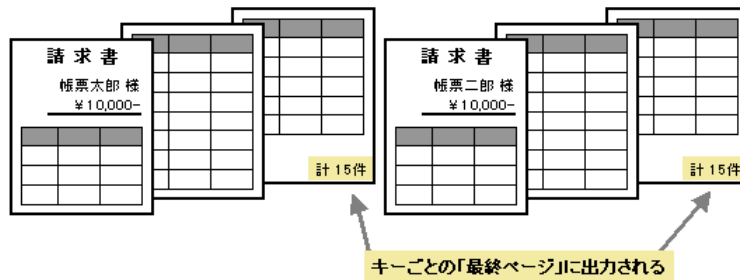
この設定は1 ページ目のみに出力する設定と併用することはできません。つまり、最初のページだけ出力される表連携オブジェクトがあり、それとは別にキーブレイクごとに繰り返し出力される表連携オブジェクトがある場合は設定することができません。すでに1 ページ目のみに出力する設定を行ったオブジェクトが存在するときに繰り返し帳票のヘッダーを設定しようとする（逆のパターンでも同様）と次のような警告が表示され、どちらかに統一するよう促されます。

図：警告



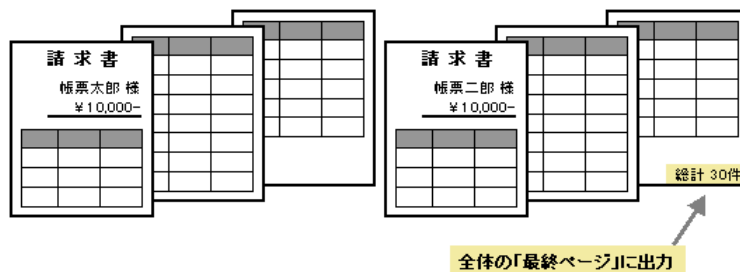
また、この設定を行った場合、「最終ページのみ」に設定された表連携オブジェクトは通常「キーごとの最終ページ」に出力されます。

図：キーごとの最終ページに出力



次の図のように帳票全体の集計値を一番最後に出力することも可能です。

図：全体の最終ページに出力



そのためには表連携オブジェクトの設定画面で、ラジオボタン「最終ページのみ」の横にある「キーごと」のチェックを外します。

図：「キーごと」のチェックを外す

これによりその表連携オブジェクトは全体の最終ページに出力されるようになります。

また、繰り返し帳票のヘッダーを指定した場合は、ページ変数と連動させてキープレイクごとにページ番号が1に戻るよう制御することができます。

この制御を有効にするためには、ページ変数の表連携設定で「ページ番号を表連携のキープレイク単位で表示」のチェックを有効にします。

図：ページ変数の表連携設定

<< 注意 >>

この設定を行うことで実行オプション「-pr1」が自動的に有効になり、帳票全体のページ変数の出力に影響を与えますのでご注意ください。

28-8. 表連携オブジェクトの重ね合わせ設定

〔表連携出力設定〕に設定した固定オブジェクト（テキスト、直線、四角形、楕円、罫線）はその他の全オブジェクトに対して、必ず最前面又は最背面に描画されます。

〔表連携出力設定〕に設定した固定オブジェクトの出力順序は、プロパティダイアログ-〔表連携〕タブ内の〔重ね合わせ設定〕で設定できます。

図：テキスト プロパティダイアログ - 〔表連携〕タブ

テキスト

オブジェクト番号: 002 記述: Text

オブジェクト名:

入力 | 属性 | 位置 | 表連携 | 透かし | 条件設定...

☒ 表連携出力設定

出力設定

- ☒ ページ目のみ
- ☐ 繰り返し帳票のヘッダー
- ☐ 最終ページのみ ☒ キーごと

表オブジェクト名: TABLE000

重ね合わせ設定

- ☒ 最前面に描画
- ☐ 最背面に描画

適用 OK キャンセル

〔最前面に描画〕

他の全てのオブジェクトより前面に描画されます。
打ち消し線などに使用できます。

〔最背面に描画〕

他の全てのオブジェクトより背面に描画されます。
背面の色付けなどに使用できます。

図：重ね合わせ例



最背面に描画

※テキスト変数とイメージ変数、イメージの場合、〔表連携出力設定〕に関わらず、プロパティダイアログの〔重ね合わせ〕タブで同様の設定を行うことができます。

28-9. 表連携オブジェクトの非表示

表連携オブジェクトの非表示とは、配置した表連携オブジェクトを帳票上に表示しない機能です。たとえば、帳票上には表示しませんが、表のキーとなるテキスト変数を配置する必要があるときなどに使用します。

表連携オブジェクト（テキスト変数のみ）の非表示機能は、テキスト変数の非表示と同様の設定となります。テキスト変数の非表示の説明も併せてご確認ください。（マネージャーのメニュー [ヘルプ] - [オンラインマニュアル] から「フォームオブジェクト」-「固定テキスト・テキスト変数」-「13. 非表示」）

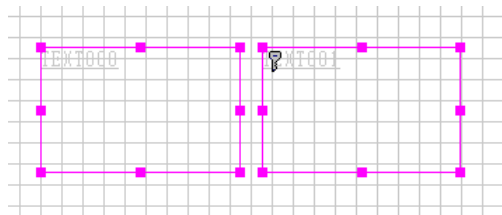
表連携オブジェクトを非表示に設定するには、テキスト変数をダブルクリックして表示されるプロパティダイアログの [非表示] のチェックボックスにチェックを入れて設定します。

図： [非表示] チェックボックス



非表示に設定された表連携オブジェクトは、Form エディター上で、灰色で示されます。また、キーに設定された表連携オブジェクトを非表示に設定すると、キーアイコンは灰色で表示されます。（通常はキーアイコンは黄色で表示されます。）

図：表連携オブジェクト（非表示）の Form エディター上での表示



29. 表の終了位置を固定にする

29-1. 表の行数固定

表オブジェクトはデータの量に合わせて罫線を出力します。ページの途中でデータが終了した場合は、その位置までしか表の罫線は出力されません。

図：ページの途中で終了

「表の行数固定」を設定すると、データ量に関わらず終端位置をガイド線の位置に固定して罫線を出力することができます。

図： ページ終端位置まで罫線を出力

期日	貸借元	取引集コード	取引集名	簿品コード	簿品名	数量	単価	金額	備考
2014/2/17	貸借元	0003	ストロベリールームージュム	品1000000001	カレーメニュー(15個)	18	600	9,000	
				品1000000003	ジャージャーポテト(5個)	19	1,000	19,000	
				品1000000004	カレーメニューポテト(15個)	19	500	9,500	
				品1000000005	カレーメニューポテト(15個)	2	7,500	15,000	全2冊目
				品1000000006	カレーメニューポテト(15個)	2	6,000	12,000	全2冊目
				品1000000007	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000008	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000009	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000010	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000011	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000012	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000013	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000014	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000015	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000016	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000017	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000018	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000019	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000020	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000021	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000022	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000023	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000024	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000025	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000026	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000027	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000028	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000029	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000030	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000031	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000032	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000033	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000034	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000035	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000036	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000037	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000038	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000039	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000040	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000041	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000042	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000043	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	
				品1000000044	カレーメニューポテト(15個)	12	500	6,000	

この設定を行うには、表オブジェクトの左上のプロパティボタンをダブルクリックし表オブジェクトのプロパティダイアログを表示します。

図：形態タブ

「形態」タブの「表の行数固定」にチェックを入れます。

図：表の行数固定をチェック

この設定により、表の罫線が常に終端位置ガイド線の位置まで出力されるようになります。

29-2. 集計ブロックの出力位置

「表の行数固定」を設定した際の集計ブロックの出力位置は以下の2つのパターンから設定する事が可能です。

- ・ 最終レコードに続けて出力

集計ブロックはレコードブロックに続けて出力され、集計ブロックに続けて罫線が終端位置ガイド線の位置まで出力されます。

図：「最終レコードに続けて出力」結果

日付別見積集計票							
日付	見積日	取引先コード	取引先名	集計コード	集計名	数量	単価
2014/2/17	012140	0003	ストロボレールージュ	品1-000-0001	タリニユープリン (5巻)	10	9,000
				品1-000-0011	ジョージアデザイン (5巻)	10	1,000
				品1-000-0012	タリニユープリン (5巻)	10	9,000
				品1-000-0001	集計のグループ振り合わせ	2	7,000
				品1-000-0000	集計のグループ振り合わせ	2	9,000
				品1-000-0011	集計のグループ振り合わせ	2	9,000
				品1-000-0012	集計のグループ振り合わせ	2	9,000
				集計計		66	900

- ・ 表の終端位置に出力

集計ブロックは終端位置ガイド線の位置に出力され、レコードブロックと集計ブロックの間に罫線が出力されます。

図：「表の終端位置に出力」結果

日付別見積集計票							
日付	見積日	取引先コード	取引先名	集計コード	集計名	数量	単価
2014/2/17	012140	0003	ストロボレールージュ	品1-000-0001	タリニユープリン (5巻)	10	9,000
				品1-000-0011	ジョージアデザイン (5巻)	10	1,000
				品1-000-0012	タリニユープリン (5巻)	10	9,000
				品1-000-0001	集計のグループ振り合わせ	2	7,000
				品1-000-0000	集計のグループ振り合わせ	2	9,000
				品1-000-0011	集計のグループ振り合わせ	2	9,000
				品1-000-0012	集計のグループ振り合わせ	2	9,000
				集計計		66	900

この設定を行うには、集計ブロックの右クリックメニューからブロック設定を選択し、ブロック設定ダイアログを表示させます。「表の行数固定」から該当のラジオボタンを選択してください。

図：ブロック設定 - 「表の行数固定」

ブロックの設定

ブロックの種類: 集計ブロック

出力設定

- ☒ 総集計
- ☐ キー集計 キー: 日付
- ☒ キーフレーズ数ページの前に出力

空行設定

- ☐ ブロック出力前 1 行 ☐ 空データ ☒ 空白
- ☐ ブロック出力後 1 行 ☐ 空データ ☐ 空白

表の行数固定

- ☒ 最終レポートに続けて出力
- ☐ 表の終端位置に出力

☐ 網掛け対象

OK キャンセル

30. 表の上下枠線

30-1. 表の上下罫線の概要

表オブジェクトでは、以下の2ヶ所に対して任意の罫線を出力させることができます。

- ・ラベルブロックとレコードブロックの境界線
- ・そのページでの表の一番下の線

図：表の上下罫線

The screenshot shows a form titled '請求書' (Invoice) with a table containing multiple rows of data. The table is framed by a solid line at the top and a dashed line at the bottom, indicating the 'upper and lower border lines' mentioned in the text. The table has columns for item code, description, quantity, and price. The table is framed by a solid line at the top and a dashed line at the bottom, indicating the 'upper and lower border lines' mentioned in the text.

これらの罫線を設定するには、表オブジェクトの左上のプロパティボタンをダブルクリックし表オブジェクトのプロパティダイアログを表示します。

図：デザインタブ

The screenshot shows the 'デザイン' (Design) tab in the table's property dialog. It contains several sections for styling the table:

- 罫線 (Grid Lines):** Includes checkboxes for '上' (Top) and '下' (Bottom) lines. Each has a dropdown for '線種' (Line Style), a text input for '線幅' (Line Width), and a color selection button.
- レコードブロックの線 (Record Block Line):** Includes a checkbox for '上' (Top) line, with a dropdown for '線種' (Line Style), a text input for '線幅' (Line Width), and a color selection button.
- 丸コーナ (Rounded Corners):** Includes checkboxes for '左上/右上' (Top Left/Top Right) and '左下/右下' (Bottom Left/Bottom Right) corners, and a text input for '半径' (Radius).

「デザイン」タブの「レコードブロックの線」の「上」にチェックを入れます。（「下」は初期状態でチェックが入っています。）

図：レコードブロックの線をチェック

レコードブロックの線

☒ 上: 線種: 線幅: 色: ...

☒ 下: 線種: 線幅: 色: ...

[線種]、[線幅]、線の [色] を任意のものに設定します。

ここで指定した罫線は他のどの罫線（セルの罫線、キーブレイク罫線）よりも優先的に出力されます。そのため他の罫線と重なる場合はその罫線は出力されません。

図：出力イメージ

請求書

№: 003-0002 発行: 2006年12月10日 Page: 1 / 2

〒150-0002 東京都港区赤坂新橋4-0-00
〇〇株式会社

請求金額: ¥26,510,000-

請求元: 株式会社
〒150-0002
東京都港区赤坂新橋4-0-00
営業部〒150-0002
電話: 03-0000-0000 FAX: 03-0000-0000
担当者: 田中太郎

品番	品名	単位	数量	単価	金額	備考
00001	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00002	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00003	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00004	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00005	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00006	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00007	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00008	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00009	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00010	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00011	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00012	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00013	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00014	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00015	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00016	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00017	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00018	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00019	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00020	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00021	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00022	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00023	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00024	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00025	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00026	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00027	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00028	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00029	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00030	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00031	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00032	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00033	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00034	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00035	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00036	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00037	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00038	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00039	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00040	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00041	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00042	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00043	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00044	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00045	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00046	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00047	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00048	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00049	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00050	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00051	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00052	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00053	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00054	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00055	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00056	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00057	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00058	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00059	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00060	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00061	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00062	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00063	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00064	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00065	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00066	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00067	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00068	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00069	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00070	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00071	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00072	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00073	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00074	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00075	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00076	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00077	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00078	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00079	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00080	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00081	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00082	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00083	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00084	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00085	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00086	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00087	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00088	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00089	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00090	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00091	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00092	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00093	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00094	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00095	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00096	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00097	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00098	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00099	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	
00100	〇〇〇〇〇〇	個	10	100,000	1,000,000	

Form エディター上で表示されている表のレコードブロックの線にカーソルを合わせると、カーソルの形状が変化します。

図：レコードブロック線上のカーソル



カーソルが変化した状態でダブルクリックすると、表オブジェクトのプロパティダイアログのデザインタブが表示されます。

図：デザインタブ

表

×

オプション番号: 007 記述: 明細表

変数名: DETAILS

セル | キー項目 | デザイン | 形態 | 位置 |

☒ 網掛け

網掛け行数: 行 間隔: 行 色:

☒ 先頭行を網掛けにする ☐ 1コト単位で網掛けにする

1コトブロックの線

☒ 上: 線種: 線幅: 色:

☒ 下: 線種: 線幅: 色:

丸コーナー

☐ 左上/右上 ☐ 左下/右下 半径:

適用

OK

キャンセル

30-2. 表に枠線を付ける

この機能の主な利用シーンは、表に枠線を付ける場合です。

分かりやすいケースとして罫線を表示しない明細を考えてみると、通常は次のように出力されます。

図：罫線がない表

A1040001	横須賀 品	品名	代官の建設	1971/04/01	1981/10/02	115-0007	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040002	大宮 建設	品名	東京市建設	1974/04/01	1981/03/30	159-0001	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040003	小山 建設	品名	東京市建設	1971/04/01	1981/08/17	162-0049	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040004	河津 建設	品名	東京市建設	1971/04/01	1982/11/01	154-0075	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040005	東京 建設	品名	東京市建設	1971/12/10	1982/02/23	145-0067	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040006	山崎 建設	品名	東京市建設	1972/04/01	1982/08/03	157-0018	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040007	山崎 建設	品名	東京市建設	1972/04/01	1982/12/11	114-0082	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040008	山崎 建設	品名	東京市建設	1972/01/22	1982/06/20	154-0080	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040009	二宮 建設	品名	東京市建設	1972/04/01	1982/12/24	148-0025	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040010	二宮 建設	品名	東京市建設	1972/04/01	1982/09/15	154-0084	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040011	二宮 建設	品名	東京市建設	1972/06/01	1984/04/20	162-0003	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040012	二宮 建設	品名	東京市建設	1972/02/01	1984/09/05	115-0040	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040013	二宮 建設	品名	東京市建設	1972/11/20	1984/10/12	130-0017	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040014	二宮 建設	品名	東京市建設	1974/04/01	1984/10/25	150-0019	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040015	二宮 建設	品名	東京市建設	1974/04/01	1984/09/23	132-0008	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040016	二宮 建設	品名	東京市建設	1978/04/01	1985/12/11	168-0042	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040017	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1981/11/02	171-0081	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040018	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1981/06/02	186-0001	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040019	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1982/09/07	138-0025	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040020	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1982/12/01	138-0060	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040021	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1982/12/23	138-0069	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040022	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1982/07/13	159-0069	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040023	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1982/12/21	140-0064	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040024	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1982/04/20	122-0001	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040025	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1982/11/04	134-0019	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040026	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1982/09/01	159-0081	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040027	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1984/03/10	142-0047	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040028	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1984/02/05	162-0021	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040029	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1984/11/12	121-0000	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040030	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1984/10/21	161-0008	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040031	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1984/09/03	137-0003	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040032	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1985/07/11	141-0014	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040033	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1987/10/05	152-0046	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040034	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1971/02/20	155-0080	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040035	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1971/02/17	118-0066	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040036	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1972/12/21	178-0026	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040037	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1972/02/28	160-0001	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040038	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1972/01/14	132-0012	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040039	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1972/08/21	164-0004	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040040	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1972/06/25	148-0003	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040041	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1972/05/04	138-0029	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040042	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1972/11/01	149-0041	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140
A1040043	二宮 建設	品名	東京市建設	1982/05/20	1974/04/19	141-0089	東京第二建設上野分3-40	02-2725-1140

この表に枠線を付けるには、まず左右の枠をレコードブロックの左右の罫線で定義します。

図：左右の枠線

表の設定 [レコードブロック]

セル名: 電話番号

形式: テキスト

属性: フォント 配置 編集 罫線 条件設定...

罫線

上: 線種: なし 線幅: 1.000 色: 黒

下: 線種: なし 線幅: 1.000 色: 黒

左: 線種: なし 線幅: 1.000 色: 黒

右: 線種: なし 線幅: 2.000 色: 黒

背景: ☐ 塗りつぶし

上下の枠はレコードブロックや他のブロックの罫線では定義しにくいので、この部分に出力する罫線として表の上下罫線を指定します。

図：上下罫線設定

レコードブロックの罫線

☒ 上: 線種: 罫線 線幅: 2.000 色: 黒

☒ 下: 線種: 罫線 線幅: 2.000 色: 黒

上下の罫線が出力されます。

図 : Form エディター上の表示

[illegible]

図：出力イメージ

A034001	姚璠	男	安徽	安徽省委	1917/04/01	1917/10/02	115-0027	南京新華日報社第2-4組	02-0729-1140
A034002	王兆	男	安徽	安徽省委	1914/04/01	1917/03/20	158-0021	南京新華日報社第13-17組	02-3030-0008
A034003	小呂	男	安徽	安徽省委	1917/04/01	1917/06/10	158-0043	南京新華日報社第1-3組	02-3030-3664
A034009	張國華	男	安徽	安徽省委	1917/06/01	1917/01/05	174-0005	南京新華日報社第1-4組	02-3030-1108
A034010	張國華	男	安徽	安徽省委	1917/12/01	1917/02/23	158-0012	南京新華日報社第1-4組	02-3030-1260
A034012	山田	男	安徽	安徽省委	1922/04/01	1922/06/03	153-0018	南京新華日報社第1-8組	02-3030-1506
A034014	山口	男	安徽	安徽省委	1922/04/01	1922/12/21	114-0002	南京新華日報社第2-3-10組	02-3030-0808
A034015	山田	男	安徽	安徽省委	1922/01/02	1922/06/20	154-0060	南京新華日報社第10-25-45組	02-3030-4508
A034031	二張	男	安徽	安徽省委	1917/04/01	1922/12/24	146-0025	南京新華日報社第3-12-38組	02-3032-7222
A034035	二張	男	安徽	安徽省委	1917/04/01	1922/01/20	150-0054	南京新華日報社第25-29-45組	02-3032-8402
A034036	二張	男	安徽	安徽省委	1914/04/01	1924/04/20	158-0062	南京新華日報社第1-2-3-4-5-6-7-8-9-10-11-12-13-14-15-16-17-18-19-20-21-22-23-24-25-26-27-28-29-30-31-32-33-34-35-36-37-38-39-40-41-42-43-44-45-46-47-48-49-50-51-52-53-54-55-56-57-58-59-60-61-62-63-64-65-66-67-68-69-70-71-72-73-74-75-76-77-78-79-80-81-82-83-84-85-86-87-88-89-90-91-92-93-94-95-96-97-98-99-100-101-102-103-104-105-106-107-108-109-110-111-112-113-114-115-116-117-118-119-120-121-122-123-124-125-126-127-128-129-130-131-132-133-134-135-136-137-138-139-140-141-142-143-144-145-146-147-148-149-150-151-152-153-154-155-156-157-158-159-160-161-162-163-164-165-166-167-168-169-170-171-172-173-174-175-176-177-178-179-180-181-182-183-184-185-186-187-188-189-190-191-192-193-194-195-196-197-198-199-200-201-202-203-204-205-206-207-208-209-210-211-212-213-214-215-216-217-218-219-220-221-222-223-224-225-226-227-228-229-230-231-232-233-234-235-236-237-238-239-240-241-242-243-244-245-246-247-248-249-250-251-252-253-254-255-256-257-258-259-260-261-262-263-264-265-266-267-268-269-270-271-272-273-274-275-276-277-278-279-280-281-282-283-284-285-286-287-288-289-290-291-292-293-294-295-296-297-298-299-300-301-302-303-304-305-306-307-308-309-310-311-312-313-314-315-316-317-318-319-320-321-322-323-324-325-326-327-328-329-330-331-332-333-334-335-336-337-338-339-340-341-342-343-344-345-346-347-348-349-350-351-352-353-354-355-356-357-358-359-360-361-362-363-364-365-366-367-368-369-370-371-372-373-374-375-376-377-378-379-380-381-382-383-384-385-386-387-388-389-390-391-392-393-394-395-396-397-398-399-400-401-402-403-404-405-406-407-408-409-410-411-412-413-414-415-416-417-418-419-420-421-422-423-424-425-426-427-428-429-430-431-432-433-434-435-436-437-438-439-440-441-442-443-444-445-446-447-448-449-450-451-452-453-454-455-456-457-458-459-460-461-462-463-464-465-466-467-468-469-470-471-472-473-474-475-476-477-478-479-480-481-482-483-484-485-486-487-488-489-490-491-492-493-494-495-496-497-498-499-500-501-502-503-504-505-506-507-508-509-510-511-512-513-514-515-516-517-518-519-520-521-522-523-524-525-526-527-528-529-530-531-532-533-534-535-536-537-538-539-540-541-542-543-544-545-546-547-548-549-550-551-552-553-554-555-556-557-558-559-560-561-562-563-564-565-566-567-568-569-570-571-572-573-574-575-576-577-578-579-580-581-582-583-584-585-586-587-588-589-590-591-592-593-594-595-596-597-598-599-600-601-602-603-604-605-606-607-608-609-610-611-612-613-614-615-616-617-618-619-620-621-622-623-624-625-626-627-628-629-630-631-632-633-634-635-636-637-638-639-640-641-642-643-644-645-646-647-648-649-650-651-652-653-654-655-656-657-658-659-660-661-662-663-664-665-666-667-668-669-670-671-672-673-674-675-676-677-678-679-680-681-682-683-684-685-686-687-688-689-690-691-692-693-694-695-696-697-698-699-700-701-702-703-704-705-706-707-708-709-710-711-712-713-714-715-716-717-718-719-720-721-722-723-724-725-726-72	

30-3. 重複データ非表示による罫線切れを防ぐ

もう一つの利用シーンは以下のようなケースです。「重複データ非表示」機能を使用するとちょうどページの区切りで罫線が描画されずに切れてしまうことがあります。

図：罫線が切れる

				SET-FRU-0001 李麗のフ
				SIN-FRU-0005 特選マス
				SIN-FRU-0113 蜜焼塩み
2006/11/7	912145	A002	カフェ・クローバー	SET-CAK-0002 プチガト SET-CAK-0005 フィナン SET-CAK-0006 マドレー SIN-CAK-0003 ガトービ SIN-CAK-0004 ガトービ SET-DES-0015 ジャージ SET-DES-0023 カスター SET-FRU-0001 李麗のフ SIN-FRU-0005 特選マス SIN-FRU-0102 フィリビ

表の一番下に強制的に罫線を出力することでこういった状況を防ぐことができます。

図：下の罫線を指定

				SET-FRU-0001	季節の
				SIN-FRU-0005	特選マ
				SIN-FRU-0113	愛媛産
2006/11/7	912145	A002	カフェ・クローバー	SET-CAK-0002	プチオ
				SET-CAK-0005	フィオ
				SET-CAK-0006	マドレ
				SIN-CAK-0003	ガトー
				SIN-CAK-0004	ガトー
				SET-DES-0015	ジャコ
				SET-DES-0023	カスター
				SET-FRU-0001	季節の
				SIN-FRU-0005	特選マ
				SIN-FRU-0102	フィリ

31. データが0件の場合の設定

表オブジェクトに対してマッピングされたデータが0件だった場合にその表オブジェクトをどのように扱うかを以下の2種類から選択することができます。

1. 何も出力しない
2. データのない空の表を出力する

また、データが0件の場合は警告として扱うように指定することもできます。

ただし、これらの設定はフォーム全体に対して行うものであり、表オブジェクト個別に設定することはできません。

1. 何も出力しない

データが0件だった場合に何も表示しないようにするには、Formエディターのメニューで「ファイル」から「フォーム設定」を実行し、表示された「フォーム設定」ダイアログの「表オブジェクト」タブにある「データが0件の場合はその表を表示しない」にチェックを入れます。

図：フォーム設定

図：フォーム設定

フォーム設定

ステータス | 用紙サイズ | 編集モード | テンプレート

lpi/cpi | 表オブジェクト | Screen設定

行間隔: 12,000

ガイド

1ページ目の開始位置: 50,140

2ページ目以降の開始位置: 50,140

最終ページフッタ位置: 566,140

終端位置: 566,140

☒ データが0件の場合はその表を表示しない

☐ データが0件の場合は警告する

☒ 計算処理において0除算が発生した場合は警告する

OK | キャンセル

この設定は初期設定となっているため、何も設定を行わない場合はこの形式で処理されます。

2. 空の表を出力

前述の「データが0件の場合はその表を表示しない」のチェックを外すと、データが0件の場合に枠線だけの空の表を出力するようになります。

図：フォーム設定

- ☐ データが0件の場合はその表を表示しない
☐ データが0件の場合は警告する

この場合、ラベルブロックやタイトルブロックだけでなく、集計ブロックも0件分の集計結果として出力されます。

図：空の表を出力

日付別見積集計票

日付	見積No	取引先コード	取引先名	商品コード	商品名	数量	単価	金額	備考
								日付別集計	0
								総集計	0

3. 警告となるように指定する

「フォーム設定」画面で「データが0件の場合は警告する」にチェックを入れると、マッピングされたデータが0件だった場合に警告を発生させることができます。

図：フォーム設定

- ☐ データが0件の場合はその表を表示しない
☒ データが0件の場合は警告する

警告コードはWindowsとLinuxで異なりますので、マネージャーのメニュー[ヘルプ]-[オンラインマニュアル]から「6. エラーコード」をご確認ください。

32. 空のデータをスキップする

レコードブロックにマッピングされた全てのデータが空の場合（テキストデータとして文字列長が0の場合）に、そのレコードを描画せずにスキップさせることができます。

例：

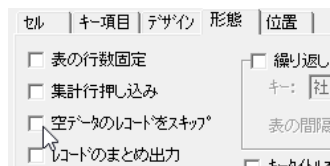
A1046001, 帳票 一郎, 役員
 A1046002, 大池 信幸, 役員
 , ,
 A1046005, 小山 徹也, 役員
 A1046009, 洲巻 雅義, 役員

データが上記例のような場合に空データだけの3行目はスキップされて、実際に出力に使用するデータとしては以下のように扱われます。

A1046001, 帳票 一郎, 役員
 A1046002, 大池 信幸, 役員
 A1046005, 小山 徹也, 役員
 A1046009, 洲巻 雅義, 役員

この機能を有効にするためにはプロパティ画面の〔形態〕タブで〔空データのレコードをスキップ〕のチェックを有効にします。

図：プロパティ - 形態



33. レコードのまとめ出力

レコードブロックが「バイト数による自動改行」や「自動改行」設定により行が追加された場合、レコードブロックの途中でページ終端に達し、改ページが発生する可能性があります。その際、レコードブロックの途中で改ページするか、レコードブロックを分割せずに次のページにまとめて出力するかを設定することができます。

図：レコードブロックの途中で改ページ

10512	事務机両キャビネット	5	32,800	164,000	
20101	キャビネット	10	59,800	598,000	
11310	事務机	5	32,800	164,000	商品の組立・設置はお客様自身で行っていただきますが、現場で組立・設置を

コード	品名	数量	単価	金額	備考
					せていただくサービス(有料)もごさい ます。
20102	キャビネット	10	36,800	368,000	
20110	キャビネット	5	32,800	164,000	

図：レコードブロックを次のページにまとめて出力

10512	事務机両キャビネット	5	32,800	164,000
20101	キャビネット	10	59,800	598,000

コード	品名	数量	単価	金額	備考
11310	事務机	5	32,800	164,000	商品の組立・設置はお客様自身で行っていただきますが、現場で組立・設置をさせていただきますサービス（有料）もございます。
20102	キャビネット	10	36,800	368,000	

レコードブロックを分割せずに次のページにまとめて出力する場合には、プロパティダイアログの「形態」タブで「レコードのまとめ出力」のチェックを有効にしてください。

図：レコードのまとめ出力設定

「レコードのまとめ出力」にチェックを入れない場合は、レコードブロックの途中で改ページ

が発生する可能性があります。

なお、レコードブロック以外のブロックでは、ブロックの途中でページ終端に達した場合でも、ブロックは分割されずに次のページにまとめて出力されます。

また、[レコードのまとめ出力]が無効の状態ではページ集計機能を利用し、レコードブロックがページをまたいで分割された場合は、分割されたレコードブロックの先頭行が所属するページのみを集計値が加算されます。

34. セルの非表示

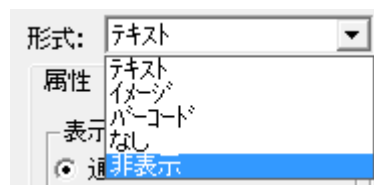
34-1. セルの非表示とは

セルの非表示とは、配置した表のセルを帳票上に表示しない機能です。たとえば、帳票上には表示しませんが、表のキーとなるセルを配置する必要があるときなどに使用します。

34-2. セルの非表示設定

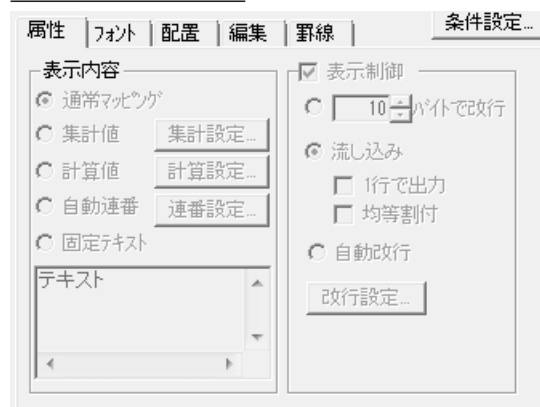
セルを非表示にするには「セルの設定」ダイアログで「形式」を「非表示」にします。

図：形式を非表示にする



タブの内容が以下のように非アクティブになります。

図：非表示時のタブ設定



セルを非表示にすると、非表示の設定をしたセルと同列のセルはすべて非表示となり、セル幅も0となります。（ビュー上からクリックできなくなります。）

図：セルの非表示

ITEM001	ITEM003
XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX

ランタイムが出力する帳票上では、設定された文字列や、マッピングしたデータは出力されま

せん。しかし、帳票のキーブレイクのキーや、他セルの色の条件用のデータとして使用することができます。

また、キーとなったセルを非表示にすると、灰色のキーアイコンが表示されます。(通常のキーは黄色のキーアイコンで表示)

図：キー列の非表示

001	ITEM003
XXXXXX	
XXXXXX	
XXXXXX	

<< 注意 >>

形式がイメージ・バーコードのセル および 結合されたセルを含む列のセルは非表示にはできません。

34-3. 列を非表示にする

表オブジェクト内のセルを選択し、右クリックメニューから「列を非表示」を選択します。

図：列を非表示



それぞれのセルは「 34-2 セルの非表示 」と同様の挙動となります。

34-4. セルの非表示の確認

セルの非表示を確認するには表のプロパティダイアログの [セル] タブで確認します。

図：表のプロパティダイアログ

表

オブジェクト番号: 001 記述: VTable

変数名: TABLE000

セル キー項目 デザイン 形態 位置

領域: レポートブック

セル名	形式	フォント	値
ITEM001	テキスト	MS ゴシック	データ
ITEM002	非表示	MS ゴシック	データ
ITEM003	テキスト	MS ゴシック	データ
ITEM004	テキスト	MS ゴシック	データ
ITEM005	テキスト	MS ゴシック	データ

適用 OK キャンセル

セルのリストで [形式] 項目が「非表示」となっているものが非表示セルです。
リストからセルを選択すると、ビュー上で非表示セルが存在する場所がピンク色の縦線で示されます。

図：ビュー上での非表示セル

表

オブジェクト番号: 001 記述: VTable

変数名: TABLE000

セル キー項目 デザイン 形態 位置

領域: レポートブック

セル名	形式	フォント	値
ITEM001	テキスト	MS ゴシック	データ
ITEM002	非表示	MS ゴシック	データ
ITEM003	テキスト	MS ゴシック	データ
ITEM004	テキスト	MS ゴシック	データ
ITEM005	テキスト	MS ゴシック	データ

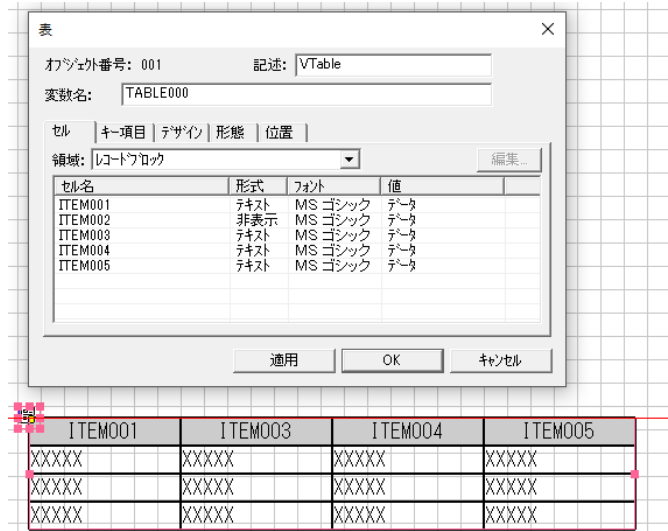
適用 OK キャンセル

ITEM001	ITEM003	ITEM004	ITEM005
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX

34-5. セルの非表示の解除

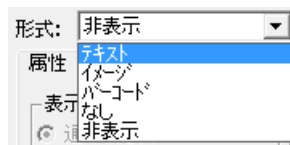
セルの非表示の解除は、表のプロパティダイアログの「セル」タブから行います。
セルのリストから該当の「非表示」セルを選択します。

図：表のプロパティダイアログ（セルタブ）



選択したセルをダブルクリックし、「セルの設定」ダイアログを表示します。
「形式」のコンボボックスから、「非表示」を「テキスト」など他の形式に変更します。

図：セルの設定ダイアログ



セルの非表示を解除すると、そのセルと同列にあるセルはすべて非表示が解除されます。

35. 丸コーナー

35-1. 丸コーナーとは

表オブジェクトでは、外枠の四隅の角を丸めて表示することができます。

図：丸コーナー

コード	品名	数量	単価	金額	備考
10101	パソコンデスク	10	59,800	598,000	
10102	パソコンデスク	10	36,800	368,000	
10110	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
10201	パソコンデスク	10	59,800	598,000	
10202	パソコンデスク	10	36,800	368,000	
10210	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
10301	パソコンデスク	10	59,800	598,000	
10302	パソコンデスク	10	36,800	368,000	
10310	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
10401	パソコンデスク	10	59,800	598,000	
10402	パソコンデスク	10	36,800	368,000	
10410	パソコンデスク	5	32,800	164,000	
11301	事務機	10	59,800	598,000	
11302	事務機	10	36,800	368,000	
11310	事務機	5	32,800	164,000	2004年4月1日から2005年3月31日までの期間、設置品・修理品で、スタンドタイプ
13205	OAチェア	20	39,800	796,000	
13208	OAチェア	50	49,800	2,490,000	
合計				6,595,000	

35-2. 丸コーナー設定

丸コーナー設定は、表オブジェクトのプロパティダイアログの「デザイン」タブで行います。

図：デザインタブ

セル | キー項目 | デザイン | 形態 | 位置

☐ 網掛け

網掛け行数: 行 間隔: 行 色:

☒ 先頭行を網掛けにする ☐ 1ワード単位で網掛けにする

1ワード単位の線

☐ 上: 線種: 線幅: 色:

☒ 下: 線種: 線幅: 色:

丸コーナー

☐ 左上/右上 ☐ 左下/右下 半径:

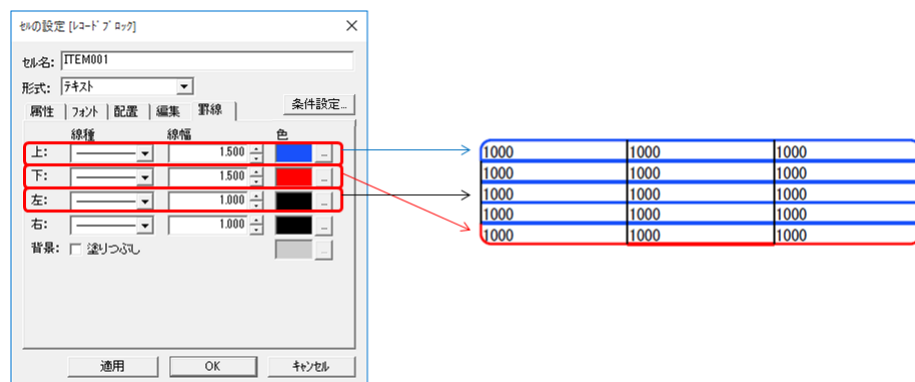
「デザイン」タブにおいて、丸コーナーを有効にしたい場所（[左上 / 右上]、[左下 / 右下]）にチェックを入れます。また、角の半径を [半径] 欄に入力して指定します。

半径の値は、0.001 ～ 表オブジェクトの行間隔、左端の列幅 / 2、右端の列幅 / 2 の最も小さい値の範囲内で指定します。

35-3. 丸コーナーの罫線属性

表オブジェクトでは、セルの上下左右の罫線を個々に設定することができますが、丸コーナー設定を行った場合は、それぞれ上罫線、下罫線の属性が左右の罫線に適用されます。

図：罫線の表示例



35-4. 制限事項

丸コーナー設定については、以下の制限事項があります。

- ・罫線の線種に「二重線」は利用できません。
(実線で表示されます。)
- ・「色の条件」の背景色
表オブジェクトの角のセルに、「色の条件」判別によって異なる背景色が出力される場合、背景色は丸コーナーになりません。
- ・ブロック分割
「レコードのまとめ出力」を”なし”に設定して、一つのブロックがページをまたいで分割される場合、丸コーナーになりません。
- ・1行の表
1行のみで構成される表は丸コーナーになりません。
- ・罫線のない表（最上部のブロック、最下部のブロック）
表の最上部のブロックの上罫線が設定されていない場合、丸コーナーになりません。
表の最下部のブロックに下罫線が設定されていない場合、丸コーナーになりません。

Create!Form 12

表組 第3版

発行日	2024年8月
発行者	インフォテック株式会社